

金日成・金正日主義に関する
インターネット国際セミナーにおける討論文

朝鮮社会科学者協会

チュチェ 110（2021）年

金日成・金正日主義に関する
インターネット国際セミナーにおける討論文

朝鮮社会科学者協会

チュチェ110（2021）年

金日成・金正日主義は社会的人間の本性に合致するもっとも科学的な世界観であり、人民大衆の自主性のための闘争の百戦百勝の旗印です。

金正恩朝鮮労働党総書記は次のように述べています。

「人類は今日、偉大な金日成・金正日主義に自分たちが進むべき道を求めています。人民大衆中心の思想、自主の革命学説は、地球上のあらゆる所で真の自由と幸福を志向する人民の精神、闘争の旗印として翻っています」

人類の根本的な志向と要求を正しく反映している金日成･金正日主義は、その普遍的真理性と正当性からして日増しにより多くの人の心をとらえており、自主性のための人民の闘争を力強く鼓舞、激励しています。

偉大な金日成主席の誕生109周年に際して金日成･金正日主義に関するインターネット国際セミナーがチュチェ110（2021）年4月10日から17日までチュチェ思想国際研究所の主催でおこなわれました。

チュチェ思想国際研究所とアジア、アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ地域のチュチェ思想研究組織の人士ら、そして70余ヵ国のチュチェ思想研究者と政界など社会各界の人士らがセミナーに参加しました。

「金日成・金正日主義に関するインターネット国際セミナーにおける討論文」には、同セミナーに送られた各国人士の討論文の中で一部を総合、編集して載せました。

チュチェ110（2021）年5月25日

目次

１１．朝鮮労働党第８回大会とチュチェ思想研究活動における意義

（ロシア極東地域金日成・金正日主義研究協会副委員長、極東連邦総合大学教員、朝鮮民主主義人民共和国社会政治学博士
クリコフ・ゲンナジー・ペトロビッチ）

１２．チュチェ思想の生命力と朝鮮労働党第８回大会報告の正当性

（ギニア・金日成・金正日主義研究全国委員会書記長 アブドゥラエ・ディアロ）

１３．朝鮮労働党第８回大会が示した路線と方針の正当性

（南アフリカ金日成・金正日主義研究全国委員会委員長 アンブロセ・ウムニシ）

１４．朝鮮労働党第８回大会に敬礼と祝賀を送る！

（ネパール共産党〈マルクス・レーニン主義〉総書記
金日成主席と金正日総書記回顧ネパール全国委員会委員長Ｃ・Ｐ・マイナルリ）

１５．朝鮮労働党第８回大会の決定貫徹に奮い立った
朝鮮人民に支持を送る

（ネパール先軍政治支持協会書記長　パニンドラ・ラジュ・パント）

１６．チュチェの輝かしい旗印金日成主席

（ネパール記者協会委員長、チュチェ思想および先軍政治研究ネパール記者協会委員長、アルパン週刊誌責任主筆、博士　マンジュ・ラトナ・サキヤ）

１７．金日成主席の生涯と業績を回顧する

（アフリカ地域チュチェ思想研究委員会副理事長、タンザニアのセイント・アグスティン総合大学　教授　フランシス・Ｆ・リーモ）

１８．金日成主席の生涯を回顧する

（チュチェ思想研究セルビア全国委員会副委員長兼新ユーゴスラヴィア共産党中央委員会国際書記　マリヤン・クビク）

１９．金日成主席が積み上げた業績

（ポーランドのワルシャワ・チュチェ思想研究グループ　メンバー
マルタ・グレルラク）

２０．金日成主席とチュチェ思想

（チュチェ思想研究ルーマニア全国委員会委員長兼民族社会主義党『ルーマニア』最高理事会委員長　バシレ・オルレアヌ）

21.　金日成主席とチュチェ思想

（ブルガリア金日成・金正日主義研究グループの書記長　カメン・タスコフ）

２２．偉大な領袖の指導の下に

（スペイン・バスコ地方チュチェ思想研究グループ責任者「サン・セバスティアン」、トゥレベル・アリツ・ウビルヨス・ヒル）

２３．太陽節と現時期

（チュチェ思想国際研究所理事、ペルー・朝鮮親善協会委員長、先軍政治研究委員会委員長　博士ロベルト・カルボネリ・ペソ）

２４．朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設の新たな時期と金正恩時代の活動方式

（ロシアモスクワ金日成・金正日主義研究会責任者ミハイル　・ウィクリン）

２５．金日成・金正日主義は人民大衆第一主義

（朝鮮社会科学者協会第１副委員長シム・スンゴン）

２６．金日成・金正日主義は朝鮮労働党の永遠な指導思想である

（アジア地域チュチェ思想研究所理事、モンゴル・チュチェ思想・先軍思想研究協会委員長　О・マシュバット）

２７．金日成・金正日主義は勝利の旗印

（スウェーデン・チュチェ思想研究グループ責任者　オスカル・メレビ）

２８．社会主義朝鮮を不敗の国家として建設する金日成・金正日主義

（ 白頭山偉人称賛国際祭典スイス組織委員会委員長
スイス・チュチェ思想研究グループ책임자委員長マルティン・レッチャー）

２９．金日成・金正日主義は人民大衆第一主義の思想である

（バングラデシュ・チュチェ思想研究所委員長シェイク・ラフィクル・イスラム・バブル）

３０．金日成・金正日主義は国家建設思想を定式化した偉大な指導思想である

（バングラデシュ・先軍政治研究グループ委員長、国際先軍研究中央委員会委員長、新聞「デーリー・フォーク」책임주필 박사 엠.責任主筆、博士M・ジャハンギル・カーン）

３１．金日成・金正日主義が明らかにした経済的自立をめざす南南協力を活性化していこう

（セネガル・ウアカム地域チュチェ思想研究グループ責任者スレイマン・バフ）

３２．革命思想としてのチュチェ思想

（アジア地域チュチェ思想研究所副書記長、ネパール自力更生研究フォーラム

委員長、博士スバシュ・カジ・シュレスタ)

３３．世界の自主化と平和偉業を大いに推し進めるチュチェ思想
(欧州地域チュチェ思想研究学会委員長エドモン・ジューブ)

３４．国際的進歩運動におけるチュチェ思想の意義
(白頭山チェコ朝鮮親善協会、チェコ・チュチェ思想研究・具現グループ
第１副委員長　ルカシュ・ブロベル)

３５．チュチェ思想は永遠に偉大な思想として残るだろう
(エジプト・チュチェ思想研究委員会委員長　ヤフヤ・ザカリヤ・ヘイルラ)

３６．急変する歴史の渦巻きの中で実証されたチュチェ思想の生命力
(ロシア金日成・金正日主義研究所所長ワジム・クジミン)

３７．チュチェ思想と尊厳、自主権の守護
（クウェート「アルシャヒド」新聞社編集局長 ムハンマド・アル・アジュミ）

３８．現代の出来事の激流の中で自己の生命力を遺憾なく実証した不滅のチュチェ思想
（ロシア・チュチェ思想研究協会委員長ドミトリー・コスチェンコ)

３９．人類が直面したもっとも複雑な挑戦に解答を与えるチュチェ思想
（カザフスタン金正日同志名称チュチェ思想研究および普及協会委員長
アンドレイ・グリシン、書記長　ニコライ・ザポパドコ)

４０．チュチェ思想は国と民族の運命開拓で提起される重要な問題に科学的な解答を与える思想
（汎アフリカ運動ウガンダ民族執行委員会委員長, チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会副委員長 ダニエル・ルガラマ)

４１．現代におけるチュチェ思想の生命力
（ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所副理事長、チュチェ思想国際研究所理事、
チュチェ思想研究ベネズエラ全国協会委員長　教授　オマル・ロペス)

４２．チュチェ思想が解明した歴史の主体としての人民大衆に関する思想
（ベラルーシのビツェプスク・チュチェ教育学協会の責任者　ゼビャティフ)

４３．チュチェ思想にたいする教育方法について
(デンマーク・チュチェ思想研究グループ責任者 ニコライ・S・C・アマンド)

４４．現代のチュチェ思想の生命力に対する考察
（オーストリア・ウィンにある金日成・金正日主義研究グループ責任者

1．金日成主席に永遠な栄光をささげます！

（チュチェ思想国際研究所理事長　教授　ラモン・ヒメネス・ロペス）

金日成主席の一生は特出した功績と英雄主義、祖国と人民、人類にたいする限りない愛で一貫されています。

代を継いで伝えるべき主席の著作と生涯にたいする話しは実にたくさんあります。

金日成主席は 1930 年 6 月 30 日、共青および反帝青年同盟の幹部会議で行った報告で、今日、われわれの青年共産主義者の前には現情勢の要請にこたえて朝鮮革命を正しい道に導くべき重大な課題が提起されている、日本帝国主義は朝鮮にたいする植民地的暴圧と略奪をさらに強化している、と述べています。

今から 90 余年前に朝鮮につくられていた状況は、たとえ一部の国が軍事的に占領されていないとしても、今日の新自由主義時代に生きる諸国人民の状況と同じであるといえます。金日成主席が教えたように、各国の人民は現情勢の要請にこたえて闘争を導かなければなりません。ラテンアメリカ、特にメキシコの場合、新自由主義の略奪がもっとも強かったのですが、新自由主義的な政府は、国土の 60%に達する 1 億 2 千万 ha の鉱脈を譲渡しました。

以前、メキシコはとうもろこしをはじめ、穀物生産で自給自足しましたが、今はほとんど 90%の米と 45%のえんどう豆、50%のとうもろこしを輸入しています。今はこのような現象が情勢の要求に合わせて変化していますが、大統領は、メキシコはもうこれ以上略奪の土地ではないと宣布しました。

金日成主席が教えているように、各国の人民は現情勢の要請と自国の歴史、自国の実情に即して帝国主義の略奪に立ち向かって闘い、常にチュチェ思想の要求通りに自主性と創造性、意識性を高く発揮してきました。

自主性を実現するための朝鮮人民の闘争において金日成主席が打ち出した戦略は、本質においてラテンアメリカ諸国の人民が今日、新自由主義の状況下で帝国主義者と民族少数党政治勢力を打ち負かすために適用すべき戦略であります。そのうちボリビアとアルゼンチン、ベネズエラとメキシコでは、民主勢力と愛国的勢力、新自由主義と少数党政府に反対する勢力が勝利し、代表民主主義から真の人民民主主義の萌芽である参与民主主義に移行しまし

た。人民大衆はこの民主主義で自らの運命を開拓し、自主的な国を樹立しようとします。確かにこれらは、自主権と尊厳、純潔を尊重しながら世界平和の気流を形成し、国際問題を解決するよう助けています。そして彼らは戦争の方法ではなく、政治的対話と協商の方法で自らの問題を平和的に解決しようとします。

人類の歴史は自主性をめざす人民大衆の闘争の歴史であると解明した金日成主席の命題を肝に銘じるべきであります。それでわれわれは金日成主席の誕生記念日を迎えながら、いまだに大きな有効性と生命力をもっているチュチェ思想の根本原理にたいする研究と普及を進めなければならないのです。

この闘争は同時に内外の圧制者に反対する闘争となります。

チュチェ思想が創始される当時、朝鮮で朝鮮人民の闘争は日本帝国主義と地主、資本家と民族反逆者に反対する闘争でありました。しかし、今日、われわれの闘争は新自由主義の形態（新自由主義的世界化）である帝国主義と国際通貨基金、世界銀行、米州開発銀行といった帝国主義の道具、民族少数党政府とベールに隠された腐敗したすべてのものに反対する闘争であります。

金日成主席は尊厳と自主権、自主性と人民にたいする愛でもってアメリカ帝国主義に気概を示しました。もっとも強大であった、原爆で武装したアメリカ帝国主義は、侵略史上はじめて朝鮮戦争で敗北しました。米軍の将官マーク・クラークは自分の回想記で当時のことについて、わたしはアメリカの歴史上初めて勝利のない停戦協定にサインをする不名誉な任務を果たすようになった、と打ち明けました。この言葉は世界のすべての正直で善良な人たちに激情と感激を呼び起こし、今日の世代に、そして自主性のための人民の闘争に力と勇気を与えています。祖国解放戦争における朝鮮人民の勝利は、自己の運命を自分の手に掌握し、自主性のために戦うならば、必ず勝利するということを示しました。

金日成主席は 1990 年代の初頭、社会主義を固守しました。
当時、ベルリン障壁が崩れて社会主義同盟とソ連が解体し、全世界の多くの左翼団体と党が士気と希望を失くして分裂しました。これはえせ政党の帝国主義思想家と宣伝者の勢いをつけました。御用出版業者たちは歴史と社会主義の終焉について喧伝しました。こうした状況で、悪辣な経済封鎖と政治的孤立を強いられた朝鮮民主主義人民共和国を除いたすべての国は市場経済の世界に飛び込みました。

金日成主席はチュチェ思想にもとづいて政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則を堅持しました。金日成主席のこうした活動は数百万人民の心を捉え、彼らをして社会主義を目指す闘争で希望を失わないようにしました。

金正恩総書記はチュチェ思想の貴い創造物である朝鮮民主主義人民共和国をなんぴともあえて軍事的に侵すことのできない軍事強国に、同時に朝鮮人民が健康で愉快に創造的な生活を享受する社会主義強国に変えました。

金日成主席に永遠な栄光をささげます！

２．勝利は指導者と民衆の一心団結に、発展は内的要因に
－朝鮮労働党第８回大会報告に学ぶ－

（チュチェ思想国際研究所事務局長尾上　健一）

朝鮮労働党第８回大会は、これまでになく斬新な内容と形式でおこなわれたことに特徴があります。

金正恩総書記は朝鮮労働党第８回大会を「活動する大会、闘争する大会、前進する大会」と位置づけ、形式的な方法を排して実のある会議とするために、入念な準備をおこないました。

金正恩総書記は党大会の４か月前に非常設中央検討委員会を組織しました。中央検討委員会が実態調査グループを各道に派遣し、各現場で人々と生活をともにしながら、現場で働く労働者、農民、知識人などの意見に真摯に耳を傾けるようにしました。

実態調査グループは第７回党大会の決定の貫徹で誤りを犯したのは何か、十分できることもしないで怠ったのは何か、実利的におこなったのは何で、形式的におこなったのは何か、間違ったことがあればその原因は何か、党の指導においても欠点があったとしたら何か、それらの内容をすべて解剖学的に調べました。

その結果、下部で活動する党員の意見が反映され、すべての党員が党中央委員会活動報告の決定に積極的に関与し、その遂行に責任をもって取り組む意識が高まりました。

朝鮮労働党第８回大会が斬新だと評される所以は、党第７回大会で決定された国家経済発展 5 か年戦略がほとんどの部門で大きく達成できなかったにもかかわらず、党大会を開催したことにあります。

党大会を招集するのは、内外情勢の変化、発展に及ぼす影響からしても、社会主義政権党である朝鮮労働党の闘争展望からしても、大きな意義をもつ特記すべき政治的できごとであります。

それは党の最高会議の招集そのものが、革命を勝利の次の段階に導いていこうとする朝鮮労働党の確固たる自信の表れ、国家の将来を担って自己の責務をりっぱに果たすことによって、人民の大いなる信頼と期待にこたえようとする強烈な意志、厳粛な誓いとなるからです。

党大会を開催すること自体が、社会主義偉業を発展させ民衆の幸せな未来

を必ず実現しようとする朝鮮労働党の責任性の強さ、革命的意思の表れであり、党活動を発展させるうえで重要な契機となりました。

金正恩総書記は第８回党大会の基本思想と基本精神について、「結語」のなかで次のように述べています。

「社会主義建設の主体的な力、内的原動力を一段と強化し、各分野において偉大な新たな勝利を達成しようというのが朝鮮労働党第８回大会の基本思想、基本精神です。

言い換えれば、われわれの内部の力を全面的に整備し再編成し、それに基づいて全ての難関を正面突破して新たな前進の道を切り開かなければならないというのが、本大会を通じて再確認された朝鮮労働党の革命的意志です」

金正恩総書記は経済建設の勝利の要因を外因ではなく主体に求め、主体の力を強めて計画を完遂する立場に立ち今後の経済建設の方向性を指し示しました。ここに第８回党大会のいまひとつの大きな特徴があります。

金正恩総書記は、国家経済発展５か年戦略が遂行されなかったことと関連して、欠陥の主な原因を客観的要因ではなく主観的要因に求めるべきであり、すべての問題を主体の要求と役割を高めることによって解決していくと述べました。

金正恩総書記は、遂行できなかったことは率直に認めつつ、なぜできなかったのか、どのようにして完遂していくのかを明らかにする態度が重要だと強調しています。

また、客観的条件にかこつければ何もできず、主体の作用と役割は不要となり、不利な外的要因がなくならない限り、いつになっても自分たちの意志通りに革命と建設をおし進めることができないと指摘し、客観に欠陥の原因を転嫁する傾向に歯止めをかけました。

総括期間、朝鮮をめぐる客観的状況は厳しいものがありました。米国をはじめ敵対勢力が制裁・封鎖策動を継続していたこと、毎年襲った自然災害が甚大であったこと、新型コロナウイルスによる世界的な保健危機が長期化したことは、朝鮮がいまだ経験したことのないといわれるほどの難局でした。

しかし、金正恩総書記は計画を完遂し社会主義偉業を前進させるためにもっとも重要なことは、内的要因であると重ねて指摘しています。

金正恩総書記は主観的要因について具体的に解明しています。

まず、内因の一つは、国家経済発展５か年戦略が科学的な見積もりと根拠

にもとづいて明確に作成されていなかったことです。外部の妨害よりも、内部の不真面目な活動態度に計画未達成の要因があるということです。

二つは、科学技術が実際に国の経済活動を牽引する役割を果たせなかったこと、三つは、不合理な経済活動体系と秩序を整備、補強するための事業が正しく遂行されなかったことです。

金正恩総書記は「人民の熱意を抑え、計画はずさんで非科学的、活動は実務的、形式主義に陥っている」と指摘しています。幹部の悪しき思想と活動のために経済建設目標が達成できなかったと結論づけました。

金正恩総書記があえて欠点や過ちを浮き彫りにしたのは、苦い教訓を得ることが発展するうえで必要であり重要とする立場、欠点や過ちは前進の土台とするという意思の表れです。

金正恩総書記は、「われわれにはこれまでの成果も貴重ですが、それに蓄積した苦い教訓もきわめて貴重なものです」「厳しい内外情勢のなかで、経済活動をはじめとする各分野の活動では深刻な欠陥が表れたが、これは新たな発展段階、社会主義偉業の前進過程に表れた偏向であり、われわれの知恵と力でゆうに是正し解決できる問題です」と、主体を強化することを通して社会主義偉業の前途が切り開かれると楽観的に述べています。

金正恩総書記は、朝鮮労働党第７回大会から第８回党大会までの５年間は、人民を天としておしたて、人民に服務し、人民のために生きたたかった歳月であったと感慨深く振り返っています。

総括期間、朝鮮人民のみならず世界の人々は、金正恩総書記が誰よりも人民を敬い、人民のためになることであればどんな苦労もいとわずに尽くしてきた姿を目の当たりにしてきました。ただひたすら人民の幸せを願い、人民のために先頭にたってたたかう指導者がいたからこそ、人民大衆第一主義が人々の指針になったということができます。

金正恩総書記は、国家経済発展５か年戦略をよく遂行できなかった面はあっても、人民大衆第一主義政治によって生み出された偉大な成果は今後のたたかいをりっぱにおし進めていく大きな元手となったと総括しています。

金正恩総書記は党中央委員会が人民大衆第一主義を貫く闘争を力強くおし進めるにあたり、「すべてを人民のために、すべてを人民に依拠して」をスローガンとして高く掲げました。

また、金正恩総書記は人民大衆第一主義を実行することにおいて、いさ

さかの譲歩もすることなく徹底して貫き、人民の要求、人民の意志を尊重し、すべての生産と建設において人民の便宜を図ることを最優先していきました。さらに人民に献身する気風、心から人民を助け大切にする活動を広げていきました。

人民大衆第一主義にもとづいた活動が全社会的範囲で広がり強まっていく過程で、領袖、党、民衆の一心団結が実現し、全社会が一つの大家庭をなすようになりました。いま地球のどの地域、国においても社会全体が一つの睦まじい集団を形成しているところは、朝鮮をおいて他に見ることができません。

金正恩総書記は、革命発展の原動力を民衆の心の中に見出し、心に火を点じる民衆第一主義の威力は、困難と情勢の変化に対処して、民衆の精神力と創造力を最大限に発揮させるうえで、集中的に表れたと述べています。

民衆第一主義を貫いた結果、主体の政治的思想的力がかつてなく強化されていきました。革命発展の原動力は人民の心の中にあります。そのため、人民の心の中に入り人民の心に火を灯すことが革命をおしすすめるうえでもっとも重要な活動であると言えます。

金正恩総書記は、人民大衆第一主義を実現すれば、不利なすべての主観的客観的要因を克服し、社会主義建設における膨大な課題を解決することができることが実証された、これは哲学原理となったと明らかにしています。

金正恩総書記は、朝鮮労働党第 8 回大会で、社会主義経済建設に総力を集中していくために新たな国家経済発展５か年計画を提起しました。

社会主義建設をいっそう新しい段階へとおし進めていく５か年計画は、「自力更生、自給自足」をテーマとして外部の影響を受けず経済を持続的に発展させる内容です。

第８回党大会で決定された国家経済発展５か年計画は、今後、朝鮮が社会主義理想社会を必ず実現していこうとする自負の表現であり、達成後は朝鮮の世界における地位を高めていくでしょう。

金正恩総書記の統一のための指針は自主で貫かれ、かつ主体である南北民衆の主体的力に依拠することを明確に打ち出したものです。

現在、南朝鮮は朝鮮にたいする軍事的敵対行為と反共和国謀略騒動を続けているだけではなく、対米従属政策によりイラン制裁に加担するなど反動的な政策を強めています。

金正恩総書記は、南朝鮮当局が不正常で反統一的なおこないを根本的

に正してこそ、南北関係改善の新しい道が拓かれると明言しています。

同時に金正恩総書記は、南朝鮮当局の態度次第で南北関係は再び三年前の春のように、平和と繁栄の新しい出発点へ戻ることも十分可能であると教唆しています。

金正恩総書記は朝鮮の対外活動においても、自主的立場にたち、明確な判断と方針を下しています。

中国、ロシアの首脳にたいしても、直接出向いて親しく会談し、伝統的な親善関係を発展させました。キューバ、ベトナムの首脳会談もおこない、社会主義国との団結と連帯をいっそう強化してきました。

困難な状況下において、朝鮮はなぜ対外関係を強化発展させることができたのでしょうか。

金正恩総書記は二つの要因を強調しています。一つは、朝鮮が徹頭徹尾、自主性を原則にした対外活動をおこなったことです。二つは、困難であればあるほど党のまわりに堅く結集した人民の団結した力があったことです。

こんにち、米国は帝国主義としての本性が弱まったとみなす向きもあります。しかし、帝国主義は自ら滅亡することも、自ら侵略的本性を弱めることもありえず、米帝国主義は依然として朝鮮革命発展の主な障害、最大の主敵です。

米国で新しい政権が生まれ、対朝鮮政策に変更があるのではないかと期待する声もありますが、金正恩総書記は誰が権力の座についても米国という実体と対朝鮮政策の本心は絶対に変わらないと正確に判断しています。

そのうえで、新しい朝米関係樹立の要は、米国が対朝鮮敵視政策を撤回することであり、今後も強対強、善対善の原則に基づいて米国に対応するとの立場を表明しています。

また、金正恩総書記は、世界の自主、平和のために反米反帝国際統一戦線を形成することの重要性を強調しています。

朝鮮はいま、世界の自主、平和のための騎手として、各国の手本となっております。

金正恩総書記は「結語」において、特別にスローガンは掲げず、朝鮮における伝統的な理念を再度提案しました。

「私は、今回の党大会で何らかのものものしいスローガンを掲げるよりも、わが党の崇高な“以民為天”、“一心団結”、“自力更生”

という三つの理念を今一度銘記することで、第８回党大会のスローガンに代えることを提起します」と述べています。

「“以民為天”、“一心団結”、“自力更生”、まさにここにわが党の指導力を強められる根本的秘訣があり、わが党が大衆の中に一層深く根を下ろすための根本的方途があり、われわれが唯一に生き続け、前途を切り開くことのできる根本的保証があります。」と述べています。

総括期間、とくに核武力の完成をもって、朝鮮は軍事強国、戦略国家として世界における地位を確保するようになりましたし､自力更生を原則とする自立的経済発展を平和的におこなえるようになりました。

金正恩総書記は、世界のなかで唯一、核武力を完成させ自力更生をもって前進する朝鮮､そのわが国に自負心を持って今後の課題にのぞんでいくという意味において｢わが国家第一主義｣の時代を開いたと表明しています。

第８回党大会後、おこなわれた芸術公演「党をうたう」と朝鮮労働党第８回大会慶祝閲兵式は、まさに人民のなかに「わが国家第一主義」が息づき巨大な力となって発露していることを示したと言えるでしょう。

金正恩総書記の領導のもと、朝鮮は社会主義強国への道を力強く前進しています。

朝鮮労働党第８回大会とその後の朝鮮人民のたたかいは世界を自主平和の方向に導くうえで､各国の社会発展においても､普遍的な指針を示すものです。

わたしたちは、人民のために真心をもって献身する金正恩総書記に深く学び、金日成・金正日主義を研究し普及することの重要性と責務を強く自覚しながら、世界の研究者と手を携えて積極的に活動していくでしょう。

３．チュチェ思想の正当性と優越性を遺憾なく示した朝鮮労働党第８回大会

（イギリス・チュチェ思想研究グループ委員長　博士　ダーモット・ハドソン）

今年の１月に成果的に行われた朝鮮労働党第８回大会はチュチェ思想の正当性と優越性を遺憾なく示しました。

朝鮮労働党第 8 回大会は朝鮮人民とチュチェ思想研究者と先軍思想研究者をはじめとした世界の進歩的人民の大きな関心の中で行なわれました。

朝鮮労働党第８回大会は以民為天、一心団結とともに自力更生を基本的スローガンとして提示しました。

朝鮮労働党第 8 回大会で金正恩総書記は朝鮮民主主義人民共和国が核抑止力を強化しなければならない必要性について強調しました。

朝鮮民主主義人民共和国は決して、リビアが初期の核計画を放棄したように、フルシチョフが戦車と大砲を溶鉱炉に入れたように、その後、ゴルバチョフが数百基の ICBM を撤廃したようにしないでしょう。

また、金正恩総書記はアメリカで誰が権力の座についてもアメリカという実体と対朝鮮政策の本心は絶対に変わらないと宣言して朝鮮民主主義人民共和国がアメリカ帝国主義にいかなる幻想も抱いていないことを明らかにしました。

朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義者に屈服しないだろうし、一方的に武装を解除しないでしょう。

金正恩総書記は国家経済の自立性と計画性、人民性を強化するには、国家の経済組織者としての機能を高め、経済活動の結果が人民の福祉増進に振り向けられるようにする原則に立って生産物に対する統一的な管理を実現すべきであると指摘しました。人民的な経済は市場経済や依存経済になれません。経済は人間の利益のために統制され、利用されなければなりません。そういうことにより、経済で計画化の役割を強めるのが合理的です。

一部の人たちは朝鮮民主主義人民共和国が開放しなければならないといっていますが、何を開放し、誰に開放しなければならないのかという問題については言えずにいます。わが家を開けておけば、泥棒や強盗が家に入って貴重品を盗んだり、浮浪者が入って家中を手当たり次第に破壊したりするのは自明なことではありませんか？

帝国主義敵対勢力の制裁を粉砕するためにも、社会主義を守り、復興を

成し遂げるためにも、自力更生は死活の要求として提起されます。

金正恩総書記は新たな国家経済発展5ヵ年計画の基本種子、テーマは、依然として自力更生、自給自足であり、革命発展の要求、社会主義建設の切迫した要求から新たな展望計画期間の自力更生は国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生に発展しなければならないと主張しました。

自力更生と社会主義の計画化について特別に強調しながら朝鮮労働党第8回大会はまた、反社会主義、非社会主義の要素を一掃する闘争を展開することについて強調しました。これは非常に適切であり、正しい政策です。かつて、一部の社会主義諸国は反社会主義的、非社会主義的行為との闘争を無視し、さらには修正主義者はと反社会主義、非社会主義的要素を意識的に黙認した結果、これらの国で資本主義が復活し、社会主義陣営が崩壊するようになりました。

朝鮮労働党第 8 回大会の旗印を掲げ、金正恩総書記の指導の下に人民朝鮮は社会主義の頼もしい砦として強化されるでしょう。

朝鮮労働党第 8 回大会はチュチェの社会主義建設のための強力な宣言です。

わたしは、朝鮮民主主義人民共和国が朝鮮労働党第8回大会で示された自力更生の偉大な道に沿ってもっと速やかに前進していくだろうと確信します。

疑いなく朝鮮労働党第 8 回大会はチュチェの社会主義建設で一つの新たな飛躍を遂げるための跳躍台になるでしょう。

朝鮮人民は金正恩総書記が指導する朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治の下で享受するより幸福で裕福な生活を夢見ています。

イギリス・チュチェ思想研究グループのメンバーは、朝鮮労働党第8回大会と大会での金正恩総書記の演説に大きく励まされました。

朝鮮労働党第 8 回大会の歴史的な綱領とスローガンを広く宣伝することはイギリスのチュチェ思想研究者とともに世界のチュチェ思想研究者に課せられた重要な課題です。

朝鮮労働党第 8 回大会がチュチェ思想の真理性と正当性を再度誇示したことは疑う余地がありません。

われわれはまさにこうした事実を宣伝しなければなりません。これとともに帝国主義者とその追随勢力の人民朝鮮にたいするデマ宣伝を粉砕し、反自力更生、反チュチェ宣伝に打撃を加えなければなりません。

われわれは自力更生のみが生きる道であり、自主的発展を遂げるための唯一の道であることを恒常的に強調すべきです。

偉大な朝鮮労働党第 8 回大会の旗を掲げてチュチェ思想を普及するための活動をより力強くくり広げていきましょう。

４．チュチェ思想に根ざした朝鮮労働党第８回大会が収めた成果

(アフリカ地域チュチェ思想研究委員会書記長、チュチュ思想国際研究所理事

ロヘケレ・カロンダ・アンドレ)

朝鮮労働党第８回大会の前までの、党第７回大会が示した綱領にしたがって行なった活動に対する総括は、政治・思想、経済、安保の面にわたる非常に肯定的なものでありました。白頭山の伝統にもとづく政治的・思想的威力が強化され、国防力は世界の前列に堂々と入るようになりました。中華人民共和国とロシア、キューバとの双務関係が強化され、アメリカ合衆国と首脳会談を行いました。人民の社会経済生活水準が質的に向上しました。

しかし、金正恩総書記は朝鮮労働党第８回大会で、新しい時代のための新しい方法論を示しました。現実的に今回の８回大会は、７回大会以降傾注した国家的努力にたいする肯定的総括で満足したのではなく、内在している欠点を克服するために国家生活の各分野にたいする批判的検討を厳しく行う方向で行われました。

こうした方法論的な特徴は代表たちの愛国の熱、チュチェ思想の精神的熱気をいっそう高揚させました。

朝鮮労働党の規約を改正したことは、党の指導力と戦闘力を非常に強化しました。また、金正恩閣下を党総書記として推戴したことは、自分たちが尊敬する指導者にたいする朝鮮人民の絶対的な信頼の立派な発現であり、燃えるような忠誠心と一心団結の不可抗力的力で党の指導的役割を強化しようという朝鮮人民の決心の噴出でありました。

以民為天と自力更生、一心団結により、自立的な内的原動力を増大させ、今日も明日も人民生活のすべての部門で大きくて持続的な勝利を収めるために、発展と進歩の恒久的な保証である党と国家の威力を強化する新しい規律監督体系を樹立するなど、一連の重要な決定を採択しました。

国家活動のすべての部門が具体的に検討されることにより、確固たる成果を保証し、時代と朝鮮人民の合法的な念願にも符合する、すべての条件を考慮に入れた新たな国家経済発展５ヵ年計画が作成されました。

経済の活性化を促進させ、農業部門の物質的・技術的土台を高め、原料の国産化を増大させ、金属や化学をはじめとする各部門をより発展させ、国防力を質的、量的に強化する、科学技術発展の必要性が言及されました。

そのため、8 回大会は段階別の計画を作成し、権柄と官僚主義、不正不敗のような弊害を根絶するようにしました。

　　こういうことからわれわれは、朝鮮労働党第 8 回大会が示した新たな国家経済発展 5 ヵ年計画に反映された行動の綱領が､深みのある検討と厳しい肯定的批判に基づいて作成され、また分野別に、段階別に細密に打算し苦心しながら能率的に作成されたことにより､成功するすべての幸運を有していると確信するものであります。

5.　朝鮮労働党第８回大会の思想について

（チュチェ思想国際研究所副理事長、欧州地域チュチェ思想研究会書記長
マテオ・カルボネリ）

朝鮮労働党第 8 回大会は社会主義と自主性のための朝鮮人民の闘争を推進しただけでなく、世界の革命的人民を鼓舞し、チュチェ思想を実現するための指針を得るようにした、意義深い大会となります。

朝鮮労働党第 8 回大会は全世界が新型コロナウイルス感染症によって苦痛を舐めていた時期、それもすべての政治行事が取り消され、ただインターネット行事だけがおこなわれていた時期に召集されました。朝鮮民主主義人民共和国で多くの代表が参加した中、朝鮮労働党第８回大会がおこなわれたのは、全的に新型コロナウイルス感染症を防ぐための決定的な対策があったからです。朝鮮労働党第８回大会は「活動する大会、闘争する大会、前進する大会」でした。それとは裏腹に、同じ時期にワシントンでおこなわれた米国会は、暴力と無秩序で民主主義理念を挫折させ、愚弄するものでした。

帝国主義者と反動層は「政治的変化の兆候」について騒ぎ立て、朝鮮労働党第８回大会で「改革」「改編」があるだろうと予測しましたが、大会は自主の路線を堅持し、大国にたいする屈従を排撃する一方、修正主義と日和見主義をともに排撃し、自己の革命的原則を堅持しました。

修正主義者の背信的な「改革」と日和見主義的な背信者によって東欧諸国で社会主義が崩壊した後、朝鮮労働党は自己の革命的原則を堅持しました。

1992 年に平壌で「社会主義偉業を擁護し、前進させよう」という平壌宣言が採択されました。

そして、金日成主席の逝去以後、帝国主義者が朝鮮民主主義人民共和国の崩壊と「改革」の選択について予測している当時、金正日総書記は、私に何の変化も望むな、と断固宣言し、朝鮮人民と世界の進歩的人民に赤旗を高く掲げて進むことを呼びかけました。以後、朝鮮民主主義人民共和国が帝国主義者の封鎖と自然災害による厳しい難関に直面し、帝国主義の手先は朝鮮民主主義人民共和国が社会主義を放棄し、資本主義を復活すれば、多くの援助を与えると言っていたとき、金正日総書記は、われわれはチュチェ思想の旗の下に強盛国家を建設するだろう、われわれは帝国主義者が喧伝する「改革」「改編」に引き込まれては絶対にならない、「改革」「改編」は亡国の道であると述べました。

朝鮮労働党第 8 回大会は人民の福祉増進のために経済にたいする国家の指導的役割を高めることについて再度強調しました。

朝鮮労働党第 8 回大会が示したスローガンは「以民為天」「一心団結」「自力更生」です。

チュチェ思想の中心的な内容を成す自力更生は、帝国主義者の制裁によって生じた難関を克服する上ばかりでなく、社会主義と自主性を守り、人民の福利を増進させる上で決定的で必須の武器であります。

朝鮮労働党の路線は、共和国が戦争の廃墟から不死鳥のように立ち上がって国を速やかに復旧し、社会生活のすべての分野で大きな成果を収めるようにしました。これとともに挑戦と難関の中でも強力な国防力によって国の自主性を守り、経済発展で大きな成果を達成させました。

金日成・金正日主義が示した道に沿って、朝鮮労働党は自主性にたいする人民大衆の志向と要求を実現するでしょう。

金正恩委員長を朝鮮労働党の総書記として推戴したことは金正恩委員長に対する朝鮮労働党員の高い尊敬の表しです。

金正恩総書記の指導の下に、朝鮮人民は朝鮮労働党第 8 回大会が決定した通りに、社会主義を守り、繁栄する社会を必ず建設するでしょう。

朝鮮人民が朝鮮労働党第 8 回大会の決定貫徹で大きな成果を収めることを願いつつ、われわれチュチェ思想研究者はチュチェ思想を研究普及し、具現するための活動をより深度を持って行っていくでしょう。

６．朝鮮労働党第８回大会―画期的な政治的出来事

(チュチェ思想国際研究所副理事長、アジア地域チュチェ思想研究所理事長
教授（博士）ハリシュ・グプタ)

鮮やかな朝の国である朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で、2021 年 1 月 5 日から 12 日までの間に朝鮮労働党第 8 回大会が、朝鮮人民とチュチェ思想研究者をはじめとした世界の進歩的人民の大きな期待の中に成功裏に行われました。

朝鮮労働党は 75 星霜、人民朝鮮で革命と建設を勝利的に指導して強力なチュチェの社会主義建設で大きな成果を収めました。

全世界が新型コロナウイルス感染症の被害によって数百万の死亡者を出し、すべての経済、社会、政治活動が頻繁に中止され、世界的に各政府が取った新型コロナウイルス感染症に対処する制限措置によって支障をうけている時､各階層の代表が大勢参加した朝鮮労働党第 8 回大会の召集こそは大きな出来事であると言わざるを得ません。

統一と団結の雰囲気の中で行なわれた第 8 回大会では、金正恩総書記が開会の辞を行い、参加者の一致した意思によって朝鮮労働党の総書記に推戴されました。それは朝鮮人民と朝鮮労働党員の総書記に対する信頼と尊敬、支持と確信の表しです。

金正恩総書記は開会の辞で 2016 年に行なわれた朝鮮労働党第 7 回大会以後、達成した大きな成果を強調し、同時にその間に発露された欠点について率直に指摘し、それを克服するための方途を示しました。

また、各分野の成果について言及しながら金正恩総書記は、ここで有意義な成果は、朝鮮式社会主義の存立の物質的基礎であり、生命線である自立的民族経済、社会主義経済の基盤を堅持し、その命脈を守り抜いたことであると指摘しました。

総書記は新たな国家経済発展５カ年計画の基本種子、テーマは、依然として自力更生、自給自足である、新たな展望計画期間の自力更生は、国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生に発展すべきであると述べました。

金正恩総書記は大会の最後の日におこなった結語で、今後の 5 年間、朝鮮労働党の前に提起された具体的な課題を示しました。

総書記は、社会主義経済建設は、今日、われわれが総力を集中すべき

最も重要な革命課題であると述べました。

金正恩総書記は戦争抑止力をさらに強化するとともに、最強の軍事力を備えることに全力を尽すべきであり、人民軍の最精鋭化、強兵化に引き続き拍車をかけて、いかなる形態の脅威と不意の事態にも国家防衛の主体としての使命と役割を果たせるようにしっかり準備させるべきであると述べました。

今後の 5 年間のすべての課題を成功裏に遂行するために党規約が改正されました。朝鮮労働党はすぐる期間に現れた欠点を克服するために全力を尽くすでしょう。党第 8 回大会で示された責任的な革命課題を成功裏に遂行するためには、党を強化して人民の利益を優先視し、常に人民のために働かなければならないと強調しました。今後党活動をより改善するための具体的な路線が示されました。

金正恩総書記は党第 8 回大会の結語で、私は、偉大な金日成（キムイルソン）・金正日（キムジョンイル）主義党を代表し責任を持つという聖なる使命感を深く自覚し、党大会が打ち出した闘争綱領を実現するために全力を尽くすであろうし、偉大なわが人民を私の運命の天のごとく見なし、真の人民の忠僕として為民献身の道で決死奮闘するであろうことを厳かに誓うと述べました。

朝鮮人民は金正恩総書記が指導する朝鮮労働党の人民大衆第一主義の旗の下にこれからより幸福で繁栄する生活を享受するようになるであろう。

われわれはまた、全朝鮮人民に明るい未来がもたらされ、朝鮮人民がより立派な生活を享受することを願います。われわれはチュチェの社会主義朝鮮が金正恩総書記の出色で賢明な指導の下にさらに強大になるであろうと確信します。

７．朝鮮労働党第８回大会は朝鮮革命の新たな飛躍期、高揚期をもたらす意義深い大会

（南アフリカ進歩的思想研究グループ委員長　エティエ・ケカナ）

全般的朝鮮革命を新たな一大高揚へと導く上で提起される綱領的指針を明示した朝鮮労働党第８回大会は、社会主義偉業の勝利的前進と洋々たる前途を確信をもって約束していることにより、全朝鮮人民と世界の進歩的人民から全幅的な支持と賛同を受けています。

すべての国の党は党大会を通じて自国の革命闘争で堅持して進むべき路線と戦略的・戦術的方針を示し、それは革命の威力ある推進力となります。

金正恩総書記の卓越し洗練された指導によって朝鮮人民は最悪の難関が続き、大きな障害が横たわっている中でも党第７回大会が示した闘争綱領を実現するための頑強な闘争をくり広げて偉大な勝利を勝ち取りました。

金日成主席と金正日総書記が譲り渡した貴い革命遺産である一心団結は、今日、金正恩総書記の卓越し洗練された指導、限りなく高邁な偉人的風貌によって一つの思想と信念、同志的愛と信義にもとづく全党、全軍、全民の渾然一体として一段と強化されました。

金正恩総書記の周りに固く結束した朝鮮人民の一心団結は、チュチェ朝鮮をだれも侵すことができず、いかなる力をもってしても崩すことができない金城鉄壁のとりで、社会主義のとりでとして光を放つようにしています。

総書記の指導に従って進む道に勝利と栄光の道があるという確固たる信念をもって、革命の新たな勝利に向かって進む朝鮮人民は不可能も可能に転換させ、無から有を創造する奇跡と転換の歴史を創造しました。

金正恩総書記は昨年、悪性伝染病が世界を襲う大災難と相次ぐ自然災害による被害の中でも思考と行動の自発的な一致性でもって防疫陣地を確実にうち固め、２ヶ月という短期間に被害地域を人民の幸福な楽天地、労働党時代の理想郷として天地開闢させました。

世界には経済力や豊富な資源を誇る国々がたくさんあるが、自己の確固たる指導思想と指導者の周りに全人民が一つの思想で固く結束して社会主義強国建設を力強くおこないながら前進している国は朝鮮民主主義人民共和国しかありません。

いかなる難関や試練も、いかなる敵対勢力も社会主義偉業、チュチェの革命偉業の勝利にたいする確固たる信念をもって金正恩総書記の

周りに一心団結して社会主義建設の新たな勝利に向かって力強く前進する朝鮮人民の前途を阻むことはできません。

金正恩総書記は朝鮮労働党第 8 回大会で、この 5 年間、革命と建設で収めた成果と経験を分析、総括し、朝鮮革命の新たな飛躍期、高揚期を迎え、朝鮮民主主義人民共和国の復興、発展と朝鮮人民の幸福のための新たな路線と戦略的・戦術的方針を示しました。

党活動を全面的に厳しく総括し、社会主義偉業のより大きな勝利を達成するための正しい闘争方向と任務を明白に再確定し、実際の改善対策を講じたことにより、朝鮮革命は新たな飛躍期、高揚期に確実に入ることでしょう。

金正恩総書記が朝鮮労働党第 8 回大会で示した戦略的・戦術的方針、朝鮮民主主義人民共和国の復興、発展と人民の幸福のための次の段階の闘争で新たな勝利を遂げうる道を明示した戦闘的旗印となります。

金正恩総書記が示したすべての思想と路線に貫かれている基本思想は、自らの力、主体的力量を強化して現存する脅威と挑戦を果敢に突破し、朝鮮式社会主義の建設において新たな飛躍を起こし、確実な前進を遂げなければならないということです。

金正恩総書記が示したすべての思想と路線は、朝鮮革命と世界の社会主義偉業の遂行において新たな勝利を達成するための綱領的な指針となります。

朝鮮労働党の創立者、建設者である金日成主席と金正日総書記の革命思想である金日成・金正日主義は人民大衆の自主性を実現するための実践闘争の中でその真理性と生命力が検証された、朝鮮革命と世界の自主化偉業の永遠な勝利のための旗印であります。

歴史的な朝鮮労働党第 8 回大会では、金日成・金正日主義党の強化発展とチュチェ偉業の新たな勝利的前進のために、そして全朝鮮人民の一致した意思と念願を反映して金正恩委員長を朝鮮労働党の総書記として高く推戴しました。

金正恩総書記は天才的な思想的・理論的英知と非凡な指導力、崇高な風貌をもって朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国、全朝鮮人民の前にもっとも輝かしい業績を積み上げたチュチェ革命の卓越した指導者であり、尊厳ある朝鮮民主主義人民共和国と全朝鮮人民の偉大な象徴であり、代表者であります。

世界には朝鮮人民のように自分の領袖、自己の党の愛と恩恵に忠誠を尽

くして報いる良心的で信義的な人民はいません。

今後、より多くの挑戦が朝鮮人民の前進を阻むこともありうるが、最悪の条件と試練の中でも他国では想像することさえできない大きな成果を収めた朝鮮人民にとって、克服できない難関などあり得ず、勝利は確定的であると思います。

私は自力更生、自給自足の偉大な伝統と金正恩総書記が示した新たな戦略的・戦術的方針を貫徹するために水火もいとわずに闘う不屈の人民がいるがゆえに、チュチェ朝鮮は明るい未来に向かってさらに力強く前進するだろうと確信します。

金正恩総書記の賢明な指導を受ける朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮人民には常に勝利と栄光のみがあるでしょう。

８．朝鮮労働党第８回大会の開会の辞に接して

（アジア地域チュチェ思想研究所理事、インド金正日著作研究会委員長、
インド金日成・金正日主義研究会委員長、博士Ｓ・Ｐ・パタク）

朝鮮労働党の金正恩総書記がおこなった党第 8 回大会の開会の辞は、偉大な革命思想と朝鮮民主主義人民共和国が今後直面する挑戦について示しています。開会の辞は、大会の参加者と全人民を未達成の朝鮮労働党第 7 回大会の課題を完成するために奮い立たせる非常に深奥で力強いアピールです。事実上、専門家的見地で見るとき、開会の辞は、内容が豊富で未達成の課題の完遂へと人々を呼び起こすものです。もっとはっきりというならば、開会の辞は社会主義建設に重点を置いています。

金正恩総書記は開会の辞で、朝鮮労働党は経済建設を促進させ、人民生活を向上させなければならないと強調しました。

これは総書記が人民生活の向上に深い関心を寄せ、人民が幸福で裕福な生活を享受する富強な国を建設しようとしていることを物語っています。

総書記は朝鮮を最も強大で裕福な道へ導くべき重任がわれわれに負わされていると述べました。

総書記は、開会の辞の前の部分で、第 7 回党大会の決定貫徹で収めた大きな勝利とともにすでに掲げた目標を達成できなかった欠点とその原因を掘り下げて分析、総括し、それから得た教訓にもとづいて現存する難関を早く克服しなければならない、と述べました。言い換えれば「教訓を得て」二度とそのような弊害が繰り返されないように断固たる対策を講じなければならないということです。

客観的に見れば開会の辞は、国の全般的な発展のための旗印をもたらすために、総括期間の欠点を二度と繰り返さず、より大きな進歩を遂げるためにがんばるように呼び起こす力強いアピールであります。

開会の辞の中心は依然として社会主義建設と人民生活の向上にあります。

総書記は自主的に生きるためには、自力に依拠しなければならないと強調しています。金正恩総書記は人民生活の向上を重視しています。

金正恩閣下が強調した重要な問題はまた、国を強大にすることです。

もっぱら力を有してこそ、世界超大国と名乗りながら何かの口実の下に脅威し服従させせようとする国々の無礼な欲望から自らを守ることができます。

金正日総書記は、かもし出された情勢を適時に見抜き、先軍政治を打ち出しました。今日は金正恩総書記が、人民に不敗の力を蓄えるために奮闘しようとアピールしました。

これとともに金正恩総書記はより多くの富を創造して人民の生活水準を高めることについて重ねてアピールしました。一民族が偉大な民族になるためには、自立し得るよう各分野で可能な限り十分な物質的富を作らなければなりません。ここで自力更生こそは、自信に満ちて頭を上げて望む目標を達成するための鍵であります。民族が偉大であるためにはより多くの財宝を創造するために闘争しなければなりません。

一言で言って、金正恩総書記は立派な洞察力の持ち主です。
金正恩総書記の開会の辞は、偉大な目標を達成するための指針であります。

９．社会主義建設を強調した朝鮮労働党第８回大会―
人民の要求を実現する上での前進

（ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会副理事長、チュチェ思想研究フィンランド全国委員会委員長ユハ・キエクシ）

周知のように、朝鮮民主主義人民共和国は非常に困難な対外的環境の中にあります。帝国主義者の貿易封鎖と制裁、世界的な新型コロナウイルス感染症、毎年蒙っているひどい自然災害など、多くの外的要因が共和国における社会主義建設を遅延させています。これらの要因は日増しに悪辣になる帝国主義と世界化の産物です。

貿易封鎖と国連制裁の根源は、帝国主義者の攻撃に屈しない朝鮮民主主義人民共和国が自力で国防力を強化し、社会主義建設を進めることができないよう妨害しようとするアメリカの帝国主義的政策にあります。アメリカ帝国主義者は朝鮮民主主義人民共和国が自国の国防力を強化することを望まないでいます。

制裁は朝鮮民主主義人民共和国の他国との貿易活動を困難にしています。事実上、制裁は朝鮮人民の福祉に直接の影響を与える厳重な敵対行為です。こうした行為は国際法の精神にも違反するものです。アメリカが朝鮮民主主義人民共和国の人権について批評していますが、世界のどこでよりも朝鮮半島で人権を蹂躙している国はほかならぬアメリカです。

もう一つの外的要因は世界化の結果の一つである新型コロナウイルス感染症です。資本と人々の自由な移動がなかったならば、このような感染症は起こらなかったでしょう。総体的に世界的な大流行伝染病は帝国主義によって深刻になっています。

西欧で状況はさらに悪化しています。大流行伝染病はこれらの国々で多くの問題を惹起しました。失業率が増えています。大資本は億万長者によって維持されています。貧しき人はますます貧しくなり、富める人はますます富んでいます。

三つ目の外的問題は朝鮮半島で続いている自然災害です。自然災害がひどくなるのも大企業の利害関係によって招かれています。世界気候の変化を防ぐための活動では前進がありません。気候の変化を防ぎ、環境を保護し

ようとすれば大資本の利益が侵害されるからです。西欧は気候の変化を防ぎ、環境を保護する意志もなく、また保護することもできません。普通、政府と機関は大資本に指示されます。こうした場合、人民の意見は問題になりません。

朝鮮労働党第 8 回大会はこのような外的要因とともに社会主義の前進を遅延させた内的要因についても関心を払いました。

朝鮮労働党第 8 回大会では党がこれまでの党大会とは異なり、今回の大会で自己の活動を肯定的な面ではなく、批判的な立場に立って冷静に分析、総括したことは、総括期間に収めた成果に劣らぬ大きな意義をもつと指摘しました。

朝鮮労働党第 8 回大会は今後の 5 ヵ年計画期間、金属工業と化学工業の発展に投資を集中することについて強調しました。

金属工業と化学工業を発展させることは特別に重要な問題です。

朝鮮民主主義人民共和国は発展に有利な基礎となる豊富な天然資源をもっています。これは国の自立を強化させます。自立しなければ、帝国主義者の圧力に屈するようになるため、自力更生を強化することはきわめて重要であります。

朝鮮民主主義人民共和国が長期にわたって堅持してきた自立は、数回にわたって自己の威力を示しました。朝鮮民主主義人民共和国は 1990 年代の社会主義経済体制の崩壊と深刻な自然災害の中でも健在しました。これはひとえに自立の結果です。

党と人民の団結は社会主義建設でもっとも重要な問題です。

あらゆるものが人民の福祉増進を志向している社会で、一心団結がなければ平等な社会の建設は不可能になります。

人民大衆から学ぶこと、まさにこれが朝鮮民主主義人民共和国とブルジョア社会の根本的な差であり、金日成・金正日主義の威力であるのです。人民大衆の中に入ってこそ、彼らから仕事がスムーズに運ばれる妙術を心得るようになり、彼らが何を望むかを知るようになります。

金正恩総書記が述べているように、朝鮮労働党第 8 回大会の基本精神は、朝鮮民主主義人民共和国の主体的な力、内的原動力を一段と強化し、各分野において偉大な新たな勝利を達成しようということです。

朝鮮労働党第 8 回大会は今後の 5 年間、経済と国防を強化し、また人民の福祉増進を目指す重要な指針を提示しました。中央と地方とを問わず、す

べての人民が同じおかげをこうむるでしょう。もっとも有意義なことは以民為天の思想が浮き彫りになったことです。この思想は社会の進歩の基礎がほかならぬ人民の要求であることを具体化してくれます。他のすべての国で社会の発展が大資本家の要求にもとづいて成されていることを考えるとき、これは実に意味が深いです。

金日成・金正日主義は朝鮮民主主義人民共和国で人民の福祉と社会主義建設を保障してくれる思想です。

金日成・金正日主義はまた、自主性のためにたたかう全世界の人民にとって貴い指導指針となります。

１０．朝鮮労働党第８回大会―熱情的な大会

（ロシアのティンダ市チュチェ思想研究協会　ゲンナジー・アスタホフ）

朝鮮労働党第 8 回大会は参加者の高揚した熱意の下に行われた大会であると誇らしく呼ばれています。

金正恩総書記は大会の全期間、代表者の皆さんは最大の党的自覚と責任感を持って問題の討議に誠実に参加し、建設的な意見を積極的に提起して意思を一致させながら、活動する党、闘争する党、前進する党としてのわが党の戦闘的面貌を余すところなく示したと述べています。

総書記は全ての代表者がみな一人のように、革命活動の成敗と自分自身や子孫の運命を結び付けて苦心し心配しながら、討議される全ての問題を積極的に真摯に研究し、緊張した大会の活動に積極的に参加したと述べました。

大会の活動にたいする金正恩総書記の高い評価は、朝鮮民主主義人民共和国の永遠な主席であり、民族の慈父である金日成主席の膝下で成長した朝鮮の数百万の党員と勤労者の共感を呼んでいます。

「人民に奉仕する！」これは朝鮮労働党が示したスローガンの一つであります。

朝鮮労働党は人民大衆の利益と要求を最優先視し、全ての問題を人民大衆の利益と要求に即して解決することを自己の活動の鉄則としています。

日本帝国主義の軍事的占領から国が解放された後（1945 年 8 月 15 日）、朝鮮労働党は反帝反封建民主主義革命の一環として土地改革を実施して自分の土地を求めていた農民たちの世紀の願いをかなえてやりました。その他にも重要産業国有化を実施して労働者たちを工場の主人におし立てました。男女平等権の法令が発布されたことにより、女性は男性と同等の権利をもつようになりました。

国の経済状況が困難で１ｔの鋼材も非常に大事であった時期、労働者たちの生命と健康に有害な原鉄炉を大胆に爆破させました。女性と赤ん坊のために平壌産院を立派に建設しました。このような話は感動なしには聞くことのできない話であります。

朝鮮労働党は人民の生命を責任をもって見守っています。

党は自己の活動で人民の利益を守り、人民に忠実に奉仕する原則を確実に堅持して人民の絶対的な支持と信頼を受けています。

去る数十年間、党は全般的無料義務教育と無料治療、国家の負担で住宅を建設して人民に無料でわりあてることをはじめ、人民的施策を変わることなく実施してきました。信じがたいことだが、すでに４０余年前にこの国で税金制度が撤廃されたのは事実であります。

これは全的に朝鮮労働党の指導者たちの正しい人民観を離れて考えられません。

金日成主席と金正日総書記は以民為天を座右の銘にしてもっぱら人民の幸福のために献身的に活動し、人民は朝鮮労働党を母なる党と呼んでいます。

いつか、ある外国人が金日成主席に朝鮮では全国の学生少年たちに制服を無料で供給することによって生じる損失をなにで補償しているのかと質問したことがあります。そのとき、金日成主席は、人民のためにこうむる国家の「損失」は損失といえない、と述べました。

また、いつかは、主席に朝鮮の有名な名勝地である妙香山一帯に金が埋蔵されているという報告が提起されたことがありました。

金日成主席はそこに金鉱を建設しようという提議に賛成しませんでした。それは祖国の自然の美しさと人民の文化的休憩場に損傷を与えることを絶対に許すことができなかったからであります。

金正日総書記は生前、常に人民のためには損をすることでもしなければならないとし、人民のためなら打算を先にしてはならないと述べました。

総書記は国の北部に位置している三水発電所の建設現場を現地指導しながら、建設を進める前に浸水地域の住民にわりあてる新しい住宅から建設しなければならないと述べました。

「人民に奉仕する！」というスローガンも金正日総書記が提示したものであります。

今日、朝鮮労働党の金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の偉業を立派に継承し、人民のためにすべてを尽くしています。

金正恩総書記のすべての思索と活動は、歴史のあらゆる風波を切り抜けながら、党を忠実に奉じてきた人民が二度と生活に困窮することがなく、人民に社会主義の万福を享受させることに志向されています。総書記は下部から提出されたある書類に人民に奉仕しようという親筆を残しました。

いつか総書記は平壌の中心部に位置した倉田通りに新居入りした労働者夫妻の家庭と教育者夫妻の家庭を訪ねました。総書記は彼らの生活状況を具

体的に調べながら、彼らと分け隔てなく話を交わしました。総書記は彼らとともに記念写真を撮り、生活用品を贈りながら彼らを祝福しました。

今日、金正恩総書記が導く朝鮮労働党は、総書記の人民にたいする崇高な滅私奉仕の精神を具現して「人民に奉仕する！」というスローガンを高くかかげて、人民に一日も早く社会主義の万福を享受させようと全力を尽くしています。

朝鮮労働党の金正恩総書記は朝鮮労働党第８回大会の活動期間に代表者の皆さんが、革命活動の前進と発展のために重い責任感を共に抱き、最も正確で最も力強いわれわれの闘争方向と戦略･戦術を確定することに心魂を傾けたことに非常に感動し、そこから大きな力を得たばかりでなく、これをたいへんありがたく思っていると述べました。

１１．朝鮮労働党第８回大会とチュチェ思想研究活動における意義

（ロシア極東地域金日成・金正日主義研究協会副委員長、極東連邦総合大学教員、
朝鮮民主主義人民共和国社会政治学博士　クリコフ・ゲンナジー・ペトロビッチ）

朝鮮労働党第 8 回大会で朝鮮労働党は朝鮮式社会主義偉業にたいする自己の忠実性を確言し、金正恩委員長を朝鮮労働党の総書記として推戴しました。

大会は朝鮮労働党の政治路線と経済戦略の正当性を確認させました。朝鮮労働党中央委員会活動報告は、朝鮮労働党第 7 回大会が示した課題を遂行する過程に現れた欠点を解明することに基本を置きました。

これは金正恩総書記が講じた大胆な措置でした。

計画の未達成の原因にたいする大胆な批判は、党の指導力と社会経済および政治情勢にたいする党の掌握力、朝鮮人民と国家、党の創造的能力にたいする確固たる信頼を確認するものでした。

現存する欠点にたいする公開的な批判はまた、近い将来だけでなく、国の展望的な発展のためのもっとも均衡的な方針を提示しようとする朝鮮労働党指導部の志向の正当性を示しました。

党大会で講じたこうした大胆な措置は、チュチェ思想、金日成・金正日主義の威力にたいする朝鮮労働党指導部の確信を証明しています。

大会の終わりに伝統的に奏楽されていた朝鮮労働党の賛歌の代わりに共産主義者の国際的頌歌である「インターナショナル」が奏楽されました。

これは世界の反帝勢力と社会主義運動との協力を強化しようとする朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国の意志であると評価できます。

朝鮮労働党第 8 回大会の決定は全朝鮮人民の平和な生活保障において決定的な意義を有します。ゆえに、大会の報告を研究し、朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国の対内外政策を研究することは大きな意義をもちます。

ロシア極東地域金日成・金正日主義研究協会の活動においてそれらの決定は特別に重要な意義をもちます。

現在、われわれの協会がもっている幅広い図書目録基地を利用すれば、チュチェ思想の創始者であり、朝鮮の初の人民国家である朝鮮民主主義人民共和国の創建者、建設者の著作を十分に幅広く学習することができます。

恐ろしい伝染病の感染を防止するために、それぞれ隔離されている状況で、

金日成・金正日主義の研究と実践の形式は変わっています。

われわれの協会は現代情報技術を適用し、遠隔通信体系を通じてさまざまな問題を研究することに活動の中心を置いています。

以前には主に責任活動家が協会のメンバーにわたす知識を受動的に受けとる形式を基本にしていたとすれば、今は協会のメンバーの積極的な活動を基本にして、彼らが自体でさまざまな問題にたいする討論文を準備するようにしています。

普通、インターネットセミナー、言い換えればリアルタイム会議の方式でセミナーをおこなっています。2020 年と 2021 年の 2 月にこのような方式でセミナーを行いました。

われわれは、他の金日成・金正日主義研究協会がモンゴル（ウランーウデ)、サンクト - ペテルブルグなどの地域で行ったセミナーにも協会のメンバーを参加させています。

しかし、われわれがチュチェ思想の宣伝で伝統的に利用するもっとも重要な方式は各種の抗議行事に参加することです。特に、われわれは朝鮮民主主義人民共和国の沿海でアメリカと南朝鮮が行っている合同軍事演習に反対する抗議デモと朝鮮民主主義人民共和国の平和愛好的な政策を擁護、支持するデモを行っています。

１２．チュチェ思想の生命力と朝鮮労働党第８回大会報告の正当性

（ギニア・金日成・金正日主義研究全国委員会書記長
アブドゥラエ・ディアロ）

金日成主席は朝鮮革命を指導し、不滅のチュチェ思想を創始したことにより、人民大衆が自己の運命を自主的に開拓し、自主性を強化するよう正しい道へと導きました。

それだけでなく、主席は共産主義運動の歴史上はじめてチュチェ思想を指導指針とする新型の革命的党を創建しました。これは、言うまでもなく金日成主席が収めたもっとも輝かしい業績となります。

チュチェ思想は、世界のすべての国の人民が民族的財宝の恩恵を享受できるようにし、特権と不正義、また腐敗のない社会で公正かつ幸福な生活を営むようにする道を示す思想です。

社会主義朝鮮の始祖である金日成主席の革命偉業に限りなく忠実な金正日総書記は朝鮮民主主義人民共和国で真の社会主義社会の建設経験と成果にもとづいてチュチェ思想を発展豊富化させました。

今日、チュチェ思想は金正恩総書記の確固たる信念によってより豊富化され、深化発展しました。

朝鮮民主主義人民共和国でチュチェ思想の生命力はもっとも高く発揮され､公正な社会建設の過程を引導する正当な思想があるということを実証しました｡外部の援助に依存していた国々でもチュチェ思想の妥当でかつ方法論的な適用を通じていかなる環境の中でも肯定的な結果を収めることができるというのが実証されました。

朝鮮民主主義人民共和国における明白な経験は、独立と発展に反対して帝国主義者が頻繁に起こしている政治､経済及び社会的変動の中でも堂々と自己の思想と自主権をもって何の心配もなく暮らしていく人民の国がこの世にあるということを示しています。

一心団結に基づいている朝鮮民主主義人民共和国ではチュチェ思想が人民の志向と具体的現実に相応しく具現されました。

指導者たちの賢明な指導によってチュチェ思想で武装した朝鮮人民は、自己の運命と自国の主人であるという自覚をもって立派な社会を建設するために献身しています。

連帯精神が強いこの平和な国で人民は自国の指導者の指導に沿って自

分自身の福利とともに他国人民の福利のためにも協力する準備ができています。

独立、チュチェ、そして社会主義は朝鮮革命の羅針盤、基本活路です。これらの概念は、朝鮮人民の宿願と朝鮮民主主義人民共和国の現情勢に合致し、半世紀以上にわたって領袖たちが収めた革命業績と貴重な伝統、多くの経験の骨子であります。

朝鮮民主主義人民共和国における社会主義の恒常的な発展は輝かしいものであり、不滅のチュチェ思想の正当性と生命力の確証となります。朝鮮労働党がチュチェ思想を自己の指導指針にしたときから英雄的朝鮮人民は、不利な自然を征服する闘争と愚かにも不抜の朝鮮人民を強権で屈服させようとする帝国主義勢力の相次ぐ挑発を粉砕する闘争で勝利の道一筋を歩んでくることができました。

朝鮮労働党と朝鮮人民は、世界的な政治及び経済的な環境の中でも永遠に領袖たちが指し示した道に沿って朝鮮労働党の金正恩総書記の賢明で洗練された指導を奉じる革新的な発展の新しい進軍路に奮い立ちました。

私は、正義と平和を愛する一人として朝鮮民主主義人民共和国が今後もチュチェの原理を正しく具現することにより、朝鮮の自主統一を一日も早く、特に平和的に達成し、大きく飛躍するだろうと信じてやみません。

１３．朝鮮労働党第８回大会が示した路線と方針の正当性

(南アフリカ金日成・金正日主義研究全国委員会委員長
アンブロセ・ウムニシ)

朝鮮労働党第 7 回大会以降の 5 年間、朝鮮革命の前にはいまだかつてなかった最悪の難関が横たわったが、朝鮮人民は金正恩総書記の周りに一心団結し、頑強で正しい実践闘争をくり広げて偉大な勝利を収めました。

今回の朝鮮労働党第８回大会ではこの５年間、社会主義強国建設で収めた成果と経験を分析総括し、それにもとづいて朝鮮革命の新しい飛躍期、高揚期を迎えるための新たな路線と戦略的・戦術的方針が示されました。

朝鮮労働党第８回大会が示した闘争路線と戦略的・戦術的方針、課題と方途は、朝鮮民主主義人民共和国の復興、発展と朝鮮人民の永遠な幸福を目指す次の段階の闘争で新たな勝利を収めうる道を明示しており、朝鮮人民の自らの力、主体的力量を全面的に強化して現存する脅威と挑戦を果敢に突破し、新たな飛躍を起こし、確実な前進を遂げなければならないという内容で一貫されています。

朝鮮労働党は社会主義朝鮮を指導する全期間、自力更生の旗を高く掲げて自力富強、自力繁栄の新時代を開き、これは今日も朝鮮労働党が終始一貫堅持している革命的な立場です。

金正恩総書記は朝鮮労働党第 8 回大会で、社会主義建設の過程に直面した主観的・客観的環境を分析し、朝鮮革命の新たな勝利を成し遂げるための正しい闘争方向と任務、実際の対策を講じました。

人民の理想社会を建設するための社会主義建設は、多くの隘路と難関を克服する闘争を伴います。

試練と難関が厳しいことも大きな問題であるが、より重要なのはこうした難関をどのように克服していくのか、ということです。

金正恩総書記は経済戦略を実現するための部門別の課題と方途、国家防衛力を持続的に強化するための戦略的課題と方途、科学技術発展を促進して自力富強、自力繁栄の活路を開いていくための闘争方向を明白に示しました。

金正恩総書記が示したすべての闘争方略は、社会主義建設のすべての

部門で朝鮮式社会主義の優越性と威力を余すところなく発揮させ、新たな勝利を収めるようにする綱領的な指針となります。

総書記は朝鮮労働党第８回大会の基本思想、基本精神は、社会主義建設の主体的な力、内的原動力を一段と強化し、各分野において偉大な新たな勝利を達成しようというのであると言及しました。

言い換えれば、自らの内部の力を全面的に整備し再編成し、それに基づいて全ての難関を正面突破して新たな前進の道を切り開かなければならないということです。

そして総書記は全党が「以民為天」「一心団結」「自力更生」の理念を今一度肝に銘じ、朝鮮式社会主義の新たな勝利を達成することについて格別に強調しました。

金正恩総書記が朝鮮革命発展の新たな時代的要求に即して社会主義偉業のより大きな勝利を達成するための正確な闘争方向と任務を明示することにより、朝鮮民主主義人民共和国は社会主義の全面的発展の過程で新たな飛躍期、高揚期を迎えるようになるでしょう。

金正恩総書記が朝鮮労働党第 8 回大会で行った歴史的な報告は、社会主義を建設し、世界の自主化を実現するためにたたかう革命的人民に大きな鼓舞となっています。

偉大な金日成・金正日主義を研究普及するわれわれは、朝鮮革命と世界の革命的人民が進むべきもっとも科学的で革命的な進路を明示した金正恩総書記にたいする尽きない敬慕の念と絶対的な支持を表します。

われわれは金正恩総書記の賢明な指導にしたがって社会主義強国を建設し、国の自主権を守るためにたたかう朝鮮人民に固い連帯を送ります。

われわれはこの機会に金正恩総書記のご健康と朝鮮人民の明るい未来と繁栄を遂げるための責任ある活動でより大きな成果を収めることを心から祈願します。

社会主義を目指して前へ！

１４．朝鮮労働党第８回大会に敬礼と祝賀を送る！

（ネパール共産党「マルクス・レーニン主義」総書記
金日成主席と金正日総書記回顧ネパール全国委員会委員長
C・P・マイナルリ）

朝鮮労働党は 1945 年 10 月 10 日、金日成主席が創建した朝鮮の偉大かつ栄えある革命的党です。朝鮮労働党は金日成主席が創立した党であり、チュチェ思想を指導思想とする革命的党です。朝鮮労働党は金日成主席と金正日総書記の半世紀余りの指導を受けた誇りをもっています。

この偉大で栄えある革命的党である朝鮮労働党は 2021 年 1 月 5 日から 12 日まで平壌で第 8 回大会を成功裏に召集しました。

朝鮮労働党第 8 回大会は自己の道に沿って変わることなく力強く前進していく朝鮮革命の歴史で一つの分水嶺をなしました。

朝鮮労働党と朝鮮革命が収めたすべての成果は、金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の功績です。

金正恩総書記と朝鮮労働党第 8 回大会の成果的な開催に敬礼と祝賀を送りましょう。

共産主義的で革命的な朝鮮人民だけでなく、世界の共産党員と革命的人民は朝鮮労働党第 8 回大会が成功裏に行われたことについて嬉しく思っています。

大会でおこなった報告で金正恩総書記は、朝鮮式社会主義を本格的に建設する上で今後 5 年間に遂行すべき計画を示しました。大会期間に行われた部門別協議会では報告にたいする慎重な研究と討論がおこなわれました。決定書の草案作成委員会は参加者の創意的で建設的な意見を総合しました。

決定書は党第 7 回大会の決定貫徹期間、現れた欠点について指摘し、慎重な討論を経て、欠点を正すための実践的な方途を示しました。決定書は党と朝鮮式社会主義の発展で現れた欠点を是正し克服しようとする朝鮮労働党第 8 回大会の確固不動の意志を示威しました。決定書は以民為天、一心団結、自力更生について示し、朝鮮式社会主義を建設する上で大きな成果が収められたことについて明白に指摘しました。

決定書はまた、今後の 5 年間、経済と国防、文化と国家社会管理をはじめとしたすべての部門で達成すべき綱領と目標を示しました。

党第８回大会は朝鮮社会の各階層の人民を呼び起こして目標を遂行することを満場一致で決定しました。

党第８回大会は金正恩委員長を朝鮮労働党総書記に推戴しました。

朝鮮労働党は朝鮮式社会主義を発展させ、あらゆる乱暴な脅威に対処するための強力な抑止力と無敵の国防力を建設し、朝鮮民主主義人民共和国と世界の平和を守り、朝鮮人民の生活条件を改善し、消費財を十分に供給して、彼らに幸福をもたらすために献身する金日成・金正日主義党に強化発展されました。

朝鮮労働党第８回大会は上で言及された目標を達成するために巨歩を踏み出しました。われわれは朝鮮民主主義人民共和国が金日成・金正日主義によって導かれ、金正恩総書記を首班とする朝鮮労働党の指導の下に、平和と正義の守護し、繁栄する現代的な朝鮮式社会主義を建設するための崇高な目標に向かって引き続き前進するだろうと確信いたします。

１５．朝鮮労働党第８回大会の決定貫徹に奮い立った朝鮮人民に支持を送る

（ネパール先軍政治支持協会書記長　パニンドラ・ラジュ・パント）

朝鮮労働党第 8 回大会は党中央委員会の非凡な思想的・理論的英知と老練な指導に限りなく忠実な代表たちの革命的意志が熱く噴出した中で行なわれました。

彼らは党大会で採択された決定を無条件に完遂し、偉大な人民のために滅私奉仕する決意を固めました。

不滅のチュチェ思想と先軍政治を研究し、両国の友好関係を強化するために努力しているわれわれネパールの社会及び友好団体は､朝鮮労働党の指導力と全人民の民族的感情で大きな印象を受けています。

われわれの研究フォーラムと社会及び友好団体は、朝鮮労働党第 8 回大会の成果に多くのことを学び、それにもとづいて活動しています。

われわれは信頼と献身、報恩と信義に満ちた朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治によって､朝鮮革命と人民大衆中心の朝鮮式社会主義の政治的・思想的陣地が強化されたことについて深い感銘を受けました。

われわれは党第 8 回大会の決定貫徹のための朝鮮労働党と朝鮮人民の歴史的な闘争が､自力更生を自存と自立の生命線､難関を克服する力強い原動力としてしっかりと捉え､新たな道を開くための積極的な攻撃戦であることを知っています。

朝鮮人民は今日、指導者と人民大衆中心の社会主義のために身命をささげるという覚悟をもって前進しており､人民大衆は党と指導者の愛と信頼を受けています。

党第 8 回大会での決定は､朝鮮労働党の栄えある 75 年歴史が 80 年歴史へとつながれる決定的な時期に､朝鮮民主主義人民共和国の明るい未来と強国の尊厳と繁栄を示す里程標です。これは以民為天の思想と一心団結の思想、自力更生の思想を今一度肝に銘じ､社会主義の新たな勝利を成就するという数百万党員の革命的意志の明白な表現です。

「一滴の水に宇宙が映る」という諺があります。私は、私の心の琴線に触れた朝鮮労働党第 8 回大会における結語でおこなった金正恩総書記の言葉を引用しようと思います。

「私は、偉大な金日成・金正日主義党を代表し責任を持つという聖なる使命感を深く自覚し、党大会が打ち出した闘争綱領を実現するために全力を尽くすこと、偉大なわが人民を私の運命の天のごとく見なし、真の人民の忠僕として為民献身の道で決死奮闘することを厳かに誓います」

ここに指導者の偉大さがあります。世界には多くの指導者がいますが、私はまだその誰からもこういう偉大な言葉を聞いたことがありません。

金正恩総書記は現代の傑出した偉大な指導者です。

朝鮮人民が偉大な指導者の指導を受ける限り、必ず社会主義建設の主体的な力、内的原動力を一段と強化してすべての部門で新しくて偉大な勝利を達成するだろうことは疑う余地がありません。

今日、朝鮮人民は新たな5ヵ年計画の最初の年の目標を達成するための闘争に立ち上がりました。朝鮮人民は国家経済発展の初年の課題を遂行するための決死戦をくり広げており、社会主義経済建設の重要な革命課題の遂行に全力を集中しています。

この機会に、私は総書記の指導の下に党第8回大会で示された目標を実現するためにたたかっている朝鮮人民に心からなる支持を送り、金日成主席と金正日総書記の畢生の念願である社会主義偉業の新たな勝利を達成するために、金正恩総書記のご健康とご多幸を祈願します。

１６．チュチェの輝かしい旗印金日成主席

（ネパール記者協会委員長、チュチェ思想および先軍政治研究ネパール記者協会委員長、
アルパン週刊誌責任主筆、博士　マンジュ・ラトナ・サキヤ）

偉大な金日成主席の革命思想は、人類史上はじめて創始されたチュチェ思想とそれによって解明された革命と建設に関する理論と方法の全一的な体系となっています。

金日成主席のすべての思想と理論はチュチェ思想から生まれたし、チュチェ思想を具現しています。チュチェ思想は人民大衆が民族的及び階級的抑圧と搾取だけでなく、あらゆる束縛から解放されて自己の運命の真の主人として自主的で創造的な生を享受できる方途を教える指導思想です。チュチェ思想は革命の指導原則と革命と建設で提起されるすべての問題に正しい解答を与える方法を教えています。

チュチェ思想の特徴は、この思想が人間中心の哲学思想であるだけでなく、徹底した革命哲学、政治哲学であるということです。

金日成主席は党活動と国家活動の多忙な中でも 1979 年 6 月 19 日、清津でわれわれを接見し、直接談話も交わし、私を旧友であると言いながら暖かく抱擁し、実に私の心に消しがたい印象を残しました。私は金日成主席と直接、率直に話せる立派な機会をもつようになったことを幸運に思います。これは私の記憶で消しがたいこととなりました。この日は私の生涯で極めて重要な日となります。

金日成主席は私の質問に全部回答を与えました。

金日成主席は私の質問に答える前にこう述べました。

「あなたがたと平壌でお会いすべきでしたが、いま現地指導で地方に来ているため、遠いところまでおいでを願ってたいへん申し訳ありませんでした。ご了解願います。

わたしは、あなたがたのわが国訪問を熱烈に歓迎します。

わたしは、あなたがたが朝鮮人民とネパール人民の友好のために大いに努力しており、朝鮮人民に積極的な支持声援をよせていることにたいし感謝の意を表します。

とくに、ネパールジャーナリスト協会の委員長が、国の統一と社会主義建設をめざす朝鮮人民のたたかいに積極的な支持声援をよせ、わたしにたびたび祝電を送ってくださったことに感謝しています。わた

しはきょう、あなたとはじめてお会いしますが、旧友に会ったような感じがします。きょうこうして会ったのですから、もう親しい友人になったも同然です。

わたしは、わが国とわたしにたいするあなたの心あたたまるお言葉に謝意を表します。そして朝鮮人民の祖国統一偉業に積極的な支持を表明してくださったことに感謝します」

私は 1990 年 11 月 29 日にも平壌で金日成主席に質問を提起する機会をもちました。

偉大な思想であるチュチェ思想はネパールをはじめとした世界のすべての国で人気が高いです。私はネパールにチュチェ思想研究者が多く、彼らがチュチェ思想にたいする研究を深めようとしていることについて嬉しい気持ちで話します。

ネパールの平和愛好及び進歩的記者たちはチュチェ思想と先軍政治を広く普及するために、金日成主席の誕生日である 4 月 15 日、「太陽節」に際して 2010 年 4 月 15 日、カトマンズで「チュチェ思想と先軍政治研究ネパール記者協会」を創立しました。

われわれはまた、ネパール記者協会の庁舎で「チュチェ思想研究センター」を創立しました。それはネパール記者の間で「土曜日の朝食会」として広く知られています。

過去 56 年間「アルパン」週刊誌は、金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の偉大な業績をはじめ、朝鮮民主主義人民共和国にたいする各種の記事を英語とネパール語で毎週金曜日の刊行物に連続的に発行しています。

私は 2012 年 4 月 16 日、平壌で「偉大なチュチェ思想と朝鮮民主主義人民共和国」と題して、朝鮮民主主義人民共和国博士学位を授与された最初のネパール市民です。

朝鮮労働党創立 72 周年に際して、われわれはわが国でチュチェネパールという新たなウェブサイトを開設しました。われわれのチュチェ・ネパールウェブサイト www.juche-nepal.org を訪問することを願います。

私は朝鮮民主主義人民共和国をはじめ、世界の多くの国を訪問しましたが、朝鮮民主主義人民共和国を再び訪問したいです。

われわれは朝鮮労働党の金正恩総書記のご健勝とご多幸を願い、朝鮮の自主的平和統一とチュチェ偉業の新たな勝利へと引導する上で新たな成果を収めることを祈願します。

１７．金日成主席の生涯と業績を回顧する

（アフリカ地域チュチェ思想研究委員会副理事長、タンザニアのセイント・アグスティン
総合大学　教授　フランシス・F・リーモ）

社会主義朝鮮の始祖である金日成主席は国と人民のための闘争に身を投じ、朝鮮革命の主人は朝鮮人民自身であるという自主の原則にもとづいてチュチェ思想を創始しました。

社会主義朝鮮と世界の自主化偉業の指導思想であるチュチェ思想は、金日成主席が朝鮮人民と世界の進歩的人民に残した遺産の中のもっとも貴い遺産です。

人間は世界の主人であり、世界を改造する上で決定的役割を果たすという科学的解明にもとづいてチュチェ思想は歴史の主体である人民大衆が自己の運命を自力で開拓していく道を明らかにしました。

金日成主席は思想的・理論的体系を創造する単なる学術研究の過程ではなく、朝鮮革命を指導する実践闘争の過程でチュチェ思想を創始しました。

こうした自主の原則に立って金日成主席は、抗日武装闘争を勝利へと導いて民族的解放を成し遂げ、解放後には党、国家、武力建設に関する主体的路線を示し、それを立派に具現することにより、自主独立国家を建設しました。

金日成主席は革命と建設を指導する全期間、朝鮮人民の志向と要求、国の具体的な現実を正しく反映して自主的路線と政策を打ち出し、それを確実に貫徹して朝鮮民主主義人民共和国を創建し、社会主義強国に発展させました。

人間は自己の運命の主人であり、自己の運命を開拓する力も自分自身にあるというチュチェ思想を指導指針として朝鮮は政治における自主、経済における自立、国防における自衛の路線を恒常的に、確固として固守してきました。

金日成主席が建設した自立的民族経済は今日、自力更生の威力で敵対勢力の悪辣な制裁封鎖策動を粉砕する上で貴重な財宝となっています。

金日成主席は世界の植民地諸国における民族的独立を達成するための闘争と新しい国家建設を積極的に支持し、生涯の最期の時期まで世界の自主化偉業に大きな貢献をなさいました。

アフリカ大陸には新社会を建設していた国々を物心両面から支持声援してくれた金日成主席の国際主義的信義が込められています。

1981年3月、タンザニア大統領ジュリアス・カンバラゲ・ニエレレが朝鮮民主主義人民共和国を訪問しました。

金日成主席と会見した彼はタンザニアの農業状況について説明し、タンザニアの農業の発展のために共和国政府の援助を願いました。ニエレレ大統領の関心事は農業灌漑の問題、特に揚水機の問題でした。

金日成主席はニエレレ大統領に大型揚水機を送る、今後、タンザニアでは自力で揚水機を作らなければならないとし、ニエレレ大統領に揚水機工場を見学させました。

金日成主席はタンザニア大統領に工場をどのように建設し発展させたかについて詳しく説明し、共和国がタンザニアの揚水機工場の建設を援助すると話しました。主席はアフリカ諸国にとって援助も必要であるが、より重要なのは自力を信じて自力更生の道に進むことであると述べました。

金日成主席はタンザニア代表団に揚水機工場を参観させ、朝鮮が達成した自力更生の経験を教えながら、タンザニアが自力更生するよう鼓舞しました。実に、タンザニアにとって切実な援助でした。

金日成主席のもっとも貴い遺産であるチュチェ思想と主席が積み上げた業績は、世界の自主化偉業の勝利的前進とともに永遠に光を放つでしょう。

世界の進歩的人民は朝鮮が敵対勢力のあらゆる挑戦を粉砕しながら長きにわたる困難な朝鮮革命の道で輝かしい勝利を達成したことについて感嘆し称揚しています。

今日、共和国は金正恩総書記の指導の下に自国の国力を強化しています。

自強力第一主義精神を高く発揮すべきだという金正恩総書記のアピールは、共和国人民の絶対的な支持を受けており、人民を大きく励ましています。

金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会の報告で、社会主義建設で急速な前進を遂げるための新たな闘争路線と戦略的・戦術的方針を打ち出しました。

タンザニアとアフリカのチュチェ思想研究者らは大きな興奮の中で、金正恩総書記が行った歴史的な報告に接しました。

チュチェ思想研究グループは講演、読書、討論を通じて報告にたいす

る研究を深めながら党第８回大会報告の思想と真髄を把握し、それを人民の中に普及しています。

　　こうした研究活動を通じてわれわれは朝鮮労働党の自主的で人民的な路線と政策にたいする理解をより深めており、共和国の明るい未来にたいする確信をもっています。

　　金正恩総書記の指導の下に、共和国は富強・繁栄の国として世界舞台に登場するでしょう。

１８．金日成主席の生涯を回顧する

（チュチェ思想研究セルビア全国委員会副委員長兼新ユーゴスラヴィア共産党中央委員会国際書記　マリヤン・クビク）

近代に入りながら 5 千年の悠久な歴史と燦然たる文化をもった朝鮮は、朝鮮封建王朝の事大主義と外部勢力依存政策によって次第に国力が衰退され、列強の角逐戦の場となりました。結局、朝鮮は 1905 年から日本の軍事的占領下に置かれるようになりました。

亡国の悲惨な運命から朝鮮民族を救った方は金日成主席でした。

金日成主席は以民為天を自分の生涯の座右の銘としました。

金日成主席の仁徳政治は人民大衆中心の社会主義制度が朝鮮民主主義人民共和国に深く根を下ろすようにしました。

金日成主席は祖国統一 3 大原則と全民族大団結 10 大綱領、そして高麗民主連邦共和国創立方案をはじめとした、朝鮮の統一のための根本的原則と方途を提示し、生涯の最後の時期まで朝鮮の統一を実現するためにすべてをささげました。

金日成主席は自主、平和、親善を朝鮮民主主義人民共和国の対外政策の根本的理念と規定し、自らのエネルギッシュな対外活動でもって共和国の国際的権威を高めました。主席は国家元首として、世界政治の元老として半世紀余りも活動しながら社会主義運動と非同盟運動の強化発展に不滅の貢献をなさいました。

金日成主席は 2 回にわたってユーゴスラヴィアを訪問しました。最初の訪問は 1975 年 6 月にありました。

この驚異的な出来事はセルビア・朝鮮民主主義人民共和国関係の年代記に永遠に残っているでしょう。金日成主席はチトー大統領と対面して世界の安全と非同盟運動に関する主要問題を討議、決定することにより、朝鮮民主主義人民共和国とユーゴスラヴィアの両国の関係をさらに強固にしました。

チトー大統領は、朝鮮民族は一つの単一民族であるが、帝国主義がその民族を分裂させた、われわれは国の平和的で民主的な統一をめざす朝鮮人民の闘争を歓迎し、彼らの提案に全的な支持を送ると述べました。

金日成主席は共和国政府が国の統一問題を外部勢力の干渉を受けるこ

となく自主的に、自力で解決していく路線を一貫して堅持していると述べました。

金日成主席の訪問は伝統的で親善的な雰囲気の中で行なわれました。

両首脳の対面は双務関係の成果的な発展のための強固な土台を築きました。

今日、朝鮮人民が収めた輝かしい勝利と成果は、金日成主席と金正日総書記が残した遺産の所産です。

１９．金日成主席が積み上げた業績

（ポーランドのワルシャワ・チュチェ思想研究グループ　メンバー　マルタ・グレルラク）

4 月 15 日を迎えるにあたり、朝鮮人民の友人であるポーランド人民は、朝鮮民主主義人民共和国の永遠な主席の偉大な生涯を感慨深く回顧しています。

金日成主席が誕生した当時、朝鮮は日本の統治下にありました。

朝鮮人民は国を奪われ、極度の屈辱と虐待を受けました。

金日成主席は、若年のときから民族解放のための闘争の道に身を投じ、多年間の困難な武装闘争を展開して強敵を打ち破り、抗日戦争を勝利へと導きました。朝鮮人民は 1945 年に日本帝国主義者を打ち破り、民族解放偉業を成し遂げました。

日本帝国主義の植民地統治から解放されてまもなく、技術的にも、数的にも優勢な帝国主義連合勢力が朝鮮民主主義人民共和国を侵攻しました。

世界の多くの人々がこの侵略に反対してさまざまな形式で抗議しました。例えば、ポーランド人民は「朝鮮から手をひけ！」というスローガンを掲げて朝鮮人民との連帯集会を組織し、有名なスペインの画家パブロ・ピカソは「朝鮮における大虐殺」と題して抗議の絵画を描いて帝国主義者が朝鮮人民にたいしておこなった大虐殺蛮行を非難しました。世界の進歩的人民は朝鮮民主主義人民共和国の運命について心配しました。しかし、世界を驚嘆させる出来事が起こりました。金日成主席が戦争を再び勝利へと導いたのです。金日成主席のすぐれた戦略戦術によって朝鮮民主主義人民共和国の軍隊と人民は侵略者を追い出しました。

われわれは朝鮮の解放者であり、伝説的英雄である金日成主席を高くたたえています。特に、ポーランドの歴史も民族解放のための長きにわたる闘争と結びついていて、われわれは朝鮮の友人たちをなお親しく思っています。

金日成主席は朝鮮民主主義人民共和国の創建以来、首相として、その後は主席として朝鮮人民の福祉と幸福のために活動しました。人民の要求、利益、願いは金日成主席のすべての政策と活動の基準でした。主席は以民為天という言葉をよく使い、これをすべての活動に具現しました。

金日成主席は常に大衆の中に入り、全国津々浦々を訪ねて人民と膝を交えて活動について討論もし、彼らの生活を見守りました。

幹部らが休むことを勧めても金日成主席は人民を見守り、彼らの幸せな姿を見るのを休息と見なし、一時も休まずに活動しました。人民とともにいる時は常に明るい微笑をたたえました。その微笑こそ人民にたいする熱い愛の表しでした。

金日成主席は南朝鮮の同胞も愛国の情をもって待遇しました。朝鮮の平和的統一は金日成主席の最優先の課題でした。主席は統一偉業の実現のために労苦を重ね、心血を注ぎました。

われわれは、わが民族が朝鮮人民との友好関係を結んだ長い歴史を誇らしく語ることができます。わが国が世界で3番目に朝鮮民主主義人民共和国と外交関係を樹立したことを触れる必要があると思います。外交関係が樹立された時から両国と両民族は互いに多くの契機に相互友好の情を表しました。

1950年代と1980年代に朝鮮人民の偉大な金日成主席がわが国を訪問しました。また、わが国の指導者ボイツェフ・ヤルゼルスキ(Wojciech Jaruzelski)が実に暖かい親善の情で歓迎を受けながら朝鮮民主主義人民共和国を訪問しました。

今日もわれわれは70余年前から始まった両国間の関係が今後も、両国人民の相互の利益に即して有意義に発展することを願います。

われわれは人民大衆中心の国家の偉大な創健者である金日成主席の思想と業績を継承していく敬愛する金正恩総書記がおられ、総書記の周りに固く団結した朝鮮人民があって朝鮮民主主義人民共和国の前途には偉大な発展と勝利が約束されていると確信しています。

２０．金日成主席とチュチェ思想

（チュチェ思想研究ルーマニア全国委員会委員長兼民族社会主義党『ルーマニア』最高理事会委員長　バシレ・オルレアヌ）

金日成主席の生涯と活動を１、２ページの短い文でみな語ることはできません。

金日成主席の回顧録は全 8 巻にわたる 5,000 ページであり、主席が生前に発表した著作は 10,000 余件として 100 巻あまりの本に収められています。

金日成主席は 1912 年 4 月 15 日、万景台で誕生しました。

1925 年、金日成主席は国の独立を達成する前には再び帰るまいという固い決心を抱いて祖国を後にしました。

翌年の 10 月、金日成主席は朝鮮の新しい世代の革命家たちで打倒帝国主義同盟を結成しました。日本帝国主義を打ち破り、朝鮮の解放と独立を成し遂げることを当面の課題として示した打倒帝国主義同盟の結成は、朝鮮の民族的解放をめざす闘争において一つの新たな出発点となりました。

1905 年から 1945 年まで朝鮮にたいする軍事的占領の時期に日本帝国主義は百万名の朝鮮人を殺戮し、840 万名の朝鮮の青壮年を徴用して非人間的な条件での労働を強要し、20 万名の朝鮮の若い女性を強制連行して日本軍の性奴隷にしました。日本帝国主義は朝鮮で文化財を強奪し、朝鮮人が朝鮮の言葉と文字を使えないようにし、はては朝鮮人の名前を日本式に変えることを強要しました。

1932 年 4 月 25 日、金日成主席は朝鮮人民革命軍を創建しました。朝鮮人民革命軍が創建されたことにより、朝鮮人民は自らの武装力に依拠して民族解放のための闘争を本格的に展開するようになりました。

金日成主席は全民族を解放聖戦に呼び起こし、彼らを一つの力量として結束するために 1936 年 5 月、祖国光復会を結成しました。

金日成主席は 20 星霜の抗日武装闘争を勝利へと指導しました。主席は敵の数的、軍事的及び技術的優勢を政治的・思想的威力で打倒すべきであるという思想を打ち出し、朝鮮民族を抗日大戦へ呼び起こしました。

偉大な闘士である金日成主席の賢明かつ洗練された指揮の下、朝鮮人民革命軍はすべての戦闘で敵に甚大な打撃を与えました。

植民地諸国における民族解放闘争の基本形態の一つである遊撃戦は、特

別な歴史的意義を有します。遊撃戦は国家的後方や正規軍の支援がなくても主導権をとらえ、少数の力量で敵を撃退できる変化に富んだ戦略でした。大部隊作戦と小部隊作戦を正しく結びつけるという方針と解放地区形態の遊撃区と半遊撃区を創設するという方針は、積極的な武装闘争を可能にする特異な戦略的・戦術的方法でありました。

朝鮮人民は金日成主席を民族の太陽、解放の恩人として仰ぎ、抗日聖戦に奮い立ちました。

実に、金日成主席は全滅直前の運命にさらされていた一民族を救い出した朝鮮民族の慈父です。傑出した戦略家の指導の下に展開された武装闘争によって朝鮮民族は1945年8月15日、もっとも野蛮的な植民地搾取のくびき、日本帝国主義ファシズムのくびきから脱するようになりました。

金日成主席の指導の下に立ち上がった朝鮮人民革命軍と人民の闘争と偉勲は歴史に永遠に記録され、進歩的力量と朝鮮人民の心の中に明るい光として残っているでしょう。

1930 年 6 月 30 日から 7 月 2 日まで行われた卡倫会議で金日成主席は「朝鮮革命の進路」という歴史的な演説をおこないました。

演説で金日成主席は今日、世界的に自主時代の指導思想として公認されているチュチェ思想を創始し、抗日武装闘争路線を示しました。民族解放の偉業は他人によってではなく、そして平和的な方法ではなく自力に依拠して、かつ武装闘争を通してのみ成し遂げることができると示したことにより、この政治路線は朝鮮の革命家たちにとって思想的・精神的旗印となりました。

金日成主席は朝鮮人民の運命を救うために、朝鮮の自主権を固守するためにチュチェ思想を発展させました。

チュチェ思想は思想における主体、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則を示しています。

チュチェ思想の創始者である金日成主席が歴史上はじめて人間の本質的特性、世界における人間の地位と役割について解明したことにより、社会・歴史にたいする見解と観点では根本的な変化が起こりました。

1994 年以後、金正日総書記は党と国家にたいする指導を継承し、チュチェ思想を発展豊富化しました。これは自主権守護の強力な保証となります。朝鮮民主主義人民共和国は真の自主権をもっている世界的に指折りの国です。

終わりに、わたしは去る世紀の朝鮮民族の傑出した英雄である金日成主席

の生涯と活動について短いペーパー上でみんな語るのは無理だということをもう一度強調しながら次のように話したいのです。

帝国主義が支配する現世で、国の自主権を実現し強固にするためにたたかう全人民の闘争と努力についてよく知り、二度と資本主義の奴隷にならないために闘わなければなりません。

21.　金日成主席とチュチェ思想

（ブルガリア金日成・金正日主義研究グループの書記長　カメン・タスコフ）

金日成主席がチュチェ思想を創始したのは歴史に金文字で刻まれています。

チュチェ思想は、人間は自主性、創造性、意識性をもつ社会的存在であると明らかにし、人間を中心にすえた革命的世界観です。

チュチェ思想は人間、人民大衆の自主性とその実現に関する革命的な学説です。

チュチェ思想は朝鮮労働党の思想的及び組織的活動の基礎であり、革命と社会主義建設を遂行するための指導指針であります。

金日成主席は朝鮮人民に正しい道を示し、革命を継続させる正しい世界観の確立に第一義的な意義を付与し、彼らが自力更生の力ですべての難関を克服するよう鼓舞しました。

今日、チュチェ思想はすべての思考と行動の指針となっています。

金日成主席のチュチェ思想の創始における不滅の功績は、自主性に関する解釈です。チュチェ思想は自主性にたいするより高まる要求、人間の発展を脅かすすべての自然的及び社会的束縛からの解放にたいする要求についてもっとも正しく解明しています。

マルクスとエンゲルス、レーニンの古典は、経済が人類の歴史において決定的な役割を果すと述べています。こうした見解は人民大衆にたいする思想教育を疎かにし、経済建設にのみ偏るようにします。人民大衆の創造性を推し進める要因である思想教育をおろそかにすれば、経済建設そのものも沈滞させ、しまいには社会主義を破壊する諸条件を誘発させます。もし、社会発展で思想の決定的役割を無視すれば、それは人々の思想的変質を生み、その次は党と国家の変質を招き、しまいには社会主義制度そのものの破壊を招くようになるでしょう。

こうした現象を克服するためにチュチェ思想の創始者である金日成主席は終始一貫すべての分野で思想革命を優先させる原則を堅持し、思想活動、政治活動をすべての活動に優先させました。人類発展の推進力は金ではなく、偉大な思想です。

チュチェ思想は歴史発展において決定的な役割を果すのは客観的な条

件ではなく人間であり、自然の運動には主体がないが、社会的運動には主体があると示しました。

チュチェ思想は真の生活が新しくて進歩的なことを志向する人民の闘争を通じて創造されると解明しました。そうした闘争はもっとも崇高で、美しいです。まさにそうした闘争過程に自主性が実現されます。

自己の運命の主人として生きることはもっとも立派な生活方式です。

これに反するのが屈従と従属、援助と保護にたいする哀願です。屈従と従属、哀願は、奴隷や不遇の存在の特徴です。奴隷として生き、他人からもらう金で生きるのは人間の本性に反します。

金日成主席が創始したチュチェ思想は、人民にたいするいかなる形態の支配も排撃します。チュチェ思想はまた、人民大衆を無視し、その上に君臨する官僚主義を排撃します。

それゆえ、金日成主席は一生涯、党と国家のすべての幹部が人民の中に入って彼らの幸福な生活を保障するために努力するよう強調していました。

金日成主席と金正日総書記の以民為天の思想は、チュチェ思想の絶対的で変わらない原理を反映しています。

以民為天の思想は革命の主体である人民大衆の決定的役割と彼らにたいする愛と信頼にたいするもっとも科学的な見解にもとづいています。

人民大衆が革命と建設の主人であり、革命と建設の推進力であるという革命理論にもとづいて金日成主席と金正日総書記は常に人民の中に入って人民大衆の力と創造的知恵をくみあげ、彼らの要求と利益に合わせてすべての問題を解決しました。

以民為天の思想とそれを具現した指導があって、朝鮮民主主義人民共和国は真の人民の国、人民大衆中心の社会主義国家としての威力を誇示することができました。

金日成主席がチュチェ思想の創始で積み上げたいま一つの不滅の功績は思想、技術、文化の3大革命の理論を提示したことです。思想、技術、文化の3大革命は、思想、技術、文化をはじめとした社会生活のすべての領域に残っている古くて腐敗したすべてのものを一掃し、新たな社会に固有な、思想と技術、文化を創造するための闘争形態、闘争方途です。朝鮮労働党の経験が示しているように、3大革命を成功裏に遂行するとき、社会を古い思想、技術、文化の束縛から解放することができます。

3 大革命を遂行する上で朝鮮労働党は思想革命を確固と優先させながら技術革命と文化革命を同時に推し進める原則を堅持しました。これは人間の活動で思想が果す役割と革命闘争における思想活動の重要性にたいする科学的な分析にもとづいたもっとも明確な路線です。

金日成主席がチュチェ思想を創始した功績からして、世界は主席を世界的な領袖として尊敬しています。

金日成主席は自らの闘争によって朝鮮人民の民族的領袖になっただけでなく、すべての進歩的人民の領袖になりました。金日成主席は朝鮮人民ばかりでなく、全世界の人民の心の中に永遠に生きています。

金日成主席が積み上げた業績は不滅であり、それによって朝鮮は永久不滅でしょう。

２２．偉大な領袖の指導の下に

(スペイン・バスク地方チュチェ思想研究グループ責任者
サン　セバスティアン、トゥレベル・アリツ・ウビルヨス・ヒル)

若年のときから革命活動をはじめた金日成主席は、かつて四分五裂になっていた、信教の異なる宗教家や進歩的な活動家を、国を取りもどすための共同の目的の下に結束させました。主席は民族解放だけでなく、階級解放をなし遂げるために新しい型の初の組織を結成しました。剣には剣で、銃には銃で立ち向かわなければならないことを悟った主席は、日本帝国主義が 1945 年に降伏する時まで全民抗争と武装闘争を導きました。

主席は解放後、朝鮮のすべての労働者と農民、兵士、インテリ、青年たちと勤労者の意思を合わせて 1948 年に朝鮮民主主義人民共和国を創建しました。

新しい朝鮮は創建直後、アメリカ帝国主義者とその手先の侵略に立ち向かって闘いました。金日成主席は 3 年間の苛烈な戦争を勝利へと導きました。

戦後の復興建設が終わると朝鮮の労働者階級は自力更生の革命精神で伝説の中のチョンリマのような勢いで力強く前進し、短期間の内に朝鮮民主主義人民共和国を社会主義工業国家に変えました。

国際共産主義運動が分裂されたとき、朝鮮労働党は事大主義と教条主義、現代修正主義、セクト主義と外部勢力の干渉に反対して自主性を堅持し、思想、技術、文化の 3 大革命をおし進めながら全社会をチュチェ思想化することを総体的課題として提起しました。

金日成主席は社会主義、国と民族の最高利益を守り、チュチェの革命偉業を完遂するために、革命指導の継承問題を独創的に輝かしく解決しました。

たとえ、金日成主席は 1994 年、われわれのそばを離れましたが、主席は朝鮮人民とわれわれ世界の進歩的人民の心の中に永遠に生きています。世界のほとんどの社会主義諸国が資本主義に復帰したとき、アメリカをはじめとした帝国主義者は「歴史の終焉」を喧伝、チュチェの社会主義のとりでである朝鮮民主主義人民共和国を窒息させようと狂奔しました。こうした状況で金正日総書記は軍隊を革命の主力軍におし立て、苦難の行軍、強行軍を勝

利的に導いて社会主義強国建設の突破口を開きました。

偉大な金正日総書記は革命指導の継承問題を立派に解決しました。たとえ、総書記は過度の精神的・肉体的負担による急病でわれわれのそばを離れましたが、朝鮮人民と世界の進歩的人民は金正日総書記をふたたびわれわれの永遠な領袖としていただきました。

金日成主席と金正日総書記の偉業に忠実な朝鮮労働党の金正恩総書記は今、核武力完成の歴史的大業を成し遂げ、社会主義建設を指導しています。

今日、朝鮮の労働者階級と農民、軍人、インテリ、青年と勤労者は歴史的な朝鮮労働党第８回大会で示された決定を心から支持して、世界のすべての勤労者にモデルとなる偉大な社会主義的文明を建設しつつあります。

２３．太陽節と現時期

（チュチェ思想国際研究所理事、ペルー・朝鮮親善協会委員会委員長、　先軍政治研究委員会委員長　博士　ロベルト・カルボネリ・ペソ）

4 月 15 日を迎えながら、われわれは金日成主席に崇高な敬意を表します。

主席の基本遺産であるチュチェ思想は、金正日総書記によって深化発展され、経済生活の各分野や保健医療政策、教育政策、科学と文化発展に具現されました。

金日成主席はチュチェ思想の原理を革命活動に具現して米・日帝国主義とその連合勢力を打ち破り、朝鮮を強国に変えるための闘争を賢明に指導しました。

領袖、党、人民大衆の団結は、社会主義社会を発展させ、朝鮮革命を守る保証となっています。

時間が経つにつれて、朝鮮民主主義人民共和国が政治、経済、軍事的に高い水準に上がったことを明白に知ることができます。

朝鮮革命の前進途上に横たわる大きな障害にもめげずに、金正恩総書記が賢明に導く朝鮮民主主義人民共和国は、金日成・金正日主義によって大きな勝利を収め、世界的な保健危機と厳しい自然災害が連続的に朝鮮を襲っているなかでも、自己の闘争綱領を履行するための頑強な闘争をくり広げてきました。

われわれは金正恩総書記が 2021 年 1 月 5 日に開会した朝鮮労働党第 8 回大会に熱烈な祝賀を送ります。ならびに、朝鮮労働党と国家、朝鮮人民の永遠な領袖である金日成主席と金正日総書記に崇高な敬意を表します。

人民に奉仕するという方向を示した大会は、以民為天が社会主義国家建設と活動で一貫して堅持する朝鮮労働党の立場であり、全党が金日成・金正日主義と一心団結、自力更生の旗の下に人民のために奉仕しなければならないことを示唆してくれます。

今回の党大会の基本特徴は、各分野と単位の現状を党的、革命的、人民的な観点で深く分析総括したことです。自力によって朝鮮式社会主義建設で新たな勝利を成し遂げるための正確な闘争方向と課題を具体的に定めるために、総括を総体的に、徹底的に行いました。こういうことからして、朝鮮労働党第８回大会は世界の前に、活動する大会、闘争する大会、前進する大

会の姿を見せました。

朝鮮労働党の指導は、朝鮮人民と世界人民の平和発展と繁栄の道を保証します。

朝鮮民主主義人民共和国の現実を世界に輝かせた金日成主席にもっとも崇高な敬意を表します。

金日成主席に永遠な栄光を捧げます！

２４．朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設の新たな時期と金正恩時代の活動方式

（モスクワ金日成・金正日主義研究会責任者ミハイル・ウィクリン）

朝鮮労働党第8回大会が2021年1月5日から12日まで平壌で行われました。朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設を新たな段階へ引き上げることを見通した大会の決定によって、経済と社会分野で変革が起こるようになるでしょう。

わたしはソ連や他の社会主義諸国の党や政府の指導者が経済発展計画を実現できなかったことを公に認めたことを一度も見たことがありません。

N・S・フルシチョフは産業経営の改革における失敗を最後まで認めませんでした。

誤りを認めることには強い政治的意志が求められます。現在、朝鮮民主主義人民共和国では反社会主義的現象に反対する強力な闘争、より積極的な党内での批判と活動の欠点にたいする大衆的討議が行われています。これは党活動を改善するための必須の措置です。なお、活動の欠点に対するこうした態度は、すべての社会主義者と共産主義者、すべての進歩的諸国にとって当然なこととなるべきです。

党内部の批判を強化し、党内部の規律を強化することは結びついています。

金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会の報告で党組織と活動家は、いつどこにあっても党中央の権威を絶対化し擁護しなければならず、それに反するささいな要素に対しても黙過せず、妥協のない闘争をくり広げなければならないと述べました。

党内での批判、大衆にたいする統制と上部からの統制は、党を強化し、無責任的な要素を一掃するのに志向しなければなりません。そうなってこそ党は権柄と官僚主義、不正腐敗行為のような危険な反社会主義的現象に反対して闘うことができるでしょう。

朝鮮労働党の新しい規約は、金日成主席が指導する間に慣例となっていた大会の定期的召集を復元しました。また、党細胞書記及び初級党書記会議は5年に1回ずつ招集されるようになるでしょう。こうした措置は党と大衆の間の連携を強化し、朝鮮労働党の一致性と団結を強化するようになるでしょう。

総書記は朝鮮労働党第８回大会で行った報告で、発展する現実の要求に即して不合理な党活動システムと方法を改善しなければならないと述べました。

党大会では経済部門におけるもっとも重要な決定が採択されました。

新たな５ヵ年計画の目標は、経済活動体系を復旧整備し、産業部門間の連携を強め、自立的土台を固めるための活動を推し進めて、経済をいかなる外部の影響にも左右されないものとして建設することです。

また、金正恩総書記は自力更生が依然として基本種子、テーマとなり、５ヵ年計画期間、遂行すべき課題の一つが輸入依存度を下げることであると述べました。

金正恩総書記は報告で、経済活動にたいする国家の統一的指導を実現するための綱紀を確立し、国家的な一元化統計システムを強化し、国家経済の命脈をもり立てるための活動を正しく展開し、工場、企業の経営活動条件を改善しなければならないと述べました。

金正恩総書記は科学技術の発展が労働生産力の拡大をもたらすことにより、科学技術の発展を経済政策でもっとも重要な要素の一つと見なしています。

金正恩総書記は大会で行った報告で、社会主義諸国との関係を発展させ、革命的党と進歩的党との協力を強化し、世界的範囲で反帝闘争を展開する課題を示しました。

朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設の経験は、金正恩総書記が党第８回大会で闡明した思想の正当性にたいする最上の確証となります。

わたしは朝鮮労働党第９回大会がこれを実証するだろうと確信します。

２５．金日成・金正日主義は人民大衆第一主義

（朝鮮社会科学者協会第１副委員長シム・スンゴン）

今日、朝鮮人民は金日成・金正日主義の旗を高く掲げて社会主義建設の勝利的前進を目指す進軍を力強くおし進めています。

一生涯、人民の中におられながら人民のためにすべてをささげた金日成主席と金正日総書記が創始し深化発展させてきた金日成・金正日主義は、徹頭徹尾人民大衆第一主義で一貫しています。

金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の革命思想にたいする全面的な分析にもとづいて金日成・金正日主義は本質において人民大衆第一主義であるという古典的な定義づけをしました。

金正恩総書記は次のように述べています。

「偉大な金日成・金正日主義は本質的に人民大衆第一主義であり、わが党の存在方式は人民に奉仕することです」

金日成・金正日主義の全般的体系と内容は、人民大衆を天のごとくおし立て、人民大衆に徹底して依拠し、人民大衆のために真に奉仕する人民大衆中心の崇高な理念で一貫されています。

金日成・金正日主義は人民大衆を世界でもっとも貴重かつ強力な存在としておし立てる革命思想であります。

金日成・金正日主義は人民大衆が勤労する人々を基本にして、自主的要求と創造的活動の共通性によって結合された社会的集団であることを独創的に解明しています。

金日成・金正日主義によって人民大衆をあらゆるものの主人であり、すべてを決定する基本要因、世界でもっとも貴重かつ強力な存在、天のような存在と見なし対応すべきであるという偉大な思想が示されるようになりました。

総書記が一番敬い崇拝する存在は人民であります。総書記の心の中に人民は金日成主席と金正日総書記の尊い映像で刻まれています。

金日成主席と金正日総書記をいただくように人民を奉じるべきであるということを不変の信条とした金正恩総書記によって金日成・金正日主義の本質が人民大衆第一主義に定式化され、「すべてを人民のために、すべてを人民大

衆に依拠して！」というスローガンが党と国家活動の根本原則、根本方式として確立されました。

今日、人民の尊厳と利益を最優先、絶対視する朝鮮労働党の党風、わが共和国の国風は、金正恩総書記の人民的政治によってさらに確固たるものとなっています。

金日成・金正日主義は人民大衆に徹底的に依拠してすべての問題を解決することを最高の原則とする革命思想であります。

人民大衆はあらゆるものの教師であり、大衆の力は無尽蔵であります。もっとも英知に富み、博学な教師は人民であり、人民大衆の中に正義があり、力があります。人民を信頼し人民に依拠すれば百戦百勝するが、人民に見捨てられれば百戦百敗するということは、早くから主席が示した貴い哲理であります。

以民為天の崇高な理念を具現した金日成・金正日主義は、すべての問題を革命と建設の主人であり、決定的な要因である人民大衆に依拠して解決することを最善の方略、唯一無二の妙術としています。

特に、課題が膨大であればあるほど、情勢が厳しくなればなるほど、さらに人民に依拠し、人民の力を発揮させていくことは金日成・金正日主義で一貫された指導原則、革命指導方式であります。

金正恩総書記が信じて頼るのは、まさに党の信頼に忠誠をもって応え、党が望むことなら無条件的に実行する人民であります。

金正恩総書記は情勢の要求と党の意図、革命課題を党員と人民に詳しく知らせ、力強い闘争へと奮起させる政治活動を適時に、活発に行うようにしています。

革命発展の原動力を人民大衆の心の中から求め、大衆の心に火を点じる人民大衆第一主義の政治によって、今のような不利で困難な環境の中でもわれわれの第一の国力である一心団結が強化され、世界が知らないチュチェ兵器が多発的に、連発的に生まれる奇跡が相次いで創造されているのであります。

金日成・金正日主義はすべてを徹頭徹尾、人民大衆のために奉仕させることを党と国家活動の総体的目標とする革命思想であります。

金日成・金正日主義は、革命的指導が人民大衆の意思と要求を正しく反映して科学的な路線と政策を示し、確実に貫徹することにより、彼らの要求を実現していく、人民大衆にたいする徹底した奉仕となることを明らかにしています。金日成・金正日主義は労働者階級の党と社会主義政権の本質は人民大衆の奉仕者だというところにあると示しています。

人民大衆にたいする滅私奉仕、これが金日成・金正日主義が明らかにしたチュチェの人民観、人民哲学の根本的中核であります。

金正恩総書記は、路線と政策を樹立しそれを施行するにあたって、人民の切実な生活上の要求と意思を尊重し、全ての生産と建設を人民の便宜を図ることを第一位に置き、人民の反映と評価を基準にして行う原則を一貫して固守しています。

総書記は全ての党組織と国家機関が人民のために献身する気風を高く発揮するよう特別な力を入れています。

総書記は特に、人民軍を軍事的脅威だけでなく、突発的な非軍事的脅威からも祖国と人民を鉄壁のように守る国家防衛の主体、真の人民の軍隊としての使命と本分を全うするようにしています。

朝鮮労働党の人民大衆第一主義の政治が実施されるこの地では敵の蠢動も、自然の横暴な挑戦も人民を絶対に驚かしたり、侵したりすることができないというのが今日、全国の被害を癒した地域で響き渡る労働党万歳の声、社会主義万歳の声で実証されています。

人民の要求と利益を実現することを最大の重大事と見なし、人民のためには千金、万金の財宝も、しいては生命をも惜しみなくささげるこの人民への滅私奉仕こそは、偉大な金正恩時代を象徴し代表する時代語であります。

信頼と献身、報恩と信義に満ちた朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治によって、朝鮮革命の政治・思想陣地が強固になり、いかなる障害と挑戦も切り抜けられる不可抗力的な力が蓄積され、人民大衆中心の朝鮮式社会主義の優越性と生命力ははっきりと示されています。

世界には多くの思想潮流と主義主張があるが、いまだに人民大衆第一主義を自己の根本理念とする思想はありません。

金日成・金正日主義は昨日と今日だけでなく、明日も永遠な生命力と牽引力を発揮し、全世界に燦然たる光を放つでしょう。

２６．金日成・金正日主義は朝鮮労働党の永遠な指導思想である

(アジア地域チュチェ思想研究所理事、モンゴル・チュチェ思想・先軍思想研究協会委員長
O・マシュバット)

今日、朝鮮労働党は金日成・金正日主義を党の永遠な指導思想として堅持し、チュチェの社会主義偉業を勝利へと導いています。

偉大な金日成・金正日主義はチュチェの思想、理論、方法の全一的な体系であり、朝鮮労働党の指導思想です。

金日成・金正日主義は党を強化し、その指導的役割を高める上で提起される問題だけでなく、人民大衆の自主偉業と社会主義偉業を勝利へと導く上で提起されるすべての問題に理論的・実践的解答を与えています。

朝鮮労働党は創立以来 70 余年間、チュチェ偉業を完遂するための歴史的闘争で金日成主席と金正日総書記の革命思想を唯一の指導思想とし、金日成・金正日主義の要求通りに党建設と党活動をおこなってきました。

主席は朝鮮が日本によって軍事的に占領されていた時期である 1920 年代の中葉に革命活動を始めました。主席は 20 星霜、苛烈な抗日革命闘争を導き、その時期に党創立のための組織的・思想的基礎を築きました。それを踏まえて主席は 1945 年 8 月 15 日、朝鮮の解放後、すぐ党創立の偉業を完遂しました。

朝鮮労働党は主席が創始したチュチェ思想によって指導されてきました。人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するという原理にもとづいてチュチェ思想は人民大衆を革命と建設の主人と見なす人間中心の革命原理を明らかにしています。

主席はチュチェ思想を指導指針にして党を創立しただけでなく、それにもとづいて党の唯一的指導体系を確立し、党隊伍の組織的・思想的統一団結を強化し、党を人民大衆の中に深く根を下ろした大衆的党として発展させました。

主席の特出した指導の下に、朝鮮労働党は筆舌に尽くしがたい複雑で困難な環境の中でも朝鮮革命を勝利へと導きました。洗練され老練な指導によ

って党は去る75年間、国の尊厳と自主権を固守して政治における自主、経済における自立、国防における自衛を実現した人民大衆中心の社会主義を建設しました。

朝鮮労働党は偉大な金日成・金正日主義を指導指針にして、領袖の思想体系が確立した革命的党、人民大衆と渾然一体をなし、彼らに奉仕する母なる党、鋼鉄のような規律と戦闘力をもつ不敗の党として強化発展してきました。

朝鮮労働党は終始一貫、チュチェ思想を党建設と軍事、経済及び文化をはじめとしたすべての分野に具現しました。

チュチェ思想の旗を掲げて朝鮮労働党は人民大衆の自主偉業と社会主義偉業を導く強力な前衛部隊としての権威を誇示しました。

統一団結は党の生命であり、力の源泉です。党の唯一思想体系を確立することを党建設の基本路線として堅持した金正日総書記は、一つの思想にもとづいて全党を思想・意志的に、道徳・信義的に固く結束させました。

チュチェ思想で武装し、金正日総書記の指導の下に団結したすべての党活動家と党員が、総書記の思想と指導を心から支持していく革命的気風が全党に確立されました。

その結果、朝鮮労働党は歴史のいかなる渦巻きの中でも微動だにしない鋼鉄の隊伍、朝鮮革命の前衛部隊になりました。

朝鮮労働党は人民の物質文化生活水準を絶えず高めることを自己の活動の最高の原則とします。朝鮮労働党は人民が衣・食・住と医療サービス、子息の教育にたいする何の心配もなく幸せな生活を享受することを政策の一つとして提起しています。これは金正日総書記の人民観を反映しています。

総書記は、愛国主義は人民にたいする熱烈な愛として発揮され、ここで革命が始まる、思考と活動の中心に常に人民を据え、人民の尊厳と幸福のために一生をささげるのは私の意志であり、理念であると述べました。

人民が望むなら空の星もとり、石の上にも花を咲かせなければならないというのが総書記の意図です。

去る世紀の末、人々が困苦欠乏に耐え、国が厳しい困難を体験しているとき、金正日総書記は人民大衆中心の朝鮮式社会主義を固守するために国防力の強化を最優先視することにより、社会主義強国建設の新しい時代を開きました。

今日、朝鮮労働党は金正恩総書記をいただくことにより、社会主義の旗を高く掲げて人民の要求と利益を実現するために戦う党、人民の運命をあくまで責任をもって見守り、人民に滅私奉仕する党としての革命的本性と人民的性格を変わることなく固守し、それを新たな高い段階でより積極的に発揮させています。

金日成主席と金正日総書記の思想を金日成・金正日主義に定義づけて、人民大衆第一主義の本質について独創的に解明した金正恩総書記は、人民がいるところならどこへも訪ねていきます。工場と農村、漁村、科学研究機関、建設現場、学校、病院だけでなく愛育院も訪ねています。総書記の現地指導は限りなく続いています。

人民が望むなら、空の星もとって来る、人民のためのことでは満足などあり得ない、という滅私奉仕の精神を体現した金正恩総書記の指導の下で、朝鮮民主主義人民共和国は急ピッチで変貌しつつあります。自力更生の威力によって人民経済のすべての部門で生産が成長し、人民の生活水準が向上しつつあります。

国の各地で軽工業基地と商業及びサービス機関が改築、近代化され、人民の文化情操生活のための立派な施設が建設されています。

朝鮮労働党は世界でもっとも権威あり、戦闘的で革命的な党として認められています。

金日成・金正日主義によって党建設と党活動における諸問題だけでなく、社会主義偉業の完遂で提起される困難で複雑な全ての問題が立派に解決されました。

時代の熟成した要請と発展する革命の要求を反映しておこなわれた2012 年 4 月の朝鮮労働党第 4 回代表者会は、朝鮮労働党が金日成主席と金正日総書記の党であり、金日成・金正日主義は朝鮮労働党の永遠な指導指針であることを対内外に厳かに闡明しました。

今後も朝鮮労働党は金日成・金正日主義を党の永遠な指導思想にして党建設と党活動を行うことにより、不敗の革命的党、金日成主席と金正日総書記の党としての革命的性格を変わることなく固守し、社会主義強国建設偉業を勝利へと前進させていくことでしょう。

２７．金日成・金正日主義は勝利の旗印

（スウェーデン・チュチェ思想研究グループ責任者　オスカ・メレビ）

チュチェ思想は人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するということを示しています。

金日成主席は革命闘争で人民大衆の力に依拠することにより、強敵を打ち破ることができるということを示しました。

人民を自己の運命の創造者、革命の主人と見る見解は金日成・金正日主義の基礎の一つとなります。

朝鮮労働党は人民を革命の主人として信頼し、人民は党と領袖を信頼します。党は社会建設で大衆の意思を自己の活動に反映し実現していきました。革命と建設の主人として人民は党と領袖と一心団結を成し遂げ、一人のように行動し思考します。

米・日帝国主義を打ち負かしたのは、なんぴとも朝鮮人民を屈服させることができないということを実証しました。それはまた、国の自主性と主権は軍事力に依拠して守るべきだということを実証しました。

こうした洞察にもとづいて金正日総書記は先軍政治を実施しました。

先軍政治は軍事を優先させて軍事的抑止力を保有することを、社会主義建設をめざす闘争の一部分として提起しました。これによって朝鮮半島に平和で安定した情勢がつくられ、社会主義建設で大きな前進を遂げることができました。帝国主義者が 1990 年代に朝鮮民主主義人民共和国にたいする敵対行為を甚だしく行ったとき、まさにこの軍事力が自主性と自主権を守る上で決定的な役割を果たしました。

先軍政治は朝鮮民主主義人民共和国を難攻不落の要塞に変えました。

したがって、先軍政治は自己の目的を達成し、その成果にもとづいて現代的な情報科学と技術にもとづいた経済発展の新時代を開きました。

金日成主席と金正日総書記の指導があって、朝鮮民主主義人民共和国は、かもし出された情勢を正確に判断した上で、すべての難関を克服して偉大な勝利を達成しました。

金日成・金正日主義は、人民大衆を中心に据えて自主性を守る唯一無二の理論として発展してきました。人民大衆の自主性が擁護され、彼らの創造力が最大に発揮されてこそ、人民大衆が革命の主人として自己の未

来を開拓する人民大衆中心の社会主義社会が建設されるのです。それゆえ金日成・金正日主義は、帝国主義に反対してたたかう今日の自主性の時代に生きる諸国の人民にとって旗印となります。

２８．社会主義朝鮮を不敗の国家として建設する金日成・金正日主義

（ 白頭山偉人称賛国際祭典スイス組織委員会委員長、スイス・チュチェ思想研究グループ委員長マルティン・レッチャー）

世界の多くの国が大騒ぎと「色づき革命」、内戦と無秩序の中で苦痛をなめ、はては世界地図で完全に姿を消しています。

そして、資本主義世界が直面した世界的な新型コロナウイルス伝染病の実態はさらに悪化しています。

しかし、世界には内戦や矛盾、無秩序もなく、それはほかならぬ社会主義朝鮮、チュチェの国である朝鮮民主主義人民共和国です。

金日成主席が創始した偉大なチュチェ思想によって朝鮮民主主義人民共和国では人民が領袖と朝鮮労働党の周りに一心団結しています。

朝鮮人民は人情に厚い慈父を最高首位にいただき、一つのむつまじい大家庭をなしています。

金日成主席は日本帝国主義の野蛮な植民地支配から朝鮮を解放し、朝鮮人民に民族的独立と自由、幸福をもたらしました。

金日成主席は一生涯、以民為天を座右の銘にし、この地上に人民の楽園を打ち立てました。

金日成主席は人民に社会主義無料治療制と無料教育制、そして無料住宅供給制を実施し、歴史上初めて人民を税金の重い負担から解放しました。

一心団結、国と人民にたいする指導者の愛、指導者にたいする人民の愛によって、朝鮮民主主義人民共和国はもっとも安定した国家となりました。こんな国は世界のどこにもありません。

金正日総書記は、私にいかなる変化も望むな、としながら、金日成主席の政治をすべての分野に忠実に具現しました。

金正日総書記は金日成主席の思想を金日成主義に宣布しました。

金正日総書記が逝去した後、金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の思想を朝鮮労働党の指導思想である金日成・金正日主義に宣布しました。

国と人民の幸福のための主席と総書記の不滅の努力は、代を継いでいささかの狂いもなく継承されています。

そして国の統一のための朝鮮人民の闘争はより力強く発展しながら成果を収めています。

この歴史的成果と業績は偉大な金日成･金正日主義によってもたらされたものです。

金日成・金正日主義を指導思想と命脈にしているがゆえに、社会主義朝鮮は不敗です。世界の誰も朝鮮民主主義人民共和国を崩壊させることができません。

アメリカ帝国主義を頭とする帝国主義連合勢力は、朝鮮民主主義人民共和国の強力な核抑止力と軍事的力の前に屈服せざるを得なくなりました。

しかし、帝国主義と反動勢力との対決でもっとも威力ある武器は、ほかならぬ金日成主席と金正日総書記によってもたらされた一心団結です。この団結は世界のすべての核兵器を合わせたものよりもっと有力です。

主席と総書記の不滅の業績は今日、金正恩総書記によって継承されています。

みなこぞって多彩な活動を行うことにより、金日成主席の誕生日である太陽節を慶祝し、金日成主席の偉大な革命生涯と貴い風貌を高くたたえましょう。

２９．金日成・金正日主義は人民大衆第一主義の思想である

（バングラデシュ・チュチェ思想研究所委員長　シェイク・ラフィクル・イスラム・バブル）

朝鮮民主主義人民共和国に具現された人民大衆第一主義は国際社会の関心を集めています。

人民大衆第一主義は人民大衆を世界でもっとも有力な存在と見なし、人民大衆に献身的に奉仕し、人民大衆に依拠してすべての問題を解決していくようにします。

金日成・金正日主義は人民大衆第一主義に一貫されています。

金日成・金正日主義は人民の自主的要求と利益がすべての事象の価値を評価する唯一の尺度となるべきであり、すべてのものは人民に奉仕するときにのみ価値をもつということを解明しました。

また、人民の自主的要求と利益を実現することをすべての社会的運動の根本目的と見なしています。

金日成・金正日主義は、社会的運動、革命運動は人民大衆の自主性を擁護し実現するための闘争であり、革命と建設で堅持すべき原則は、人民の自主的要求と利益を擁護し、実現することであり、革命的党の存在方式は人民に奉仕することであると解明しました。

金日成・金正日主義は人民を革命と建設の直接の担当者と見なし、彼らの創造力を育てて最大限に発揮させることが革命と建設の勝利的前進のための根本方途であり、大衆の限りない力と知恵を発揮すればすべての革命課題を成功裏に遂行することができると示しました。

人民大衆第一主義を本質とする金日成・金正日主義は、自主時代の革命と建設の唯一の指導思想として不敗の力を発揮しています。

この思想は金正恩総書記の座右の銘です。

総書記は人民への滅私奉仕の精神が自分の唯一の人生観であるとし、昼夜を分かたず、雨の日も、雪の日も人民がいるところならどこへも訪ねていきます。首都平壌の中心部に新設された倉田通りで新居入りする時、総書記は労働者と教員の家を訪ねて彼らを祝賀し、ある道のあまり大きくない製靴工場が全国的な靴の展示会で人民の間で人気を博している商品をつくって優勝したという報告を受けてその工場を訪ね、労働者階級と喜びを分かちました。遊園地に近代的な遊戯施設が設けられた時には、人民が利用するので安全を確認しなければならないといって自らお乗りになり、未完成のスキー

場を指導しながら試運転中のリフトに乗って山頂に登り、安全性と便利性を確認しました。

食糧、塩など、人民生活と関連したすべてのものは、総書記の関心条項です。

人民が暮らすすべてのところと彼らが享受するすべてのもの、記念碑的建造物にも総書記の人民大衆第一主義が秘められています。

昨年、朝鮮民主主義人民共和国は、長い間続いた暴雨と 3 回の台風被害をこうむりました。

暴雨だけでも朝鮮に酷い被害を与えました。約 16,000 世帯の住宅が破壊、浸水されました。

それに相次ぐ台風が朝鮮にもっと大きな被害を与えました。

災害の後、政権党である朝鮮労働党は即時に復旧活動を展開しました。

人民生活の安定を最優先の課題と見なした朝鮮労働党と政府では、朝鮮労働党の創立 75 周年になる 10 月 10 日まで被害地域の人民により立派な住宅を建設して提供するための闘争へと全国を呼び起こしました。

朝鮮労働党中央委員会の幹部らをはじめとしたすべての人民が被害地域の人民に生活用品と支援物資を送りました。

朝鮮労働党の金正恩総書記は朝鮮人民軍部隊と専門の建設力量を復旧活動に動員しました。

また、総書記は首都のすべての党員に公開書簡を送って東海岸地域の復旧活動に奮起するようアピールしました。そして直接復旧現場に出向いて建設者らを励ましました。

その結果、被害地域の人民は、国の各地に新築された住宅に引っ越すようになりました。

この一つの事実だけでも多くの人が驚くでしょう。

しかし、もっと驚くべきことは新築された住宅を被害地域の人民に無料で供給したことです。

人民の利益を最優先し、すべてを人民に奉仕させることは、朝鮮の社会主義制度の真の姿です。

総書記の徹底した人民大衆第一主義は「すべてを人民のために、すべてを人民大衆に依拠して！」に反映されています。

奇跡を創造することは神秘な天の力ではなく、人民の底知れない力であり、人民を天のごとく見なし、人民の力に依拠すれば不可能なことがないと

いう確固たる信念を抱き、総書記は人民の幸福を増やすための道を引き続き歩んでいます。

世人は人民大衆第一主義が朝鮮民主主義人民共和国でどのように実を結ぶかを見るようになるでしょう。

わたしは終わりに、世界の進歩的で革命的な人民に金日成・金正日主義をしっかり捉えていくことを呼びかけたいのです。

わたしは彼らが真にこの思想を堅持していくならば、資本主義、帝国主義をはじめとしたあらゆる搾取と抑圧をなくして勝利を勝ち取ることができるだろうと確信いたします。

３０．金日成・金正日主義は国家建設思想を定式化した偉大な指導思想である

（バングラデシュ・先軍政治研究グループ委員長、国際先軍研究中央委員会委員長、新聞「デーリー・フォーク」責任主筆、博士　M・ジャハンギル・カーン）

金日成・金正日主義の国家建設思想は主体的な社会主義国家建設思想を打ち出し、発展完成させた金日成主席と金正日総書記の尊名と結び付けて定義づけられました。

金日成・金正日主義の国家建設思想には、朝鮮民主主義人民共和国を歴史上もっとも尊厳ある強力な社会主義国家として強化発展させてきた金日成主席と金正日総書記の国家建設思想と業績が集大成されており、国家政権を政治的武器にして社会主義偉業を完成するための方向と方途が明示されています。

金日成・金正日主義の国家建設思想にはチュチェ思想を指導原則とする社会主義国家の本質と任務、社会主義国家建設理論と原理、社会主義国家の基本活動方式、社会主義国家の機能と役割、社会主義国家機構の構成、国家機関の活動体系、国家政権を政治的武器として社会主義偉業を遂行する方向と方途が集大成されています。

金日成・金正日主義の国家建設思想は、金日成主席と金正日総書記の国家建設思想を確固と固守し、社会主義偉業を力強くおし進めて共和国をなんぴとも手出しできない不敗の強国、人民の理想が全面的に実現した人民の国家、底知れない発展潜在力を遺憾なく発揮し、世界を先んずる偉大な国として発展させようという、金正恩総書記の確固たる信念と意志を反映しています。

朝鮮民主主義人民共和国は敵対勢力の封鎖に対処して国の経済を活性化し、世界的水準に跳躍しうる強固な土台をもっています。

その一つは数十年間固めてきた自立経済の土台です。

これは社会主義存立の基礎であり、国家の前進と発展の原動力です。

振り返ってみれば、敵対勢力は自主のとりでである共和国を孤立圧殺させるためにあらゆる策動を弄しました。70 余年間、敵対勢力は共和国にたいして前代未聞の過酷な政治的・経済的封鎖を加えてきました。

しかし、金日成主席と金正日総書記の指導の下に朝鮮人民は挑戦と圧力の中でも自力更生の原則から一歩も後退せず自分の足で歩んでいく経済を

建設し、自らの力と技術、資源に依拠して発展させました。

敵対勢力の孤立圧殺策動が極に達している厳しい情勢に対処して、金正恩総書記は、人民経済のすべての部門で原料、資材、設備の国産化を実現することに深い関心を払っています。

強固な土台の今一つは国家が大きな力を入れて整えた強力な科学技術力量です。

朝鮮は有能な科学者、人材の大部隊をもっており、科学技術は自立的な経済発展の基本的原動力です。

金正恩総書記が終始一貫堅持している科学技術重視の路線と全人民科学技術人材化政策によって、最近、科学技術で画期的な前進を遂げており、科学技術力量が急速に強化されました。

価値ある最新科学技術成果が多く達成され、経済発展を力強く推進しています。

人工地球衛星の開発および打ち上げと生物学及びナノ技術分野で収められた最新科学技術成果は世界の多くの専門家の耳目を集めています。

戦略的資源の今一つは自力更生を体質化し、愛国の熱意で血を沸かす人民大衆の創造的力です。

奇跡は自ずと起こるものではありません。奇跡の源泉は人民大衆の底知れない力にあり、不屈の精神力を体現した人民の力は無限大です。

これは金日成主席と金正日総書記の指導の下に試練と難関を切り抜けて年代と年代を超えて奇跡と革新を創造した朝鮮人民の闘争過程にはっきり証明されました。

金正恩総書記の指導の下に朝鮮人民は自力更生の精神でより徹底的に武装して敵対勢力の続く孤立圧殺策動を粉砕し、社会主義強国建設偉業を成し遂げる上で日に日に新たな奇跡を創造しています。

私は朝鮮民主主義人民共和国が金日成・金正日主義国家建設思想によって強国建設と祖国統一の最後の勝利を達成するだろうと確信いたします。

３１．金日成・金正日主義が明らかにした経済的自立をめざす南南協力を活性化していこう

（セネガル・ウアカム地域チュチェ思想研究グループ責任者　スレイマン・バフ）

去る世紀の中葉、非同盟国は、帝国主義の植民地支配と従属から脱して自由と独立は達成したが、植民地による立ち遅れと貧窮をそのまま譲り受けました。

自己の運命を自分の手に掌握した人民が真の生を享受するためには、経済を発展させて安定した物質生活を保障されなければなりません。

しかし、独立後、数十年が経った今日も非同盟国の経済生活は相応の水準に達していません。

もちろん、古くて立ち遅れた経済を発展させるための非同盟国人民の闘争では成果も大きかったのです。

また、今日、発展した国々の投資と支援は、われわれの生活環境を変化させています。

しかし、増える投資は莫大な債務を生み、支援は貧窮をなくす決定的なものになっていません。

貧しい債務者が債権者の機嫌を取ることは社会生活の当然の道理であり、経済的従属は政治的従属を生むということを知らない人はいないでしょう。

出路は経済的自立にあります。そのためにはわれわれが力を合わせ、協力と交流を強化しなければなりません。

非同盟国には膨大な人的能力と豊富な資源、すぐれた技術と経験があります。

非同盟国が集団的自力更生と有無相通ずる原則にもとづいて互いによい経験と技術交流を通じた経済的・技術的協力を実現していくなら、優に裕福な生活を営むことができます。

これはすでに久しい前から偉大な金日成主席が示した進路であります。

今日、自主と正義、発展と繁栄を志向するアフリカは、汎アフリカ主義にもとづいて団結と経済的統合の道を選んでいます。

わたしはわれわれと同じ境遇にある非同盟国が団結して、自らの力を信じ、協力と交流を強化するのが経済的自立をめざす確固たる方途であると思います。

地球上には植民地から脱して自力で聳え立ったわれわれのモデルの国、朝鮮民主主義人民共和国があります。

朝鮮は金日成・金正日主義を具現して一心団結と自力更生によって自己発展の道を歩んできました。

そして今日も一心団結と自力更生によってより高いところへと走っています。

朝鮮はあれほど厳しい制裁と封鎖の中でも微動だにせず、自立経済にもとづいてその尊厳を輝かせながらも南南協力の道をたゆみなく歩んでいます。

この機会に、一心団結と自力更生の旗を高く掲げて非同盟国の先頭に立って進んでいる朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党の金正恩総書記に心からなる謝意を表します。

朝鮮の現実は金日成・金正日主義が指し示す道に沿って進む時、非同盟国が経済的自立によって発展と繁栄を成し遂げ、自主と正義を守ることができるということを見せています。

わたしは今日、非同盟国が行動の指針であり、偉大な実践綱領である金日成・金正日主義を自国の実情に即して具現し、経済的自立を目指す団結と協力を強化していこうということを呼びかけます。

ここで最上の選択は、南南協力の活性化であると思います。

３２．革命思想としてのチュチェ思想

（アジア地域チュチェ思想研究所副書記長、ネパール自力更生研究フォーラム委員長、
博士スバシュ・カジ・シュレスタ）

チュチェ思想はわれわれの時代の偉大な思想です。

チュチェ思想は、哲学史上はじめて人間を哲学的思考の中心に据えてすべての哲学的問題を提起し解決していく人間、人民大衆中心の哲学思想です。

チュチェ思想は人間を世界の単なる一部分としてではなく、世界の主人、支配者と見なし、人間との関係で世界観を確立しました。

チュチェ思想は世界が人間によって支配され改造されるという世界に対する見解と、人間を中心にして世界に対する観点と立場を解明しました。

チュチェ思想は自然とは異なって社会的運動にはこの運動を目的意識的に起こし、推進する主体があるということ、人民大衆が歴史の主体であり、社会的･歴史的運動は人民大衆の自主的で創造的かつ意識的な運動であることを解明しました。

人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するというチュチェ思想の根本原理は金日成・金正日主義の基礎、出発点となります。

チュチェ思想が金日成・金正日主義の真髄であるのでため、金日成・金正日主義の構成要素をなす革命理論と指導方法はチュチェの革命理論と指導方法となります。

チュチェの革命理論は人間中心の哲学思想であるチュチェ思想にもとづいていることにより、人民大衆を中心に据えて彼らの底知れない力に依拠する革命の原則と理論について解明しています。

チュチェの革命理論は勤労大衆と彼らの役割にもとづいた革命の戦略戦術を展開した革命理論です。人民大衆が自主的に、創造的に遂行すべき、民族解放、階級解放、人間解放の理論と社会改造、自然改造、人間改造の理論はチュチェ思想に根ざしています。

チュチェの指導方法は人間中心の哲学思想であるチュチェ思想に基づいていることにより、革命と建設の主人である人民大衆が自己の役割を果たすようにするもっとも立派な大衆指導方法です。

チュチェの指導方法は人民大衆が革命と建設の主人として自己の立場を堅持し役割を果たせるようにする方法です。

　対人活動を基本にしてすべての問題を解決していく方法と人民の革命的熱意と創造力に依拠する方法などを含めた革命をおこなう方法は、チュチェ思想に基づいています。

３３．世界の自主化と平和偉業を大いに推し進めるチュチェ思想

（欧州地域チュチェ思想研究会委員長エドモン・ジューブ）

今日も依然として、チュチェ思想はその生命力を高く発揮しています。

その生命力は新型コロナ保健危機が招かれた時からさらに明確になっています。

チュチェ思想は人間中心の思想と理論にもとづいています。

人民大衆は党と領袖の指導を受けてこそ、革命の主人としての地位を占め、それに合わせて自己の役割を果たすことができる。

領袖は人民大衆の最高脳髄です。党は領袖の思想と指導を実現するための政治組織です。

領袖の思想と指導を離れた党は革命と建設を勝利的に導くことができません。

領袖、党、大衆が一心団結をなしてこそ、それは比類なく強固で有効な革命の推進力になるのです。

2020 年に朝鮮労働党は創建 75 周年を記念しました。朝鮮労働党は金日成主席が創立し、金正日総書記と金正恩総書記が強化発展させた党であります。

朝鮮労働党は朝鮮民主主義人民共和国の運命を勝利的に開拓する頼もしい前衛部隊、強力な参謀部であります。

朝鮮労働党は常に自己の指導思想、チュチェ思想に依拠して活動しています。この思想は共産主義運動史上初めての新型の革命的党の根源でありました。

わたしはチュチェ思想が世界の自主化と平和偉業を導かなければならないと思います。

３４．国際的進歩運動におけるチュチェ思想の意義

（白頭山チェコ朝鮮親善協会、チェコ・チュチェ思想研究・具現グループ
第１副委員長ルカシュ・ブロベル）

朝鮮民主主義人民共和国の歴史と反革命が起こって資本主義が復活された旧社会主義諸国の歴史を対比的に見れば、国際的進歩運動におけるチュチェ思想の意義はもっと浮き彫りにされます。

国際的進歩運動におけるチュチェ思想の意義は、世界の社会主義陣営が崩壊した後、反革命的攻勢の強化によりもっとも困難であった時期に朝鮮の社会主義がどうして固守されたかによっても明白に現れています。

朝鮮の社会主義の威力は、あらゆる分派勢力と敵対勢力を一掃した金日成主席と金正日総書記が打ち固めた一心団結によって保証されます。旧社会主義諸国では、資本主義を復活する上で内部の基本力量を成した反革命分子が政党の指導部にいたことにより、高価な代償を払いました。

政治的自主性と経済的自立は社会主義朝鮮を擁護し発展させる上で依然として決定的要因となっています。朝鮮労働党は事大主義を排撃し、他国の政治路線を受け入れませんでした。これによって朝鮮労働党は 1950 年代の中葉から次第に国際共産主義運動と労働運動に蔓延していた日和見主義と修正主義の浸透を防ぐことができました。朝鮮労働党は革命伝統を抹殺し、先代領袖を非難するような行為を許さなかったが、資本主義諸国における労働運動の役割は認めました。

創建初期からの朝鮮労働党の正しい政策的指導は、集団主義思想にもとづいています。朝鮮の現実とは対照的に、さる 30 年以上も他人はどうであれ、「自由と民主主義」の利己的観念を追求してきたチェコ共和国の現況を見るとき、この国では新型コロナウイルス感染症と関連した特別措置が完全に無視され、違反されており、結局、世界最大の感染地域の一つとなりました。世界的な大流行病の発生以後、1 年に 130 万名の感染者と 2 万 1000 名の死亡者を出しました。

チュチェ思想にもとづいた政治は形式的な服従ではなく、人民大衆の意識的な支持に依拠しています。強力に展開された文化革命は社会主義偉業の遂行で人民大衆の心をとらえました。人民朝鮮の文化と 1980 年代に崩壊直

前の旧社会主義諸国の文化を対比的に見ても、朝鮮の大衆的行事を反革命以前の諸国でおこなったそれと比べれて見てもすぐその差が分かります。自分の目で朝鮮での行事を見なかった人は、率直に人々の情熱的で戦闘的な姿を偽りとか、強要されたものだと言うかも知りません。

朝鮮労働党は民族分裂の悲劇が続き、占領された南半部で文化が腐敗される中で、解放された北半部の社会にブルジョア思想の毒素が扶植されないようにしました。むしろ革命が代を継いで継続されています。党第７回大会と第８回大会、党中央委員会の総会、政治局会議、そして先ごろおこなわれた市、郡党責任書記講習会が示しているように、金正恩総書記の指導の下に最近、敵の思想的・文化的浸透に反対する闘争と新世代の教育に大きな関心が払われています。

朝鮮民主主義人民共和国と社会主義が挫折した諸国との今一つの大きな差は、共和国が官僚主義と腐敗、党と人民を離間させることとの闘争を強力におこなっているということです。

これらはすべて金日成主席と金正日総書記の不滅の功績によって成されることができました。

金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の思想を金日成・金正日主義に命名しました。

わたしは共産主義運動および朝鮮との友好団体の活動家として、金日成主席に接見する光栄に浴した多くの同志たちに会ってみました。彼らは異口同音に主席の立派な人格と暖かい友愛心、真心について回顧しながら、それは自分たちの心の中に永遠な追憶として残るだろうと言っていました。

朝鮮の同志たちの親切な関心の中でわが友好代表団は錦繍山太陽宮殿におられる金日成主席と金正日総書記に数回も敬意を表し、金正恩総書記が参席した行事にも参加することができました。

革命偉業のために、もっとも困難な環境の中でも社会主義の赤旗を引き続き掲げていく朝鮮民主主義人民共和国との友好のために、今後もたたかい続けていくことはわれわれの義務であります。

３５．チュチェ思想は永遠に偉大な思想として残るだろう

（エジプト・チュチェ思想研究委員会委員長　ヤフヤ・ザカリヤ・ヘイルラ）

チュチェ思想の創始者である金日成主席は朝鮮人民を植民地主義の支配から解放する指導思想の探求に情熱を傾注しました。多分、チュチェ思想が指導思想となりえたのは、チュチェ思想が朝鮮の現実から出発し、地球上のすべての人に指導指針となったからです。より重要な原因はチュチェ思想の生命力がその秘訣でありました。

チュチェ思想が人間解放をめざして人間をもっとも貴い存在とみなし、人民大衆を革命と建設の主人におし立て、彼らを天のごとく見なし、歴史の積極的な主体、奇跡の創造者につくりあげたことにより、それはそれぞれの時代に生きた地球上の人たちにとって指導指針となりました。

金正日総書記は金日成主席が創始した偉大な自主思想であるチュチェ思想を発展豊富化し、朝鮮労働党と国家がこの思想にもとづいてすべての活動をおこなうようにしました。

チュチェ思想は国際社会が尊重する自主性を実現するための指導思想であるだけでなく、一生をささげて研究すべき政治哲学でもあります。

この人間中心の哲学は、人間は自己の運命の主人であり、自己の運命を切り開く力をもっていることを示しています。

朝鮮民主主義人民共和国は、世紀を継いで確固たる立場を堅持し、偉大なチュチェ思想が示した確固とした自主路線を堅持してきたがゆえに、いままで自己の存在を維持してくることができました。

朝鮮では政治、軍事、経済、文化など、すべての分野にチュチェ思想を確実に具現することにより、朝鮮の社会を人民大衆中心の社会主義として建設することができました。

チュチェ思想はまた、朝鮮労働党の活動の基本指針として労働者、インテリ、農民をはじめとしたすべての人を一つに固く結束させています。チュチェ思想は偉大な先軍政治の実現において重大かつ根本的な役割を果たすことにより、朝鮮を無視できない強国に変え、敵を守勢に追い込みました。チュチェ思想の正当性は友人たちだけでなく、敵も認めています。チュチェ思想の創始者である金日成主席とその継承者である金正日総書記はチュチェ思想を立派に具現することにより、高い国際的権威を持つようになりました。

今日、朝鮮民主主義人民共和国の政策を研究する人たちは、今年の初めにおこなわれた朝鮮労働党第 8 回大会の内容を通じてチュチェ思想の影響力をはっきり知るようになりました。

朝鮮労働党第 8 回大会でおこなった金正恩総書記の演説はかつての伝統的な社会主義が知らない、一つの新しい革命的結果であり、新しい方法であります。総書記の演説は誠実さで一貫しており、その誠実さは新時代に向かった道へと推進し、欠点にたいする指摘は、難関を克服して帝国主義を打ち破るための指針となりました。

金正恩総書記は朝鮮社会の現実について透明性を持って分析し、欠点を指摘し、朝鮮人民と肩を組んで直面した挑戦に立ち向かっていく自分の責任感と勇気を表明し、人民にたいする確信と尊敬に基づいてすべての挑戦を乗り越えるための方途を示しました。

これは金正恩総書記が打ち出した独特な社会主義の指導方式です。

わたしは金正恩総書記が先代の領袖たちのように朝鮮人民を中心にすえて、人民の力に依拠し、現実に基づいて発展と前進を遂げていく、その精神を引き続き堅持しながら、朝鮮の社会主義建設で新たな方法を創造するであろうと思います。

討論を終える前にエジプト・チュチェ思想研究委員会の活動で積んだ経験と教訓を総括しようと思います。20 年ほど前に朝鮮の現実とチュチェ思想がそれに与えた影響を研究し、チュチェ思想にたいする理解を深めるために人々を人類の価値と自主性にたいする定義、偉大なチュチェ思想で武装した不敗の力量として準備するための土台が築かれました。

われわれは金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記にたいする図書を全部耽読し、多くの研究活動をおこない、図書を執筆しました。また、10 年間、数百回のセミナーをおこなって、チュチェ思想がどういう思想であり、世界の進歩的人民にどのような影響を与えるかについて解説しました。

われわれは他の哲学思想との対比の中でチュチェ思想を研究しながらチュチェ思想によって国際社会が恩恵を受けているということをはっきりと悟るようになりました。われわれはそれぞれの国が、必ず自国の実情に即してチュチェ思想を具現しなければならないということを知るようになりました。人間を世界でもっとも貴い存在として見なすチュチェ思想はすべての時代、国と文化に具現できる思想です。

チュチェ思想はすべてのアラブ諸国が恩恵を受けるようにする、またす

べての国の条件に符合する偉大な思想となるでしょう。
　今後、いかなる思想がもっと創始され、発展豊富化されるといっても、チュチェ思想は永遠に偉大な思想として残っているでしょう。

３６．急変する歴史の渦巻きの中で実証されたチュチェ思想の生命力

(ロシア金日成・金正日主義研究所所長ワジム・クジミン)

去る世紀、地球上には多くの思想理論が出現し、さまざまな方法で現代の世界とその発展の道を示し、未来にたいする見解を確立しようとしました。それらの理論は、個別の国だけでなく、多くの国にも広まりました。ある国ではその理論が長い間、国家思想として支配し、またある国では生まれて間もなく、国家思想となれずにすぐ消えています。その理論の中で一部は、とりもなおさず、歳月の試練、歴史の風波を乗り越えず、終焉を告げてしまいました。実例としてファシズム、日本軍国主義反動が喧伝していた「大東亜共栄圏」をあげることができます。

現代のすべての理論と学説の中でチュチェ思想だけが、時代によって検証されたもっとも強固で包括的な思想となります。

金正日総書記は著作「チュチェ思想について」で次のように述べています。

「革命は、人民大衆の力を発揮させて人民大衆の自主的要求を実現する闘争であり、人民大衆が自分自身を解放する闘争であります。人民大衆は革命思想で武装し、組織された政治勢力として団結してこそ革命で勝利することができます。革命家の任務は、革命の主人である人民大衆のなかに入り、かれらを教育し組織して闘争に立ち上がらせることにあります。革命勢力も人民大衆のなかから育成し、革命闘争で提起される諸問題も人民大衆の知恵と力によって解決していかなくてはなりません」

金日成主席は人民大衆を中心にすえて朝鮮革命を開拓し、結局、日本帝国主義との大戦で輝かしい勝利を達成しました。

アジアの主な帝国主義列強を打ち破った朝鮮革命は、朝鮮人民革命軍によって破滅した日本帝国主義に代わって入り込んだアメリカ帝国主義という、より狡猾で野蛮的な敵と対決するようになりました。

朝鮮人民はアメリカ帝国主義との困難な闘いの中で勝利するために実に全力を尽くさなければなりませんでした。

戦争における勝利は全党と全人民が領袖にたいする絶対的な忠実性にもとづいた一つの政治的統一体を成していなかったならば不可能なもので

ありました。

歴史は勢力上あれほど大きな差がある対決で発揮された驚くべき頑強さと勇敢さ、自己犠牲性の実例をいまだかつて知りません。こうした対決では、思想的支柱がなければ勝てないのです。

1950－1953 年、祖国解放戦争で勝利した後、朝鮮は全国が廃墟の灰燼に帰していて、朝鮮人民の前には戦争に劣らない膨大な復旧と発展の課題が提起されました。チュチェ思想は軍事だけでなく、平和的建設でもその生命力を遺憾なく示しました。

当時、朝鮮民主主義人民共和国にはまともな建物が一つも残っていませんでした。すべての産業企業が破壊し、インフラが完全に破壊された状態でした。伝言によれば、アメリカ帝国主義者が朝鮮を空爆しようと飛行機で飛んできた時、野蛮的な行為をする対象をもう探すことができなかったそうです。朝鮮はその程度に帝国主義者によって甚だしく破壊され、生命体を探しにくい土地と化しました。

しかし、朝鮮人民は、極悪な条件の中でも大きな熱意をもって勇躍して復旧活動に立ち上がりました。朝鮮人民は戦後、祖国を巨大な力で立ち上げて世人の模範となりました。1958 年にもはや最初の「勝利」自動車が製作され、平壌と他の都市が完全に一新し、農業部門における食糧の生産は全国の需要を充たせるほど伸びました。

このすべての成果は、金日成主席がチュチェ思想で明らかにした思想的・理論的基礎がなかったならば、将来発展の明白な計画がなかったならば考えられないことです。

朝鮮人民はチョンリマの大進軍を行って、短期間に以前の立ち遅れていたアジアの植民地国を、工業生産物を完全に自給自足する主要工業強国、未来志向的で発展した現代科学をもった国に転換させました。

その後もチュチェ思想で武装した朝鮮人民は、急変する歴史の渦巻きの中で、もっとも困難で暗澹たる状況の中で何回も勝利者となりました。

チュチェ思想で武装すればいかなる難関も克服できるということが実証されました。

一つのむつまじい家庭をなして暮らす朝鮮人民は、環境が困難であれば困難であるほど、さらに強力な人民となってそれを克服してきました。

東欧諸国で一時的に資本主義が復活した 1994 年、反動が狂気をふるい、帝国主義諸国は自分らの強大さが絶頂に達したと豪語していました。朝鮮は

一瞬にすべての市場を失いました。工場、企業所が稼動を止めました。1994 年 7 月 8 日、党と国家、革命を先頭に立って導いていた金日成主席が思いがけなく逝去しました。革命の世代交代の問題が切実に提起されました。それにかつてない大雨、台風という自然災害まで重なっていました。その時期、帝国主義勢力はいわゆる「核脅威」を云々し、朝鮮民主主義人民共和国にたいする圧力を数倍も強めました。そうでなくても困難な境遇にあった朝鮮に加えられた制裁は状況をさらに困難にし、多くはなかった資金の大部分を国防に回さなければなりませんでした。

こうした状況下で敵だけでなく、朝鮮を同情していた多くの人も朝鮮の終焉は時間の問題であり、想像を絶する苦難によってこの国が崩壊するだろうと思いはじめました。それはどの国もそのような試練は克服できないからです。

チュチェ思想は現代のいかなる挑戦も克服できるようにします。チュチェ 109（2020）年の末、全世界は COVID-19 という恐ろしい大流行病に感染されました。1919 年のスペイン風邪の流行以来、人類は初めて数億の無辜の生命を奪いうる、死の病魔に侵されました。われわれは各国でどういう措置を講じているかを見ています。ある国ではその措置がもっと効力を出し、ある国ではそうでありません。しかし、行く先々で死亡者が増え、経済が破壊しており、企業が破産しています。これは多くの労働者、農民、インテリが生存手段を失うことを意味します。

３７．チュチェ思想と尊厳、自主権の守護

（クウェート「アルシャヒド」新聞社編集局長　ムハンマド・アル・アジュミ）

現代朝鮮の創建者、指導者である金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の尊名は世界に広く知られています。

朝鮮は今日、国際関係で自主政治の代名詞となっています。

私が朝鮮を憧憬し、朝鮮の指導者を尊敬するようになったのも、まさに朝鮮が自主の強国である理由からです。

領土も大きくなく、人口も 2,500 万名程度である朝鮮民主主義人民共和国が、アメリカをはじめとした大国の支配戦略と専横にも屈することなく自主的発展の道を堂々と歩んでいる事実は、多くの人の驚嘆を呼び起こしています。

尊厳は人間にとって、そして国と民族にとってもっとも重要な表徴であります。

多くの人、また多くの国が自己の尊厳を守り、輝かせるために努力しています。尊厳を守るための戦いで成功する人や国もあるが、失敗する人や国もあります。

私は朝鮮民主主義人民共和国が国と民族の尊厳と自主権を守る上で手本であると思います。

弱肉強食が国際関係を支配している今日の世界で、そしてさほど大きくない国、一民族が自己の尊厳と自主権を守り、国際社会に自己の存在を浮き彫りにするということは、決して容易なことではありません。

私は金日成主席が創始し、金正日総書記が発展豊富化させ、金正恩総書記が確固と堅持しているチュチェ思想が朝鮮民主主義人民共和国の自主政治の基礎、起点になっていると思います。

チュチェ思想は、朝鮮民主主義人民共和国で革命と建設の指導指針となっている金日成・金正日主義の思想的・理論的中核であり、朝鮮民主主義人民共和国のすべての政策とスローガン、現実に反映されています。

金正恩総書記は、朝鮮労働党第８回大会で、朝鮮の党と国家、人民が以民為天、一心団結、自力更生のスローガンを高く掲げることについて強調しました。

この三つのスローガンにチュチェ思想の要求が集大成されており、朝鮮民主主義人民共和国の自主政治の勝利の保証があります。

以民為天は人民を世界でもっとも高い位置に据え、人民の利益の実現にすべてを服従させるというスローガンとして、革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設をおし進める力も人民大衆にあるというチュチェ思想の社会・歴史原理が具現されています。

一心団結のスローガンにもチュチェ思想で武装した人民の団結した力ですべての挑戦を克服していこうとする朝鮮民主主義人民共和国の強靭な意志が込められています。

自力更生は、自分の力を信じ、自己の運命を自力で開拓すべきだというチュチェ思想本来の要求であり、尊厳と自主のための最善の方途であると思います。

以民為天と一心団結、自力更生のスローガンが貫徹されるとき、朝鮮民主主義人民共和国は自主のとりでとしてさらに強くなるでしょう。

中東のアラブ諸国にも尊厳と自主を志向し、善と正義を主張する思想理論が少なくありません。しかし、それが時代の発展と人民の志向、現実を十分に反映していないことにより、そしてそれを実現するという強い意志と挑戦にたいする克服精神が足りないことにより、大国と強国による内政にたいする支配と干渉が許されたり、時には尊厳を蹂躙され、民族的自主権も侵害されたりする事態が起こるのです。

中東地域は人的および物的資源も豊かであり、自主的発展の有利な環境をもっていますが、一部のアラブ諸国では政治的不安定が持続し、外部勢力の干渉によって四分五裂し人民が苦痛をなめています。

現実は剛毅な自主精神をもってすべての思考と実践を国と人民の安寧と安全、利益を守ることに服従させ、尊厳と権利、正義が与えられるのを座して望んでばかりいるのでなく、力でもって勝ち取らなければならないということを示しています。

私は中東の一部の国の実態と朝鮮の形勢を対比して見ながら、チュチェ思想の威力と朝鮮の剛毅な自主精神の根幹について再度認識するようになります。

朝鮮民主主義人民共和国の剛毅な自主精神は今回の朝鮮労働党第 8 回大会でアメリカにたいして「強対強」「善対善」の原則で対応すると宣布したことだけを見てもよく分かります。

チュチェ思想は人間が自分を知り、どのように自力を育てなければならないかを悟らせる偉大な政治学説です。

私は自主と正義を志向する人であれば、チュチェ思想を深く研究し、チュチェ思想を現実に具現するために努力すべきであると思います。

チュチェ思想が示す道に沿って進むとき、人間の尊厳、国と民族の尊厳も守られ、自主的で平等な社会が建設されると思います。

３８．現代の出来事の激流の中で自己の生命力を遺憾なく実証した不滅のチュチェ思想

（ロシア・チュチェ思想研究協会委員長ドミトリー・コスチェンコ）

チュチェ思想は朝鮮人民が朝鮮半島を占領した日本帝国主義に反対する武装闘争をくり広げていた時期である 1930 年に開かれた歴史的な卡倫会議で初めて宣布されました。金日成主席は会議で行った演説で、国の自由と民族的独立は外部勢力の援助や列強の庇護を受けてではなく朝鮮民族の力によってのみ遂げることができると宣言しました。

チュチェ思想は朝鮮で生まれた独創的な世界観として朝鮮人民の全歴史と密接に結び付いていると同時に包括的な全人類的意義をもち、全世界の人民に自由と独立への道を示してくれる思想です。

社会主義朝鮮の始祖である金日成主席は著作の中で、抑圧され、蔑まれてきた人民大衆が初めて自己の運命の主人として歴史舞台に登場した新時代の要請を深く分析しました。

ここで重要なのは、チュチェ思想が、人民大衆を歴史と自己の運命の主人とみなし、人民大衆の革命闘争を通じてのみ国の民族的及び社会的解放を勝ち取ることができるということを解明したことです。これは朝鮮民主主義人民共和国の今後の発展方向を示しました。共和国は諸国人民の真の独立と民族的自決権を目指す闘争において灯火となりました。

チュチェ思想は人間はあらゆるものの主人であり、すべてを決定すると解明しました。チュチェ思想が社会的・歴史的過程に適用されて生まれた原理は、人民大衆が歴史の創造者であり、歴史の主体であるということです。また、社会的・歴史的運動は人民大衆の自主的かつ創造的で、意識的な運動であるということです。

チュチェ思想の指導的原則は、チュチェ思想の根本原理が込められている、思想における主体、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則です。

国家建設の実践にたいするチュチェ思想の重要な構成成分は、領袖、党、大衆の統一に関する原理です。ここで朝鮮民主主義人民共和国の政治体制は、領袖の政治体制です。人民大衆は自分の領袖を限りなく敬慕して信頼し、忠実に奉じており、国を導く偉大な総帥たちは変わることなく以民為天の思想

で人民大衆に対しています。

　このように朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想を確実に具現した結果、領袖、党、大衆が一つの統一体をなし、一心団結にもとづいた社会主義社会を建設することによって、現代社会の唯一の模範となっています。

　朝鮮民主主義人民共和国の輝かしい過去と今日の立派な成果は、チュチェ思想の理論的原理の真理性にたいする明白な証左となります。

　朝鮮人民は栄えある革命伝統に忠実であり、金日成主席と金正日総書記が著作で示した道に沿って力強く前進しています。

　朝鮮人民は、不滅のチュチェ思想を指針にして独立を達成して社会主義建設を始め、祖国解放戦争の時期、アメリカ帝国主義との熾烈な対決で勝利し、戦後には伝説的なチョンリマの速度で経済を復興しました。まさに、チュチェ思想が長い間、朝鮮民主主義人民共和国の自主的な対外政策的方向と自立的な経済発展を規定しました。それによって朝鮮民主主義人民共和国は多くの東欧諸国で社会主義が挫折した時にも引き続き成果的に発展し、苦難の行軍の時期の経済的難関を克服することができました。社会主義朝鮮はチュチェ思想の旗の下に核及びミサイル技術を所有し、熱核融合の秘密を明かし、人工地球衛星を宇宙に打ち上げました。朝鮮革命の全歴史はチュチェ思想の生命力を見せる直観的な実例となります。

３９．人類が直面したもっとも複雑な挑戦に解答を与えるチュチェ思想

（カザフスタン金正日同志名称チュチェ思想研究および普及協会委員長
アンドレイ・グリシン、書記長　ニコライ・ザポパドコ）

世界的な大流行伝染病によって経済的に発展した国々まで人口恐慌、良質の医薬品の不足、民族経済の崩壊に直面しています。中央アジア地域で暮らすわれわれは世界の他の地域と同様に、地域内の五つの国で人口の大多数が伝染病に感染され、それにたいする政府の適切な対応能力の欠如と民族経済の崩壊による大きな損失を目の当たりにしています。実例に、カザフスタンで失業率は伝染病が蔓延した年に 40%に達し、はては公務員家族の子供の10%が貧窮の中で暮らしています。実際にその数はもっと多いかも知りません。

朝鮮民主主義人民共和国はこのような新たな脅威に対処しているだけでなく、チュチェ思想と社会主義制度の優越性を世界に示威しています。

金日成主席が 1930 年代に創始したチュチェ思想は、自主性と正義にたいする朝鮮人民の世紀の念願を実現しました。チュチェ思想が創始されたことにより、朝鮮人民は日本帝国主義の抑圧から脱することができ、強大な侵略者アメリカを打ち破って誰もが党と領袖の関心の中で暮らす今日の強国を建設することができました。

今、チュチェ思想は進歩を遂げるための朝鮮人民の武器となっています。現在、この武器を最大に使用できる国は朝鮮民主主義人民共和国しかありません。これは金日成主席と金正日総書記から金正恩総書記が譲り受けた天才的な英知と千里眼の天稟、分析的な才能の結実であり、朝鮮民主主義人民共和国がチュチェ思想を政治と経済に具現するための長久の実践過程に達成した成果です。

チュチェ思想は人間を中心にすえて展開された思想であるため、社会主義国家で暮らしている各個人の要求が実現されるようにします。

金日成主席が建設し、金正日総書記が発展させ、今は金正恩総書記が発展させているチュチェ型の経済は、朝鮮民主主義人民共和国をして生産を正常化し、商品価格を安定させるようにしました。

朝鮮民主主義人民共和国の公民は、共和国こそはいかなる敵もあえて手出しできない難攻不落の要塞であることを実感しており、以前のように幸せな生活を享受しています。

チュチェ思想の結果として表れている朝鮮民主主義人民共和国の今一つの重要な特徴は、自己の領袖の周りに結束した団結とともに全人民の整然とした規律性と献身性にあります。こうした特徴によって社会主義朝鮮の公民たちの平和な生活と朝鮮民主主義人民共和国の進歩的発展が保証されるのです。

総体的に 90 年前に創始されたチュチェ思想は、実践に具現される過程に自己の生命力を実証しました。

われわれはまた世界のすべての国（特に真の民主主義と自主性のために闘う）の指導者と政府が、チュチェ思想にたいする著作を深く研究し、朝鮮民主主義人民共和国の実践上の経験を注意深く研究することによって、それを自国に具現していくことを求めます。

４０．チュチェ思想は国と民族の運命開拓で提起される重要な問題に科学的な解答を与える思想

（汎アフリカ運動ウガンダ民族執行委員会委員長
チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会副委員長　ダニエル・ルガラマ）

朝鮮民主主義人民共和国の創立者である金日成主席は日本の植民地統治に反対する闘争の初期にチュチェ思想を創始しました。

Ｊ・Ｂ・ムケルジは自分の著書「偉大な金日成主席の社会、経済及び政治思想」（1983）で金日成主席は世界の数百万の人民に自主の道を示したもっとも偉大な哲学者、世界人民が高く仰ぎいただき、尊敬する救い主であると書きました。

金正日総書記はエネルギッシュな思想・理論活動によってチュチェ思想を深化発展させて新時代の要求に即してチュチェ思想を真髄とする金日成主義を定立しました。

金正恩総書記は金日成主義をチュチェ時代の要求に即して金日成・金正日主義と定義づけました。

朝鮮労働党の金正恩総書記は次のように述べています。

「金日成・金正日主義はチュチェの思想、理論、方法の全一的な体系であり、チュチェ時代を代表する偉大な革命思想です」

金日成・金正日主義の真髄はチュチェ思想です。

金日成主席は自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあると述べました。この教示は人類史上はじめて世界における人間の地位と役割にもっとも正しい解答を与えた科学的な思想理論です。

朝鮮人民はチュチェ思想、金日成・金正日主義の旗を高く掲げて最後の勝利を達成するために力強く前進してきました。

かつて、あらゆる曲折を経ながら帝国主義との闘争を展開した結果、アフリカの革命家たちは、アフリカ自体の力で大陸の安定と変化をもたらすための闘争をし続けてきました。この過程に全世界の人民と友人の信頼と支持を得ることができました。

いかなる支配と拘束も受けることなく、自主的に生き発展しようという

のは人類の理想であり、志向です。それは自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるからです。

今日、世界には支配と従属を排撃し、自主性にもとづいた国際関係を樹立し､国際社会の民主化を実現することによりすべての国と民族の自主的な発展を遂げようという力強い闘争がくり広げられています。

こうした現実は､自主性を目指す国と民族の念願は決して阻むことができないという真理を明らかにしたチュチェ思想の生命力を示しています。

チュチェ思想は自主性にたいする人類の根本的な念願と時代の潮流を正しく反映しており､国と民族の運命開拓で提起される重要な問題に科学的な解答を与えています。

４１．現代におけるチュチェ思想の生命力

（ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所副理事長、チュチェ思想国際研究所理事、
チュチェ思想研究ベネズエラ全国協会委員長　教授オマル・ロペス）

世界の人々は 21 世紀に入りながら、もっとも正義あり人間的な社会、多極的な人間中心のもっとも立派な社会を建設しようという願いを実現するために、一連の挑戦と障害を克服してきました。これらはみな資本主義の構造上の危機によって生じたものでありますが、未開な資本主義と野蛮的な新自由主義政治と呼ばれている資本主義の滅亡は、自分の後についで全人類を滅亡のどん底に引き入れようとしています。

現代の歴史は、諸国と人民がこの闘争、すなわち経済的自立と自主権達成の一定の水準に達するために全力を尽くさないと必ず崩壊し、世界化された今日の世界を支配している経済的･軍事的列強の手先に転落してしまうということを見せています。自らの資源と能力に基づく科学と技術を自らの解放闘争の前面に押し立てた国々には、これらの挑戦を乗り越えうる最もよい条件が作られるでしょう。

今日人類は、新型コロナウイルス伝染病の挑戦も受けていますが、この大流行病に対処する方式でも、上述したように資本主義の制約がことごとくはっきりと露呈しました。国際機構の統計資料と数字、報告資料は、われわれに大流行病に対処する闘争のすべての状況をはっきりと見せています。

現実は、自分の能力と限界を正しく認識し、自らの力を強化してきた国々、自らの科学技術構造を確立するための時間と資源を投資した国々は、新型コロナウイルス感染症を対処する、もっとも立派な条件を持っているでしょう。

チュチェ思想があったがために、朝鮮民主主義人民共和国は核軍事強国になりえたし、今日の大流行病の脅威から自らを守るために国境を封鎖し、他国との交易が制限されている中でも経済強国に向けた巨歩を踏み出すことができたのであります。

朝鮮人民はチュチェ思想を戦略的武器としてこの挑戦に対処する準備をし、70 余年間アメリカ帝国主義の封鎖と制裁に対抗して戦いました。

今日、人類を守る力強い武器であり、人民の自主権と尊厳を守る手段であるチュチェ思想の研究普及活動は、いつにも増して切実な問題として提起

されます。

　われわれはチュチェ思想を具現して経済強国建設を勝利的に前進させていく朝鮮民主主義人民共和国の模範に見習わなければなりません。

　そして 2021 年 1 月に行われた朝鮮労働党第 8 回大会で示されたチュチェ思想で一貫された実践的諸問題をわれわれ自身のものにすべきです。

　「社会主義建設の主体的な力、内的原動力を一段と強化し、各分野において偉大な新たな勝利を達成しようというのが朝鮮労働党第 8 回大会の基本思想、基本精神である」

　朝鮮労働党第 8 回大会の決定書のこの短い文は、金正恩総書記が賢明に指導する社会主義朝鮮におけるチュチェ思想の生命力を示しています。

４２．チュチェ思想が解明した歴史の主体としての人民大衆に関する思想

（ベラルーシのビツェプスク・チュチェ教育学協会の責任者　ゼビャティフ）

歴史の主体に関する問題は社会発展、革命発展を主体的な観点と立場で理解するための基礎的な問題です。チュチェ思想は自然と社会を改造するための人民大衆の闘争によって歴史が発展すると解明しました。社会的運動にも物質世界の一般的法則が作用します。しかし自然の運動には主体がないが、社会的運動には主体があります。自然の運動は客観的に存在する諸物質の相互作用によって自然発生的に進行するが、社会的運動は主体の主動的な作用と役割によって生成発展します。社会的運動の主体は人民大衆です。

金正日総書記は次のように述べています。

「人民大衆をぬきにしては社会的運動そのものが存在しえず、歴史の発展について語ることもできません」

人民大衆は歴史の主体ではあるが、どの時代、どの社会においてもその地位と役割が同一であるわけではありません。過去の搾取社会において勤労人民大衆は自己の社会的・階級的境遇と力に目覚めず、一つの政治勢力として団結していませんでした。勤労人民大衆はただ国家主権と生産手段を手中におさめ社会主義制度を樹立してのみ、搾取と抑圧から解放され、世界と自己の運命の真の主人として歴史を意識的に創造していくことができたのです。

階級社会の全過程は、歴史の創造者と歴史の反動、革命の主人と革命の対象、言い換えれば勤労人民大衆と反動的搾取階級との鋭い闘争の歴史でありました。社会はこの闘争を通じて前進し発展してきました。

社会主義社会に至って勤労人民大衆の境遇と運命で根本的な変化が起こり、彼らの地位と役割が強化されたのは、労働者階級の革命的指導と闘争の結果です。労働者階級が指導する社会主義社会の発展過程は全社会を労働者階級化する過程です。労働者階級の指導の下、全社会が先進的な労働者階級の姿通りに完全に改造される時、歴史の主体である人民大衆の地位は一段と高まり、歴史の前進と革命発展を推進する上で人民大衆の役割は比類なく強化されるでしょう。

人民大衆は歴史の主体であるが、正しい指導によってのみ社会・歴史発展で主体としての地位を占め、役割を果たすことができます。人民大衆が歴史の主体としての地位を占め、役割を果たすためには必ず指導と大衆が結合

しなければなりません。

指導と大衆の結合の問題は、特に労働者階級をはじめとした広範な人民大衆によって遂行される革命運動、共産主義運動において重要に提起されます。共産主義運動は高度の意識的、組織的運動であり、深刻な階級闘争をともなうため、正しい指導なくしては成功裏に進めることができません。

革命運動、共産主義運動における指導の問題は、人民大衆にたいする党と領袖の指導の問題にほかなりません。

労働者階級をはじめとした人民大衆は、党と領袖の正しい指導を受けてこそ、自然と社会を改造する深刻かつ複雑な革命闘争を力強くくり広げて民族解放、階級解放を成し遂げ、社会主義、共産主義社会を成功裏に建設することができ、それを正しく運営していくことができるのです。

世界最初の社会主義国家はソ連でした。しかし朝鮮は他国の経験を模倣したのではなく、それを研究し自国の具体的現実に合わせて創造的に具現しました。

大衆運動を実例として挙げることができます。朝鮮民主主義人民共和国における大衆運動は、全人民が参加する運動として経済的課題の遂行よりも人間改造、共産主義型の新しい人間を育成するのに基本を置いていました。これは疑いなく思想革命を優先させながら文化革命と技術革命を同時に推進すべきであるという金日成主席の独創的な理論に基づいていました。

朝鮮民主主義人民共和国における大衆運動は、社会経済的現象であるだけでなく社会教育学的現象であるといえます。これは朝鮮人民が、困難な状況での労働活動を通じて国を樹立し、国と民族の将来の繁栄をもたらす基礎をつくるだけでなく、自らを新たなチュチェ型の人間、共産主義型の人間として準備し、その過程で社会・歴史の主体としての品性を身につけていくという意味です。

４３．チュチェ思想にたいする教育方法について

（デンマーク・チュチェ思想研究グループ責任者　ニコライ・S・C・アマンド）

チュチェ思想はこの地球上の多くの国に知られています。

偉大な領袖である金日成主席と金正日総書記がチュチェ思想を理論的に発展させた時からチュチェ思想にたいする世界的な関心は非常に高まりましました。われわれは今、世界の人民が朝鮮民主主義人民共和国を社会主義の砦として仰ぐ時代に生きており、人民大衆中心の思想的基礎について熱心に学ぼうとしていることを知っています。

しかし、いまだにもチュチェ思想について知っていない多くの人は、資本主義の宣伝に騙されており、結局、朝鮮民主主義人民共和国にたいする無知と敵対的な態度から脱せずにいます。朝鮮民主主義人民共和国にたいする反動的な宣伝に反対して闘い、金日成・金正日主義が人民大衆を啓蒙させるということを教えるべき重要な課題が提起されています。より多くの人が朝鮮民主主義人民共和国とチュチェ思想に関心を寄せていますが、まだ成すべきことは多いです。

チュチェ思想のような革命学説をもつことが帝国主義諸国で暮らしている大方の人たちには、恣意的でくどくどしいことに思われるかも知りません。

それでわれわれはチュチェの理論をその実践との関係で見なければならず、帝国主義者が喧伝するデマの虚偽性を明らかにしなければなりません。明白に帝国主義諸国で喧伝するデマを暴露し、朝鮮民主主義人民共和国の現実を知らせなければなりません。チュチェ思想がもたらした驚くべき結果を自分の目で直接見る時にのみ、人々はこの立派な思想を学ぼうという関心をもつようになるでしょう。

チュチェ思想を普及する上でもっとも重要な手段の一つはインターネットです。インターネット時代は数百万の人々が朝鮮民主主義人民共和国の現実を見るようにし、各国のチュチェ思想研究組織の努力によって誰もがチュチェ思想にたいする資料を容易に見ることができています。われわれは公共メディアを積極的に利用しなければならず、記事と写真、動画像の掲載など、多様な形式で朝鮮民主主義人民共和国とチュチェ思想にたいする資料を共有しなければなりません。

こうした形式の宣伝活動は人々を金日成・金正日主義で教育する今後

の活動において必須の問題として提起されます。

金正日総書記はチュチェ思想にたいする教育を通俗的にしなければならないと述べました。われわれはチュチェ思想にたいする教育をより簡潔で分かりやすい方法でおこなわなければなりません。チュチェ思想はわれわれが学ぶべき科学的な世界観と正義の学説を与えます。チュチェ思想にたいする教育では、われわれは大衆と彼らの闘争の具体的な現実から出発しなければなりません。

最後に、チュチェ思想のような科学的な哲学にたいする教育は科学的な方法でおこなわれなければならないと強調したいです。科学としての社会主義が出現して思想が人民大衆の生活と闘争の武器になる前まで哲学は、長い間、高級インテリだけの思想となっていました。

われわれは大衆路線を堅持して誰もがすぐ理解できるようにチュチェ思想にたいする宣伝を引き続きおこなわなければなりません。

われわれは人々にチュチェ思想について正しい理解をもたせるために、それぞれの人々に創造的な方法を適用しなければなりません。まさにこれが、チュチェ思想が求めている科学的な教育方法であるのです。

44. 現代のチュチェ思想の生命力に対する考察

（オーストリア・ウィンにある金日成・金正日主義研究グループ責任者
トマス・レシュ）

世界の大部分の国が超大国、特にアメリカの抑圧の下で呻吟しています。いわゆる超大国の支配は、すなわち他国にたいする抑圧であり、その民族の富にたいする略奪であり、民族文化の破壊です。世界的範囲でこのような現実を認識している多くの人たちは、現在の資本主義的で新自由主義的な政治、経済制度に反対してたたかおうとします。彼らの目標はすべての人が搾取と抑圧から脱して自由に暮らすようにすることです。それで彼らは正義かつ平等な社会を建設するための政治思想を追及しています。一方、彼らは歴史を通じてソ連式社会主義は決して新社会のモデルではないということを認識するようになりました。政治指導者が人民と団結していなかったため、1989年に東欧の社会主義諸国が数ヶ月の間に崩壊しました。それから2年後、以前の超大国であるソ連が崩壊して世界地図から消えました。

この時期、多くの進歩的人民は朝鮮民主主義人民共和国の情勢を注視しました。朝鮮人民は多くの難関を経ていましたが、チュチェ思想にもとづいた朝鮮の政治経済制度は崩壊しませんでした。

むしろ、「苦難の行軍」の時期、朝鮮人民は金正日総書記の指導の下にすべての難関を克服し、自力で朝鮮民主主義人民共和国を、人工地球衛星を軌道に打ち上げることのできる強国に発展させました。

アメリカとその追随諸国が朝鮮民主主義人民共和国を滅ぼそうとあらゆる策動を弄している状況下で、金正日総書記は軍事を優先させる先軍思想を示しました。

昨年からわれわれは新型コロナウイルス伝染病によって世界的な危機をなめています。今、貧富の格差がより明白になっています。これは、富める者はますます富み、貧しき者はますます貧しくなるということを意味するだけでなく、豊かな人たちは治療とワクチンをよりよく受けることができるということを意味します。新型コロナウイルス伝染病は不平等な社会を以前よりもっと不平等に変えています。いわゆる発展した国々でも多くの人民大衆が経済的及び医療上の問題で苦痛をなめています。世界のほとんどの国の政治指導者はこのような問題を解決する能力がありません。政治家たちは現実的な対策もなしにポピュリズムについて云々しています。その結果、人民

大衆は自分の政治指導者をもう信頼しておらず、彼らに反対する多くのデモが世界的な範囲で行われているのです。

朝鮮民主主義人民共和国の状況はどうでしょうか？

今年の１月朝鮮労働党は党第８回大会を行いました。

朝鮮労働党第８回大会の報告は、金正恩総書記と他国の政治指導者との差を見せています。金正恩総書記は報告で真実を隠しませんでした。まさにこういうことにより、朝鮮労働党員と全朝鮮人民は金正恩総書記を領袖としていただいているのです。

金正恩総書記はいつも大衆の中におり、人民大衆は金正恩総書記を信頼しています。

金正恩同志を朝鮮労働党の総書記として推戴したことは、総書記にたいする党員の深い尊敬の表しとなります。

われわれの研究グループは朝鮮労働党第８回大会で行った金正恩総書記の報告にたいする研究と討論を深く行いました。朝鮮労働党第８回大会の報告に準じてわれわれは朝鮮民主主義人民共和国について関心をもっている人たちにそれについて知らせています。

われわれは人々に朝鮮民主主義人民共和国のような小さな国も正しい政治思想があり、正しい政治指導者がいるならば、自主的な生と自給自足を享受できると話しています。

朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想の生命力を示しています。

金正恩総書記が金日成主席と金正日総書記の理論を金日成・金正日主義理論として体系化したことにより、世界の進歩的人民は自主と独立、自給自足のための闘争の正しい理論をもつようになりました。

４５．一心団結は勝利の要因

（タイ・チュチェ思想研究組織書記ワトナテ・プラープ）

朝鮮民主主義人民共和国は領土や人口において大きくない国です。しかし、敵対勢力の制裁と圧殺策動の中でも共和国の社会主義制度は強固であり、共和国の人民は世界を驚嘆させる成果を相次いで達成しています。

それではこうした成果の秘訣は何でしょうか？

世界はテレビ画面を通じて共和国の人民が指導者の姿に接する度に涙を流しながら感激的に歓呼するのを目撃しています。

金正恩総書記は三伏の酷暑の中でも人民のために建設現場をはじめとした各部門を現地指導しています。

指導者は人民にたいする限りない愛を胸に、人民の利益のためにすべてをささげ、人民は指導者を絶対的に信頼し慕っている、これがほかならぬ朝鮮民主主義人民共和国の現実です。

最近、朝鮮民主主義人民共和国にたいする制裁と圧迫は歴史上、もっとも過酷なものでありました。しかし、この間、共和国は国防力を先進的な水準に発展させました。共和国の経済がより早いテンポで成長し、勤労者の休息のための近代的な建物が多く建設されました。

不利な条件でも共和国が早い前進を遂げることができたのは、領袖と人民の渾然一体があったからだといえるでしょう。

朝鮮の一心団結はさらに強化、発展しました。

革命と建設の主人である人民大衆の力に依拠することを求めるチュチェの原理は、共和国の指導者の政治信条です。

2021 年 1 月 5 日から 7 日まで行った朝鮮労働党第 8 回大会の第 7 期党中央委員会の活動報告は、朝鮮労働党と革命発展において重要な政治的出来事となります。

朝鮮労働党が示した路線と政策はすべてが人民のためのものであり、すべてを人民に奉仕させるためのものです。

このような政策によって朝鮮社会は、人民の人権が確実に保障され、人民が世にうらやむことなく幸せに暮らす社会に発展することができました。

自力更生の精神が遺憾なく発揮されてすべての経済部門で生産が増え、人民の生活水準が絶えず向上しています。

朝鮮人民の美しい夢と理想はこのありがたい社会制度によって現実と

して開花するでしょう。

　チュチェ思想は必ず世界に広く普及されるでしょう。

４６.モルドバを実例として見たチュチェ思想の生命力について

（モルドバ・チュチェ思想研究先軍青年同盟委員長　オレグ・ウェルニク）

私は受難に満ちた私の祖国モルドバの実例を挙げてチュチェ思想の生命力について討論しようと思います。自由と進歩の敵は今われわれにとってたいへん危険な戦略と戦術を使っています。やつらは今チュチェ思想が朝鮮にだけ当てはまる思想であり、他国ではそれが生命力をもたないため、他国の人民はチュチェ思想を学ぼうとしないということを証明しようと甘言を弄しています。言い換えれば、世界の帝国主義者は自由を愛する世界のすべての人民が、金日成主席が創始した普遍的なチュチェ思想を受け入れる場合、それが自分たちに脅威になることをよく知っており、感じています。彼らは暴悪で危険な共同の敵である世界帝国主義の前でわれわれを分裂させ、武装解除させることをその任務としておし立てています。

しかしわれわれのモルドバ人民が「新たな世界秩序」の主人公である彼らに無条件降伏すると思いますか？われわれにこの侵略を防ぐ力が無いでしょうか？

わがモルドバの誇らしい歴史がわれわれを助けるでしょう。その歴史は遠い昔から始まっています。ここでわれわれが重要に強調すべきことは、チュチェ思想がたとえ現代のもっとも切実な思想ではありますが、同時にわれわれに遠い過去にあった出来事をも分析しうる立派な手段を与え、数世紀が経った時点で過去の出来事を正しく分析して現代の反帝革命家が自分らの闘争に活用しうるよう、正しい結論を与えているということです。

私は 2009 年に 15 世紀のモルドバの有名な為政者スチェパン 3 世（「大帝」）を形象した立派なモルドバ絨毯を金日成主席への贈り物としてあげました。彼はモルドバ歴史上もっとも偉大な為政者の一人でした。しかし、彼の統治は自国の繁栄を目指す上で、モルドバ勤労人民の幸福を目指す上で何の大きな成果ももたらしませんでした。チュチェの主要原理と理念の見地でスチェパン 3 世（「大帝」）の政治を分析してみましょう。

１．　スチェパン 3 世がモルドバ人民を天のごとく見なしましたか？

絶対にそうでありません。スチェパンは大封建領主であり、モルドバの勤労人民を軽蔑しました。彼はモルドバ貴族の上層を招いて多くの酒宴と遊びごとを催し、モルドバの広範な勤労人民大衆が政権を握るのを快く思い

ませんでした。今、われわれは数世紀が経った時点で彼が犯した失策と彼がモルドバ人民の創造的力を信じなかったということを悟っています。

２． スチェパン 3 世が実に自力に依拠する政治を実施しましたか？

絶対にそうではありません。彼の政治は一様にモルドバに力と影響力を行使する各勢力の間で綱渡りをする政治でありました。
彼は周期的にポーランド王とマジャール王、トルコのスルタン、クリム汗、ロシアのツァーリに媚びへつらいました。彼の政治は明白に自力ではなく、周辺の外部勢力の力に依拠した政治でした。彼の政治はモルドバ人民の力を信じず、民族的独立を遂げるための闘争で発揮される人民の献身性を信じない政治でありました。

３． スチェパン 3 世が「団結」を最優先しましたか？

絶対にそうではありません。自国人民の創造的力を信じない政治は絶対にその人民を結束することができず、一心団結を実現することができません。彼がすべてを破壊する内戦からモルドバを救った期間は長くありませんでした。彼の没後、すぐモルドバは再び衰退没落と混乱の渦巻きの中に陥りました。まさにこれが実際上のスチェパン 3 世（「大帝」）の政治に下ろされた判決でした。

私は意図的に（「大帝」）という表現を括弧の中に入れました。それはチュチェ思想の三つの偉大な理念に従わない統治者は真の大帝として呼ばれる道徳的資格がないからです。受難に満ちたわがモルドバの為政者たちは「以民為天」「一心団結」「自力更生」というチュチェ思想の三つの偉大な理念を深く肝に銘じ、さらに高く掲げていかなければなりません。

モルドバ・チュチェ思想研究先軍青年同盟のモルドバ反帝革命闘士であるわれわれは、チュチェ思想にもとづいた分析方法がモルドバ勤労者の信頼を得るようにしてくれると確信します。彼らの信頼さえあれば、われわれはチュチェ思想が示した栄えある道に沿って、世界の解放運動の偉大な領袖であり、指導者である金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記が示した道に沿ってわがモルドバの政治を引導していくことができるでしょう。

４７．モンゴル経済との対比の中で見た朝鮮民主主義人民共和国自立経済の正当性

（モンゴル自主的発展のための白頭山協会理事会メンバー　博士　N・サラントゥヤ）

帝国主義者の世界化政策はその本態を現しました。このコスモポリタンは自己の発展をめざしてたたかうすべての国の経済発展にたいして封鎖政策を実施しています。この政策は中国との貿易戦争、ロシアにたいする制裁、朝鮮民主主義人民共和国、キューバ、ベネズエラにたいする経済封鎖と他国の内政干渉をはじめ、さまざまな形態でおこなわれています。

われわれは朝鮮民主主義人民共和国とモンゴルを実例に挙げて二つの部類の国々について簡単に述べようと思います。

朝鮮民主主義人民共和国のような国は、終始一貫、自主政策を堅持しています。

金正恩総書記は朝鮮労働党第 8 回大会で経済と文化建設、政府活動と社会生活で現れた欠点について指摘しました。厳しい対内外情勢が続く中で、活動で根本的な転換をもたらすための対策を講じなかったため国家経済の成長目標が達成できず、人民の生活向上において明確な進展が遂げられなかったし、科学技術が経済発展の機関車としての役割を果たせず、科学的な戦略が立てられなかったと指摘されました。

現在、朝鮮民主主義人民共和国は経済活動体系と部門間の有機的連携を復旧、整備し、自立的土台を固めるための活動を推し進めて、今後、経済をいかなる外部の影響にも左右されることなく、円滑に運営される正常の軌道に乗せることを目的としています。

新たな国家経済発展 5 ヵ年計画の基本種子、テーマは依然として自力更生、自給自足です。自力更生は、国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生とならなければなりません。朝鮮民主主義人民共和国ではそのためのすべての前提条件と機会を持っています。何よりも発展した経済土台があり、ほとんどの経済部門が発展しています。

朝鮮民主主義人民共和国は自立経済の構造を発展させ、輸入依存度を下げるための要求が反映された実際の新しい 5 ヵ年計画を立てました。

これは自主政策を志向する国の場合に当てはまる事例です。しかし、発展した国から援助を受けている国々はそのようにするのが非常に困難です。帝国主義の経済干渉政策は 80 余カ国に及んでいます。そのうち、50 余カ国で

は発展を遂げずにおり、30余カ国はそれによって完全に崩壊されました。

モンゴルは1990年に市場改革の道に入りました。1991年からわが国は世界銀行と国際通貨基金のメンバーになりました。

2021年、われわれはこの機構の加入記念日30周年を迎えます。しかし、この30年という間、わが国はコスモポリタンからもっとも過酷な抑圧を受けています。

コスモポリタンはモンゴルのような国々にいくつかの条件を提起し、公債を発行していますが、これらの国は、債務者としての鎖と財政的陰謀でもって非同盟国の資源と財政源泉を奪っているアメリカと西欧の金融体制に引き込まれています。それがどのようにおこなわれているのでしょうか?

ここでわれわれはモンゴルの実例を挙げて三つの経済的従属政策について見ることにします。

— 世界通貨基金の斡旋によってモンゴルの中央銀行は政府に依拠せずに、政府が提示した目標と関係なく独自の機能を遂行しています。中央銀行の独立は、その国を略奪しようとするコスモポリタンの陰謀の基本的形態です。国内貨幣が国にとって、市民にとってまで二次的な意味になっています。国の経済に及ぼす大きな危険は、国内貨幣の自由流通過程が造成されて、経済のすべての部門を発展させるうえで不安定な要素を産生させるということです。こうした不安定な要素が植民地従属化を企むコスモポリタンによって操られています。

— 国の全般的な経済が天然資源による生産に志向されているが、技術の発展は奨励されていません。天然資源から生産物が出て販売が成され、外国貨幣に転換されています。最初からUS$に転換されます。これは海外法地帯での手続きの延長であります。

— 国際通貨基金の忠告により、モンゴルのすべての金融体制はUS$に有利な機能を遂行しています。結果、全国がアメリカと西欧の形式にこだわれて彼らに多くの利潤を与えています。

— 世界銀行と国際通貨基金にそそのかされた国の腐敗した政治と寡頭政治によって国が略奪されています。彼らは一方では西欧の同業者たちの指示によって国を略奪しており、他方では日本などに金を哀願しています。

— 現代帝国主義は自分らの植民地政策を隠蔽し、非同盟国にたいする経済的従属政策と自主的な国々にたいする経済封鎖策動をはたらいているが、この政策の本質は以前と変わっていません。

― 経済、情報、生物、技術戦争の勃発にたいする態度をはじめとした帝国主義者の現代政策をより詳しく研究するわれわれの共同活動にすべてのチュチェの友人たちを招請する次第です。

４８．制裁と伝染病との闘いで高く発揮された社会主義の優越性

（ウクライナ「先軍の霊剣」チュチェ思想研究協会委員長 ニコライ・ポリシュク）

昨年は以前には全くなかった深刻な特徴をもつ年でありました。

朝鮮民主主義人民共和国に反対するもっとも極悪な（いわゆる「部門別」）制裁が加えられた上に、共和国は1年間台風の被害によって人民経済が大きな損失をこうむったのです。それに多くの力量と資金が悪性ウイルスとの闘争に支出されました。

このような各種の否定的状況がいっぺんに生まれたのは今回が初めてであり、国において深刻な挑戦となりました。

前例のない難関は独創的な解決策を求めました。

朝鮮労働党の金正恩総書記はこうした障害物は社会主義制度の優越性をさらに高く発揮させていくとき、克服できると述べました。

金正恩総書記は報告で朝鮮の国家経済は自立経済であり、計画経済であり、人民に奉仕する経済であると述べました。報告は特に国家経済の現況と潜在力に基づいて、持続的な経済上昇と人民の生活の明確な改善、向上へと進むことを目標として作成された新たな5ヵ年計画を提示しました。新たな5 ヵ年計画には、現実的可能性を考慮して国家経済の自立的構造を完備し、輸入依存度を下げ、人民の生活を安定させるための科学的な要求を反映しています。新たな国家経済発展５カ年計画の基本種子、テーマは、依然として自力更生、自給自足です。

全世界的に制裁がアメリカとその同盟国の基本道具となっている今、国の自主権と自主性を守る唯一の方法は、経済における自力更生の主体的な原則を堅持することです。

金正恩総書記は社会主義経済管理の改善の根本要求、根本方向は、社会の主人である人民大衆を中心に据えて人民の要求と利益を優先視することであると述べています。報告で闡明されたこの革命的原則は朝鮮労働党だけでなく、自主の道に進む世界のすべての国の人民にとって切実なものとなります。

金日成主席は抗日革命闘争の時期からすでに自力更生をチュチェ思想の原則として示し、それ以来自力更生はその巨大な生命力を絶えず発揮してきました。

金正恩総書記は報告で、科学に依拠することについて強調しました。

制裁により朝鮮が他国の技術を受け入れる上で制限を受けている状況下で、技術的側面で他国に劣らないようにする唯一の糸口は、自力に基づいて科学の土台を発展させることです。経済的制裁や設備及び技術納入制限措置を通じて他国の政治に影響を及ぼそうと策動する大規模の独占会社にたいする技術的依存から脱することは、今多くの国の夢です。これと関連して世界的に、特にロシアでさまざまな国産化計画が実施され、奨励されているが、資本主義経済では効果がありません。それは個人会社にとっては自分のものを発展させることに資金を支出するよりは、完成した科学技術製品を購入することがもっと得になるからです。ただ単一の国家人民経済を運営している朝鮮民主主義人民共和国のみが科学分野で世界の先進国を追いつき、追いこしながら国家的な範囲で科学と生産を一致させることができます。科学は無人機、核潜水艦、ミサイルシステムのような高度技術武器をもって行う現代戦で非常に重要な先端武装装備を開発して国の自主権を守ることに寄与します。

朝鮮の社会主義制度の優越性はまた、2020 年の自然災害の被害をいやす活動でも発揮されました。

朝鮮労働党は被害復旧を担当し遂行する首都党員師団を組織しました。短期間に被害をいやして数百棟の住宅を建設することにより、党と人民間の信頼関係がより強固なものとなりました。

金正恩総書記は自ら咸鏡南道の新浦市と洪原郡をはじめとした東海地域の被害復旧現場を訪ね、建設を指導しました。

金正恩総書記は直接蓄積した指導経験にもとづいて朝鮮労働党第 8 回大会の報告で国土環境の保護と関連する法規範と細則を正しく制定して厳格に施行する問題、治山治水事業に力を入れて自然災害を未然に防ぐ問題などを提起しました。これはすべてが自然保護活動を科学化してありうる災害からの被害を最小化するためでした。自然災害の被害をいやすための闘争は、自然にたいする人間の勝利であるだけでなく、資本主義に比べた社会主義の優越性の誇示でもありました。南朝鮮ではこのような大水と台風被害をこうむった罹災民をほったらかすことにより、数十名が命を失ったり、行方不明になったり、誰も彼らの運命について関心を払っていなかったことを想起する必要があります。

今回の朝鮮労働党大会は東アジア諸国で新型コロナウイルスによる感染症の被害状況が特別に悪化している中で行われました。

金正恩総書記は朝鮮労働党第８回大会の報告で、ウイルス感染症を防ぐための闘争で得た経験を総合し、保健医療部門の物質的・技術的土台が一層強固になり、世界的な大流行伝染病を予防するための先制かつ強力な非常防疫活動を通じて、衛生防疫部門に整然とした活動体系と土台が構築されたと述べました。総書記は朝鮮が自力でいかなる大流行伝染病にも対処できるようにするために、今後、保健医療部門の前に提起される課題を示しました。総書記は保健医療部門では、治療・予防機関と製薬および医療機器工場を改造する活動を着実におし進め、保健医療従事者の陣容を固め、いかなる世界的な保健危機にも対処できる防疫基盤を強固に築かなければならないと述べました。

明白なことは、朝鮮労働党第８回大会が闡明した社会主義建設の計画が、金正日総書記の指導方式の特徴である逆境を順境に変えていく革命実践の連続であるということです。

４９．「人民大衆第一主義」の威力

（チュチェ思想国際研究所理事　鎌倉孝夫）

朝鮮労働党第８回党大会を通じて、度重なる挑戦と試練の中でも一つの思想・意志で固く結集し、新たな闘争目標に向って絶え間なく前進して飛躍する、朝鮮労働党と朝鮮人民に特有の団結力と革命的熱意が改めて力強く噴出しました。

朝鮮労働党第８回大会は偉大な金日成・金正日主義の旗印を変りなく高く掲げ、勝利に対する自信と勇気をもって必ず朝鮮式社会主義の富強発展を遂げようとする革命家の確固不動の意志を誇示した闘いと前進の大会になりました。

朝鮮労働党が「全てを人民のために、全てを人民大衆に依拠して」というスローガンを確実に具現することによって、党と人民の一心団結が強化され、「政治的思想的力」が非常に拡大・強化されました。

党中央委員会は、「政治・思想」の力を強化するため、革命伝統教育を強化しました。さらに情勢の要求と党の意図、革命的課題を、党員・人民に詳しく知らせ、闘いに立ち上げる政治活動を活発に行いました。人民軍が軍事的脅威とともに突発的非軍事的脅威から、祖国と人民を守る国家と人民の軍隊としての使命を尽すようにしたのは、人民大衆第一主義政治の重要な構成部分となりました。

朝鮮では「自力更生」を敵の卑劣な制裁策動を自強力強化に逆転させる攻撃的戦略に、そして社会主義建設において恒久的に堅持すべき政治路線に、深化・発展させました。

経済建設で目標を達成しえなかったけれども、「自力更生」の前進で経済を発展させうる大事な元手が築かれました。これによって自立的民族経済、社会主義経済の枠組が堅持され、その命脈が守りぬかれました。

朝鮮では並進路線を貫徹して「朝鮮労働党式戦略兵器の誕生」という奇跡の歴史を開きました。

党中央委員会は、朝鮮を挑発・威嚇し、侵攻しようとする帝国主義の野望を断固制圧し、社会主義建設の平和的環境を守りました。

帝国主義諸国とそれに追従する国々の制裁強化、封鎖策動という厳しい情勢の中でも朝鮮は自主の軸を強く堅持し、革命的原則をいささかも譲歩しませんでした。それを基盤に自主権尊重を抜きにした朝鮮との関係改善は絶対にありえないということを全世界に刻印させました。５回の朝中首脳会談を通じ意思疎通・相互理解を深め、両党間の同志的信頼関係を厚くし、ロシアとの友好関係を拡大発展させうる土台をもたらしました。

キューバとベトナムとの首脳会談を通じて社会主義諸国との団結と連帯を強化しました。

とくに敵対的な朝米関係史上初めての両国首脳会談を成立させ、新しい朝米関係の樹立を確約する共同宣言を成立させました。これは世界政治史上特大の出来事でありました。

このような朝鮮の対外的地位の飛躍的上昇は、党と人民の団結による長い闘いの成果です。

客観的情勢が厳しい中でも朝鮮は、一心団結、自強力を強め、自立的民族経済を確立して社会主義建設を前進させています。

５０．朝鮮が収めたもっとも大きな成果

（元イタリア共産党対外関係部長　アルフォンソ・ガルディ）

わたしは国際政治界で朝鮮が収めたもっとも大きな成果は、朝鮮が超大国であるアメリカに対抗する国としての地位を占めたところにあると思います。党を指導する指導者の尊厳と決断について知らない人たちは、相対的に小さい国が帝国主義との戦いで戦略的で決定的な地位を占めることは不可能であると思うかも知りません。しかしこれは厳然たる事実です。これは人民軍の威力と勇猛が反映された核抑止力によってもたらされたことです。

地球上に帝国主義が残っている限り、朝鮮民主主義人民共和国にたいする敵対勢力の侵略戦争の危険が残っている限り、革命的武装力は国際関係の発展に合わせて、自己の国防力を引きつづき強化していくでしょう。

金正恩総書記はこれについて明白に示しています。総書記は報告で、恒常的な国防力の強化について厳粛に強調しながら、国防力の強化を国家存立の基礎、国と人民の尊厳、平和守護の頼もしい保証として規定しました。

共和国の経済発展についても強調する必要があります。

朝鮮労働党第 7 回大会が示した綱領を貫徹する上で収めた成果と提起された欠点にたいする具体的な分析は、危険でかつ長期的な世界的保健危機によって今日直面している大きな難関の中でも、今後の戦略作成で改善をもたらすようにしました。

朝鮮労働党中央委員会は今後 5 年間の国家経済発展戦略を作成しました。この計画が国防のための主要予備資源について強調するとともに、人民生活の向上に基本目的を置いているという点で非常に興味があります。

金正恩総書記が指摘しているように、5 ヵ年発展計画には繁栄と力、自立の必須の条件である科学技術も含まれています。

社会主義文化建設にも関心が払われました。この側面で教育と保健医療、文学芸術など、朝鮮人民の革命的性格を特徴づけるすべての分野に力量と資源を投資すべき必要性が強調されました。

金正恩総書記は大きな努力にも関わらず、北南関係の現実態は、板門店宣言の発表以前の状態に逆戻りしたといっても過言ではなく、統一という夢はよりはるかに遠のいたと指摘しました。

金正恩総書記は朝鮮労働党の尊厳の固守と国威の高揚、国益の守護を共和国外交の第一の使命とし、対外活動で自主の原則を確固と堅持しなければならないと述べました。

金正恩総書記が発表した著作にたいする研究をおこなうならば、多くのことを得るだろうと確信します。

５１．朝鮮民主主義人民共和国の真の姿

（ウガンダ・カンパラ・コロロ高等中学校　先軍政治研究グループ責任者、ウガンダ朝鮮民主主義人民共和国友好協会副委員長　ジャスティン・ケユネ）

金日成・金正日主義の真髄はチュチェ思想です。

チュチェ思想は人間、人民大衆を中心にすえる哲学思想です。

チュチェ思想は人間中心の哲学的原理、人民大衆中心の社会・歴史原理と革命と建設の指導的原則を示しています。

金日成・金正日主義のすべての理論と原理、全般的体系と内容はチュチェ思想から出発し、チュチェ思想を思想的・理論的及び方法論的基礎にして発展し体系化されました。

金日成・金正日主義は本質的に人民大衆第一主義です。

朝鮮民主主義人民共和国はもっとも人民的な政治理念である人民大衆第一主義が具現された真の人民の国です。人民大衆第一主義は人民大衆を革命と建設の主人と見なして彼らに依拠し、人民に滅私奉仕する政治理念です。

人民大衆第一主義は人民を世界でもっとも貴く強力な存在と見なす主体的な革命哲学を具現しており、人民の要求と利益をあくまで実現しようとする朝鮮労働党と共和国政府の徹底した立場を反映しています。

人民大衆第一主義を確実に具現していることにより、朝鮮民主主義人民共和国は世界のどの国とも比肩できない偉大な国として自己の尊厳を遺憾なく示威しています。

人民大衆第一主義が具現された朝鮮民主主義人民共和国の真の姿はまず、党と国家が人民のために滅私奉仕しているところで探すことができます。

人民大衆に対する滅私奉仕は、朝鮮労働党と共和国政府の存在方式であり、人民大衆第一主義政治の中核です。

朝鮮労働党と国家のもっとも重要な活動は人民の生活水準を画期的に向上させることであり、すべての政策は人民の意思と要求を反映して作成されます。

人民の利益と便宜が最優先、絶対視されていることは、朝鮮民主主義人民共和国でのみ見られる現実です。

スローガン「すべてを人民のために、すべてを人民大衆に依拠して！」は、朝鮮労働党と共和国政府の人民大衆第一主義の立場を込めています。

朝鮮民主主義人民共和国では人民的なもの、大衆的なものが最優先、絶対視されており、人民の利益を侵害する些細な要素や行為も絶対に許容されません。人民への滅私奉仕は朝鮮労働党の意志です。

人民大衆第一主義が具現された朝鮮民主主義人民共和国の真の姿はまた、

人民が自分のすべてを朝鮮労働党と国家に全的に依託し、党と国家を忠実に奉じているところで探すことができます。
　多くの国が自国人民のための政治を実施すると言っていますが、それらの国は人民が自己の運命と次代の未来を託することのできる国ではありません。
　人民が頼り、忠実に奉じる国は無敵必勝です。党と国家の路線と政策を支持するのは朝鮮人民の思想的・精神的特徴であり、立派な風貌です。
　敵対勢力の悪辣な反共和国策動と自分の存在を脅威する重なる難関の中でも朝鮮人民は、朝鮮労働党の路線を絶対的に支持し、決死貫徹することにより、自主権と生存権、発展権を頼もしく守り得るもっとも威力ある国家防衛力を構築することができ、朝鮮民主主義人民共和国の全般的国力と戦略的地位は最高の水準に達することができました。
　朝鮮民主主義人民共和国人民の心の中には朝鮮労働党と祖国を離れては一瞬も生きられないという確固たる信念が位置づけられています。人民は自力更生で共和国の繁栄を成し遂げる大業にすべてをささげることを誓っています。自力で社会主義祖国を守り発展させる愛国者の大部隊があるがゆえに、朝鮮民主主義人民共和国の未来は、明るく洋々としています。

５２．朝鮮訪問を通じて得た経験

（チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会委員長　マヤムバラ・ロレンス）

私は勝利的で、自主的な朝鮮民主主義人民共和国の現実を研究する上で得た経験について述べようと思います。

朝鮮民主主義人民共和国にたいする私の訪問が確定されたとき、チュチェ思想研究者としてこの国を初めて訪問するようになってたいへん興奮しました。以前から朝鮮民主主義人民共和国が自主性と自力更生の威力で、そして人民大衆中心の社会主義として常に勝利していることを知っていたにもかかわらず、実際、共和国がどのような国であるのかその現実を見たかったのです。その時、「百聞は一見に如かず」という言葉が思い出されました。

私の想像を確認するその日が来ました。私は 2016 年 9 月 6 日、朝鮮民主主義人民共和国にたいする訪問の道を発ちました。

私は平壌で行われる世界の多くのチュチェ思想研究者が参加するチュチェ思想セミナーに招請されました。朝鮮民主主義人民共和国にたいする私の激動的な訪問は、平壌国際空港に到着した 2016 年 9 月 8 日から始まりました。

この国に第一歩を踏み入れた瞬間は実に印象的でありました。まず受けた印象は、実に平壌が世界的にもっとも綺麗な都市であり、汚染と交通混雑もほとんどなかったということでした。私は今も平壌についてその時と同じ見解をもっています。

平壌は広い大通路とともに広い空間に多くの住宅が建ち並んでいる、立派に設計された都市でありました。平壌には 20－40 階建ての高層住宅がありました。

朝鮮民主主義人民共和国にたいする敵対勢力の長きにわたる圧力と封鎖を受けながらも平壌はインフラの発展で驚くべき進歩を遂げていました。

特に、黎明通りに住宅と公共施設が大規模に建設されていました。（黎明通りはすでに完工されて現在人民がそこで住んでいます）

住宅は無料で割り当てられ、家のない人や乞食もいませんでした。

この都市ではすべてのことがうまくいっていました。公共電車が数百名の市民を職場に運んでいました。地下鉄は平壌の運輸システムで欠かせない部分です。地下鉄網は道路での人による混雑を相対的になくしています。

通りには大概、国内で製作した運輸手段が走っていました。

私は朝鮮で自動車を生産していることを知るようになりました。

平壌の住民たちは、一般的に日常生活の過程で高い自覚と規律性を発揮していました。市内の各所に設置された多くの拡声器から愛国歌が流れてい

ました。

人民は敵対的な外部勢力の些細な挑発にも対応できるように準備されていました。

8 日間の滞在期間、私は社会の和睦と団結をはっきりと見ることができました。

朝鮮民主主義人民共和国の公民の間では善行がたくさん行われていました。ある外交官がギフトショップで買い物をしながら財布から 100 ドルを落としたそうです。その金を発見した販売人は上級に報告しその金の主人を探すときまで数日間も努力してしまいには主人に金を返したそうです。

朝鮮民主主義人民共和国の社会主義を支える基本支柱は、すべての公民にたいする全般的な健康管理と無料教育です。教育は全般的に国家の負担で行われます。私は朝鮮で就学年齢の子供が学校に通えないことはまず考えられないことだということが分かりました。

平壌では文化娯楽およびスポーツ施設が日増しに増えています。

金正恩総書記は、人民の豊かな文化情操生活のためのスポーツ遊戯施設を整えることを重視しています。

自己の赤旗にハンマーと鎌、筆を書き入れたときから現在まで朝鮮労働党は、類例を見ない挑戦の中でも自主の路線を変わることなく堅持することにより、確信にみちて朝鮮を勝利と繁栄の道に導いてきました。

人民と運命をともにし、人民に滅私奉仕することを自己の固有な存在方式にしているがゆえに、朝鮮労働党は人民の全的な支持と信頼を受けており、世界の進歩的人民の尊敬と称揚を受けています。

朝鮮革命の参謀部として朝鮮労働党が金日成・金正日主義、人民大衆第一主義の旗を高く掲げて朝鮮人民を勝利へと指導し、社会主義建設で大きな成果を収めていることは当然なことであり、また科学的であります。

独立国家は他国に依存することなく発展する経済を建設しなければなりません。チュチェ思想が示す原理の中の一つであるこの思想は、朝鮮民主主義人民共和国をして自国人民のために奉仕するようにし、国の経済を自国の資源と技術に依拠する自立経済に発展させました。

実に、自力更生は各国人民が強固な物質的・技術的土台を築くために国内資源に依拠する自立的民族経済建設を促進する上で堅持すべき原則です。

私は朝鮮人民がチュチェ思想の原理を具現した科学的な自力更生の威力でもってチュチェ思想の生命力を遺憾なく発揮するだろうと確信します。

５３．朝鮮が強国となった要因は何か

（チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会組織書記、
ウガンダ汎アフリカ運動行政部長　ニュートン・バレンジ）

指導者の決心と行動はその国の人民の進歩的な生活に影響を与えます。

金正恩総書記は独創的な政治方式を具現して卓越した指導により朝鮮人民を勝利へと導いています。

朝鮮民主主義人民共和国は、偉大な領袖たちをいただいた幸運に恵まれています。

人民は立派な指導者を求めるが、この世のどの国も、甚だしくは大国までも帝国主義の力に対抗できる、実に能力のある指導者を輩出しませんでした。

世界は民族の自主権を守り、国際法を遵守し尊重する強い指導者を要求しています。

金日成主席は日本の植民地統治から朝鮮を解放するための闘争の初期にチュチェ思想を創始しました。

金正日総書記は精力的な思想・理論活動によってチュチェ思想を深化発展させ、新時代の要求に即してチュチェ思想を金日成主義と定義づけました。

金正恩総書記はチュチェ思想を真髄とする金日成・金正日主義を定義づけました。

それでは、朝鮮人民が自国を強国に発展させた要因はどこにあるのでしょうか？

それは何よりもまず、朝鮮人民が金正恩総書記を朝鮮革命の偉大で卓越した領袖としていただき、総書記の思想と指導を忠実に奉じてきたからです。

朝鮮民主主義人民共和国は人口も少なく、領土も大きくありません。

朝鮮民主主義人民共和国の経験は、たとえ国が小さくても偉大で卓越した領袖をいただければ勝利者になることができることを示しています。

次に、人民が自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるということを教えるチュチェ思想でしっかり武装し、卓越した領袖と偉大な党の周りに固く結束するとき、勝利を収めることができ

るということを示しています。

５４．朝鮮半島と世界の平和と安全の問題について

（チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会書記　ペディ・カヨンド）

朝鮮労働党第 8 回大会報告では核武力の近代化目標の達成を志向した完全に新しい核能力を備えるための革命的な大転換を主導した歴史的過程について詳細に言及しました。

祖国と民族の運命をかけて党中央が行った精力的かつ卓越した指導活動は、朝鮮労働党式の戦略兵器の誕生をもたらす奇跡の歴史を開きました。

既存の常識では 20 年、30 年がかかっても成し遂げられない国家核武力建設大業の完成を、経済建設と核武力建設の並進路線が提示されてから 4 年ぶりに、そして第 7 回党大会が行われてから 1 年ぶりに立派に実現したのは歴史にまたとない奇跡であり、第 7 期中央委員会が党と革命、祖国と人民に対し、次代に対して立てた最も意義ある民族史的功績となります。

総括期間、党中央委員会は国家核武力建設の大業を立派に完成し、国家防衛力の強化において大きな変革をもたらすことによって、国を名実ともに世界的な核強国、軍事強国に浮上させ、諸大国が国家と民族の利益をほしいままに駆け引きしようとしていた時代を永遠に終わらせました。

金正恩委員長は報告で、総括期間、共和国の対外的地位が飛躍的に上昇したことについて総括しました。

党中央委員会は、並進路線の偉大な勝利を収めた以降、積極的な対外活動を展開して国家の尊厳と地位を高い境地に押し上げました。

アメリカの狂気じみた攻勢とそれに追随する勢力の必死の圧迫・封鎖策動によって、総括期間、朝鮮民主主義人民共和国をめぐる対外環境は建国以来、かつてなく厳しかったのです。

最悪の形勢の中で党中央委員会は、自主的芯をより強く堅持しながら国の最高の利益と尊厳を侵そうとするいかなる企図も断固排撃し、革命的原則をいささかも譲歩しなかったし、これは共和国の自主権はいかなる者も侵害できず、自主権の尊重を抜きにした朝鮮との関係改善は絶対にあり得ないということを全世界に刻印させました。

党中央委員会は、大胆な路線転換と攻撃的な戦略で国際社会が共感する平和の気流を醸成して対話の雰囲気をつくり出し、共和国の国際的地位を高めるための霊妙な対外活動を策定、指導しました。

党中央委員会が行った積極的な対外活動は、国際的範囲で社会主義偉業

を強力に促進し、自主と正義、平和守護の新たな政治の流れを主導していく朝鮮労働党と国家の地位と威信を大きく誇示しました。

敵対的な朝米関係史上、初めて開かれた両国最高首脳の直接会談で党中央は、強い自主的芯を持って新たな朝米関係の樹立を確約する共同宣言を成立させました。

超大国を相手にして自己の自主的利益と平和と正義を守る共和国の戦略的地位を全世界に誇示した数回にわたる朝米首脳会談は、世界政治史に特筆すべき出来事となりました。

党中央委員会は総括期間、人民の不屈の透徹した自主精神と共和国が備蓄した偉大な力に頼って、朝鮮民主主義人民共和国の戦略的地位と位相を大きく押し上げ、これは朝鮮労働党の尊厳と権威、偉大な人民の地位を象徴しています。

地球上に帝国主義が存在し、朝鮮民主主義人民共和国に対する敵対勢力の侵略戦争の危険が続く限り、朝鮮の革命武力の歴史的使命は絶対に変わらず、朝鮮民主主義人民共和国の国家防衛力は新たな発展の軌道に沿って絶えず強化されなければなりません。

人類の歴史に百余回の戦争があったということは周知の事実です。

あらゆる形態の戦争が起こる原因はそれが小規模であれ、大規模であれ、戦争に参加する各自の利害関係と関連しています。

人民の思想と要求、利害関係の見地で戦争は正義の戦争と不正義の戦争に分かれます。

戦争の歴史は、すべての形態の戦争が侵略勢力によって起こったことを見せています。

朝鮮民主主義人民共和国は領土や人口において大きくない国です。しかし、朝鮮人民はもっとも平和愛好的な人民です。朝鮮民主主義人民共和国は安全と平和を守ることに最大の重点を置いています。朝鮮民主主義人民共和国が自己の国防力を引き続き強化している理由について見るならば、それは世界の現情勢下では強い力がなければ、存在することも、発展することもできず、人民を幸せにすることもできないからです。

世界における人間の地位と役割にたいする原理を与えるチュチェ思想は自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあると示しています。

今日、帝国主義者は自分らの影響力をより拡大するために悪辣に狂奔し

ており、帝国主義者同士の対立と矛盾は日増しに激化しつつあります。力の均衡が破壊すれば、任意の形態の戦争が容易に起こり得るというのは明らかなことです。

帝国主義者が主張する不変の力の論理に対処するためにはどのようにすべきでしょうか。

応えはただ一つ、自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるということを教えるチュチェ思想の要求通りに自力をより強化することです。

５５．チュチェ思想研究の一年

（アイルランド・チュチェ思想研究グループ委員長ジョダン・ヘイボン）

わたしはこの席で去る一年間、チュチェ思想を研究する過程に得た教訓と経験について述べようと思います。

チュチェ思想にたいする研究を決心する前にわたしは一つの科学として社会主義が共和国でどのように具現され、共和国がどのようにいわゆる「世界列強」と自称する国々と堂々と立ち向かいながら団結力と自力更生の精神が強い国に発展してきたかについて考えながら、いつも朝鮮民主主義人民共和国の崇拝者となってきました。

チュチェ思想はわたしをして、人間は自分の行動と選択を通じて自己の運命の主人であることを自覚するよう導いてくれた革命的な人生観です。

チュチェ思想はまた、私に人間として直面したいかなる障害も克服していくように教えました。

チュチェ思想はどこでも具現することができるといえます。例えばルーマニア、フランス、ドイツをはじめとした国々の人民大衆は、チュチェ思想を自分たちの現在の条件に具現することができるでしょう。世界が進歩的な生活様式をもつ世界に変わりつつあると見ることができます。なぜなら、どの国にチュチェ思想を具現しても、チュチェ思想は人々を一つの目的、一つの希望、一つの理想をもった人々に団結させて老若男女を問わず、社会のすべての構成員を包摂する社会を創造するからです。進歩的な社会にはすべての人に、自分のポストがあります。

わたしは人民大衆とは、われわれが暮らす地球上の限りのない情熱の資源を創造し、宇宙に存在するいかなる対象よりもっと強い団結を創造し、革命と建設で大きな役割を果たす意志をもった国の主人であることを知るようになりました。

昨年、世界は急速に変わりました。われわれは特にアイルランド、イギリスを始めとしたヨーロッパ諸国でファシズムが台頭したことを目撃しました。これらの国では人々を互いに対立させ、社会主義を主張する人々に対して敵対的な環境をつくりながら、多くの人に害を及ぼしました。

チュチェ思想は団結がすべての進歩的人民がより良い社会で暮らすようにする武器であり、秘訣であると明らかにしました。

チュチェ思想にたいする研究でわたしに深い印象を残した肝心かなめ

の出来事は、金日成主席が自国の革命は自国人民が主人となって自力でおこなわなければならないと指摘した卡倫会議でした。主席は科学的見地でそれを研究し考察して朝鮮革命を行い始め、勝利へと導きました。

朝鮮労働党第８回大会で金正恩同志は朝鮮労働党の総書記として推戴されました。

金正恩総書記は閉会の辞で、偉大な金日成・金正日主義を百戦百勝の旗印として高く掲げた朝鮮労働党が革命と建設を正しく導いており、党と人民大衆の一心団結の不敗の威力がある以上、朝鮮革命はいかなる困難も乗り越えて力強く前進するだろうと述べました。

わたしはチュチェ思想について、チュチェ思想がわたしに与えた感化力について嬉しい気持ちで話しました。チュチェ思想について関心をもっており、このような立派で進歩的な生活方式について知りたがる人たちに言いたいです。読んでまた読め！

金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の著作は人々が自分の境遇を変化させてより良い生活を営むようにする闘争で絶対的であり、必須のものであります。

金日成主席と金正日総書記が教えているように、そして今日は金正恩総書記が述べているように、チュチェ思想は進歩的人民の前途を示しています。

悪性伝染病が蔓延する中でも朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想と団結でもって引き続き前進してきました。

５６．金日成・金正日主義を普及して世界の自主化偉業に寄与しよう

（アジア地域チュチェ思想研究所副理事長、
スリランカ・チュチェ自力更生研究会委員長　W・A・ドゥミンドゥワルダネ）

今日、自主勢力は世界的範囲で拡大されており、一つの偉大な歴史的潮流となっています。それゆえ、世界的にくり広げられている人民の反帝・自主闘争が難関の中でも前進しているといえます。

世界自主化の流れの中で帝国主義は衰弱し、危機に陥っています。

朝鮮民主主義人民共和国は朝鮮半島で戦争を挑発しようとする帝国主義者の策動を粉砕しました。これは全的に金日成・金正日主義の勝利です。

朝鮮労働党の金正恩総書記は朝鮮民主主義人民共和国が全社会の金日成・金正日主義化を実現するだろうし、反帝闘争を強化しながら世界の自主化を実現するために自分の責任を果たすだろうと述べました。

金正恩総書記は世界人民が他民族の自主権と生存権を侵害する帝国主義勢力の強硬路線と二重基準、不正義に反対してたたかうことにより、平等と正義を保障することを呼びかけました。

朝鮮民主主義人民共和国は社会主義の道一筋にまっすぐに前進することにより、自主と正義の守護者として、世界の自主化のための闘争で先駆者的な役割を果たすでしょう。

チュチェ思想は自主性を目指す闘争でもっとも正しい指導思想となります。

世界の進歩的人士は自国と世界を自主化するための闘争の先頭に立つべきであります。

個々の国を自主化し、国際関係を民主化して恒常的な平和を実現することは世界の自主化のための闘争の重要な課題です。

帝国主義との闘争がなければ、国と民族の自主性を守ることができません。

金正恩総書記の賢明な指導の下に朝鮮民主主義人民共和国が成し遂げた新たな発展ぶりと朝鮮労働党第 8 回大会で示された政策と指針は帝国主義に反対してたたかう世界の人民を大きく励ましています。

今日、金日成・金正日主義は人々に自主化偉業の主人であるという

自覚を与えられるもっとも強力な思想となっています。

金日成・金正日主義の正当性と生命力は朝鮮民主主義人民共和国の歴史と現実で如実に証明されました。

したがって、自主化偉業のための闘争を前進させるためにチュチェ思想研究者は自主時代の指導思想を自国人民に普及しなければなりません。

各国で金日成・金正日主義研究グループを一つずつ組織することが優先的な活動となります。

各国のチュチェ思想研究者は自国の現実と結び付けて金日成・金正日主義を研究し、自国を自主的で平和的な国につくることに貢献しなければなりません。

金日成・金正日主義を普及して世界の自主化偉業に寄与することはわれわれの義務です。

わたしは朝鮮人民が金正恩総書記のエネルギッシュな指導の下に朝鮮労働党第８回大会と朝鮮労働党第８期第２回総会で示された決定と目標を貫徹するための闘争で大きな成果と連続的な勝利を達成することを心から願い、固い連帯を表します。